

Ⅲ 平成 2 5 年度決算附属資料等

予算科目	03民生費	02児童福祉費	01児童福祉総務費	02放課後児童健全育成事業		
細事業名	01 放課後児童健全育成事業				決算書	P.148
総合計画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	① 子育ての支援		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
111,858千円	112,083千円	225千円	99.7 %	117,436千円		
目的	保護者の就労等により、放課後及び長期休業期の昼間に家庭保育を受けることのできない児童に対し、安全で充実した生活の場を与えることにより、その健全な育成を図る。					
主要な事業・事業及び成果の概要	保護者の就労等により、放課後及び長期休業期の昼間に家庭保育を受けることのできない小学校1年生から4年生の児童を対象に、安心して生活できる場を提供することで、子どもたちの健やかな成長に努めた。					
	○開設状況					
	年間開設日数：286日					
	開設時間：授業終了後～午後6時30分（長期休業期及び土曜日は午前7時30分～）					
	年間平均児童数：352人（前年度比15人増）					
	〔 峰山52人・峰山長岡25人・峰山吉原18人・大宮58人・大宮周枳35人 網野13人・網野南24人・網野北30人・丹後14人・弥栄39人・久美浜44人 〕					
	○需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料） 3,638千円					
	○委託料（消防設備等保守点検、児童送迎車運転） 8,516千円					
	○放課後児童健全育成事業委託料 98,253千円					
	○工事請負費（口大野放課後児童クラブ開設準備・トイレ改修工事） 210千円					
○その他の経費 1,241千円						
役務費、公課費ほか						
主な財源	使用料	放課後児童健全育成事業利用料	23,511千円			
	使用料	公有財産使用料	7,363千円			
	国補	のびのび育つことも応援事業費補助金（2/3）	19,302千円			
	府補	のびのび育つことも応援事業費補助金（2/3）	1,793千円			
評価・課題等	○児童に安心して生活できる場を継続的に提供することで、子どもたちの健やかな成長に努めることができた。同時に、保護者に対しては、仕事と子育ての両立支援を図ることができた。 ○共働きや一人親家庭等の増加に伴い、放課後児童クラブへの利用希望は年々増加していることや、施設の老朽化等から受け入れ施設の確保が課題である。					
事業所管課		教育委員会事務局／子ども未来課				

予算科目	03民生費	02児童福祉費	01児童福祉総務費	02放課後児童健全育成事業		
細事業名	01 放課後児童健全育成事業（繰越）				決算書	P.150
総合計画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	① 子育ての支援		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	（参考）繰越予算額		
36,320千円	38,575千円	2,255千円	94.1 %	38,575千円		
目的	峰山統合保育所の建築に伴って、峰山放課後児童クラブを移設する必要が生じたため、その移設先の新山保育所旧施設の耐震補強等の整備を行う。					
主要な事業・事業及び成果の概要	峰山放課後児童クラブの移設先とした新山保育所旧施設の一部解体と耐震補強・一部改修工事を行った。					
	＜支出内訳＞					
	○委託料					
	・新山保育所旧施設耐震補強及び改修等工事設計管理業務委託（監理業務分）				1,575千円	
	○工事請負費					
・新山保育所旧施設耐震補強及び改修等工事				34,521千円		
・新山保育所旧施設光ケーブル撤去工事				210千円		
○役務費						
・手数料（水道開栓、電話移設等）				14千円		
主な財源	市債	放課後児童健全育成施設整備事業債（合併事業債）			25,800千円	
評価・課題等	移設先の旧新山保育所施設の耐震補強及び改修等工事を実施・完了し、平成25年9月2日から新施設として峰山放課後児童クラブの運営を開始することができた。					
事業所管課		教育委員会事務局／子ども未来課				

予算科目	03民生費	02児童福祉費	01児童福祉総務費	04家庭こども相談室事業																																							
細事業名	01 家庭こども相談室事業			決算書 P.150																																							
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	① 子育ての支援																																							
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額																																							
512千円	526千円	14千円	97.3 %	232千円																																							
目的	家庭における児童の適正な養育及び福祉の向上を図る。																																										
主要な事務・事業及び成果の概要	家庭における児童の福祉の向上のため、支援の必要な児童や家庭（児童虐待・育児不安・養育危惧・不登校等）について、相談援助活動・家庭訪問・同行支援等を行うとともに、要保護児童対策地域協議会の充実と連携を深め、情報の共有と協議・支援・対応を行った。																																										
	○事業実績額																																										
	報償費	京丹後市要保護児童対策地域協議会講師謝金（1回）	100千円																																								
	旅費	担当者会議・協議支援・研修旅費等	88千円																																								
	需用費	消耗品費・メッセージ入りウェットティッシュ等	205千円																																								
	役務費	通信費（専用携帯電話通話費）	3千円																																								
	使用料	ソフトウェア購入費（虐待防止システムアクセス用）	15千円																																								
	備品購入費	キャビネット・携帯電話（2台）	91千円																																								
	負担金	京都府家庭相談員連絡協議会負担金	10千円																																								
	○京丹後市児童相談等取扱件数（児童票を起こしているもの）																																										
<table><tr><td>種別</td><td>詳細</td><td>件数</td><td>種別</td><td>詳細</td><td>件数</td></tr><tr><td rowspan="2">養護</td><td>児童虐待</td><td>99</td><td rowspan="4">育成</td><td>性格</td><td>9</td></tr><tr><td>その他</td><td>141</td><td>不登校</td><td>22</td></tr><tr><td>保健</td><td></td><td>0</td><td>適正</td><td>1</td></tr><tr><td>障害</td><td></td><td>1</td><td>育児・しつけ</td><td>7</td></tr><tr><td>非行</td><td></td><td>7</td><td>再掲</td><td>（いじめ）</td><td>0</td></tr><tr><td>その他</td><td></td><td>1</td><td colspan="2">計</td><td>288</td></tr></table>						種別	詳細	件数	種別	詳細	件数	養護	児童虐待	99	育成	性格	9	その他	141	不登校	22	保健		0	適正	1	障害		1	育児・しつけ	7	非行		7	再掲	（いじめ）	0	その他		1	計		288
種別	詳細	件数	種別	詳細	件数																																						
養護	児童虐待	99	育成	性格	9																																						
	その他	141		不登校	22																																						
保健		0		適正	1																																						
障害		1		育児・しつけ	7																																						
非行		7	再掲	（いじめ）	0																																						
その他		1	計		288																																						
主な財源	府補 子育て支援特別対策事業費補助金（10/10）			270千円																																							
評価・課題等	○家庭訪問・面談・電話相談の実施、ケース検討会議開催、要保護児童対策地域協議会の取組等により、さまざまな課題のある家庭への支援や対応を行うことができた。 ○メッセージ入りウェットティッシュを配架・配布することにより、家庭子ども相談室の周知を図り、身近に感じて貰えるような取組や子育て支援につなげることができた。 ○適切で迅速な支援につなげるため、担当者の研鑽を深めるとともに、関係機関との連携を深めていく必要がある。																																										
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課																																										

予算科目	03民生費				02児童福祉費	01児童福祉総務費	05ファミリー・サポートセンター事業
細事業名	01 ファミリー・サポートセンター事業						決算書 P.150
総合計画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市				計画項目	① 子育ての支援	
決 算 額 ①	最終予算額 ②		不用額 ②-①		執行率	(参考) 当初予算額	
164千円	200千円		36千円		82.0 %	200千円	
目的	子どもの預かり等の援助を受ける方、援助を行う方からなる会員同士の援助活動を調整し、概ね生後2か月～小学校3年生までの子どもを持つ家庭の子育て支援を図る。						
主要な事務・事業及び成果の概要	まかせて会員に登録されてから5年を経過する方を対象に、子どもの世話や発達に関する知識の再確認のための5年目更新講習会を実施。会員を対象とした交流会では会員同士の交流を深めた。						
	○ 実施事業内容						
	・ 会員登録講習会及び5年目更新講習会			参加者 3人			
	・ 会報誌発行（1回・125部・A4を2枚）						
	・ ファミサポ会員交流会 平成26年3月18日開催			参加者6人			
	○ 会員数（26年3月末）						
	・ おねがい会員 75人		（平成25年3月末 84人）				
	・ まかせて会員 30人		（平成25年3月末 34人）				
	・ 両方会員 6人		（平成25年3月末 7人）				
	※活動延件数 2件		（平成25年3月末 164件）				
※利用者実人数 1人		（平成25年3月末 11人）					
○ 事業費	報償費（ファミサポ会員交流会「楽しんでできるヨガ」）						5千円
	消耗品費						35千円
	補償保険料（サービス提供会員傷害保険Ⅰ・依頼子供傷害保険Ⅱ：各2人分）						51千円
	ネットワーク事業参加負担金						52千円
	研修旅費（ファミサポネットワーク事業交流集会：1人、ファミサポ担当者会議：1人）						21千円
	府補 子育て支援特別対策事業費補助金 78千円						
	評価・課題等						
	援助会員の講習会で、受講者に子どもの世話や看病の仕方を再確認する機会を提供し、援助技能の向上が図れた。また、会報誌を発行し、センターに関する情報を周知できた。						
	事業所管課		教育委員会事務局／子ども未来課				

予 算 科 目	03民生費	02児童福祉費	01児童福祉総務費	07子ども未来まちづくり審議会事業
細 事 業 名	01 子ども未来まちづくり審議会事業			決算書 P.152
綜 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	① 子育ての支援
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
166千円	184千円	18千円	90.2 %	184千円
目的	子ども・子育て支援事業計画策定に係る審議及び保育所再編等推進計画の進行管理を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	平成27年4月からの子ども・子育て支援新制度に向けた子ども・子育て支援事業計画の策定、公設民営で運営を行っていた2保育所の民設民営化への移行等について、審議会を開催した。 ○ 報酬（審議会委員） 委員：10人 4回開催 148千円 ○ 旅費（費用弁償） 18千円 審議会開催状況 平成25年5月27日 - 京丹後市保育所再編等推進計画の進行状況について - 子ども・子育て支援事業について - 京丹後市子ども未来まちづくり審議会条例について 平成25年9月25日 - 審議会の運営について - 京丹後市子ども・子育て支援事業計画について - 京丹後市子ども・子育て支援に関するニーズ調査について - 京丹後市立保育所の民営化について 平成25年10月11日 - 京丹後市立保育所の民設民営（完全民営化）について - 京丹後市子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査について 平成26年1月30日 - 京丹後市子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査中間集計報告 - 京丹後市立保育所の民営化に関する方向性について			
主な財源				
評価・課題等	○市立保育所の民設民営（完全民営化）について審議会で慎重に審議を行い、2保育所を完全民営化に移行することができた。 ○ニーズ調査結果を事業計画に反映させるため、審議会を開催し多分野からの意見を集約することができた。今後も子ども・子育て支援事業計画策定に向けて審議会を開催するが、子育て支援に対するニーズの多様化、制度の複雑化により、審議内容が多く委員の負担が増えていることから、わかりやすい資料の提供と要点を絞った説明を行う必要がある。			
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課			

予 算 科 目	03民生費	02児童福祉費	01児童福祉総務費	09子ども・子育て支援事業																	
細 事 業 名	01 子ども・子育て支援事業				決算書 P.152																
総 合 計 画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	① 子育ての支援																	
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額																	
1,597千円	1,613千円	16千円	99.0 %	0千円																	
目 的	「京丹後市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保等を図る。																				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査を実施し、分析と課題整理を行い、子ども未来まちづくり審議会に報告を行った。また、調査結果の分析と課題を基に、事業計画骨子の作成を行った。																				
	○ 役務費				232千円																
	子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査																				
	調査期間		平成25年11月15日～平成25年12月1日																		
	調査方法		郵送配布、郵送回収による郵送調査法																		
	<table><tr><td>調査票</td><td>調査対象者数 (配布数)</td><td>有効回答数</td><td>有効回答率</td></tr><tr><td>就学前児童家庭</td><td>1,937</td><td>858</td><td>44.3%</td></tr><tr><td>小学生児童家庭</td><td>600</td><td>283</td><td>47.2%</td></tr><tr><td>合 計</td><td>2,537</td><td>1,141</td><td>45.0%</td></tr></table>				調査票	調査対象者数 (配布数)	有効回答数	有効回答率	就学前児童家庭	1,937	858	44.3%	小学生児童家庭	600	283	47.2%	合 計	2,537	1,141	45.0%	
	調査票	調査対象者数 (配布数)	有効回答数	有効回答率																	
	就学前児童家庭	1,937	858	44.3%																	
	小学生児童家庭	600	283	47.2%																	
	合 計	2,537	1,141	45.0%																	
○ 委託料					1,365千円																
子ども・子育て支援事業計画策定業務委託料																					
業務内容																					
① ニーズ調査 ② 子育て支援に関する現状の分析と課題の整理 ③ ニーズ調査に基づく子育て支援の事業量の見込み・設定 ④ 事業計画骨子の策定 ⑤ 事業実施に係る条例等の整備に向けた支援 ⑥ 子ども未来まちづくり審議会運営支援																					
主 な 財 源																					
評 価 ・ 課 題 等	ニーズ調査により、子育て支援に関する、現状の課題を把握することができた。また、調査結果に基づき事業計画の骨子を作成し、平成26年度での計画策定に向けた準備を整えることができた。																				
事 業 所 管 課	教育委員会事務局／子ども未来課																				

予 算 科 目	03民生費	02児童福祉費	01児童福祉総務費	50児童福祉総務一般経費
細 事 業 名	01 児童福祉総務一般経費			決算書 P.152
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	① 子育ての支援
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
591千円	647千円	56千円	91.3 %	616千円
目的	児童福祉業務を円滑に遂行するために必要な公用車管理及び火災保険料等の経費			
主要な事務・事業及び成果の概要	<支出内訳> ○ 旅費 ・ 関係機関との会議、協議のための旅費等 31千円 ○ 公用車管理経費 ・ 燃料代、修繕料、保険料等 560千円			
主な財源				
評価・課題等	支出内容を精査しながら、児童福祉業務を適切に実施することができた。			
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課			

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	02保育所管理運営事業	
細事業名	01 保育所管理運営事業			決算書 P.154	
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	① 子育ての支援	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
166,040千円	167,490千円	1,450千円	99.1 %	170,016千円	
目的	保護者の就労等で、家庭での保育に欠ける児童を保護者に代わって保育するとともに、入所する児童にとってふさわしい生活の場となるよう環境整備を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	16保育所において、保護者の就労等により保育に欠ける児童を保育するため、保育材料費、賄材料費や施設の維持管理経費など、必要な経費を支出した。				
		保育所数	3歳未満児童数	3歳以上児童数	合計
	峰山町	2 (5)	18	146	164
	大宮町	2	99	217	316
	網野町	4	84	184	268
	丹後町	2	41	111	152
	弥栄町	3 (5)	32	104	136
	久美浜町	3 (5)	76	206	282
	計	16 (23)	350	968	1,318
	※仮設保育所及び保育所の合計。カッコ内は条例上の保育所数。(H26.3.31現在)				
〔支出内容〕					
1. 保育所の運営に関する経費 (103,252千円)					
○ 保育材料費ほか消耗品費 16,780千円 ○ 給食賄材料費 84,124千円					
○ 施設備品、保育備品 1,355千円 ○ コピー機借上料 507千円					
○ 砂場の砂、園庭の土 281千円 ○ その他運営費 205千円					
2. 施設の維持管理に関する経費 (62,788千円)					
○ 燃料費、光熱水費 43,118千円 ○ 通信運搬費 1,581千円					
○ 施設・備品等一般修繕 2,678千円 ○ 清掃用具借上料ほか 393千円					
○ 手数料 309千円 ○ 浄化槽維持管理 1,953千円					
○ 施設警備委託料 911千円 ○ その他委託料 3,208千円					
○ 施設改修等工事 ・ 保育所遊具更新工事 (峰山、網野、浅茂川、網野みなみ、島津、たちばな、丹後、宇川保育所) 6,359千円					
・ 浅茂川保育所樋修繕工事ほか 2,278千円					
主な財源	負担金	保育料現年度分	79,704千円		
	諸収入	保育所職員給食費	12,960千円		
	諸収入	延長保育間食負担金	258千円		
	諸収入	幼稚園給食費	3,471千円		
評価・課題等	○保育に欠ける児童を待機させることなく保育することができ、保育所として円滑な運営を実施することができた。				
	○施設の老朽化が進む中、修繕等の維持管理経費が増加することが予測されるため、計画的に修繕を行っていく必要がある。				
事業所管課		教育委員会事務局／子ども未来課			

予 算 科 目		03民生費	02児童福祉費	03保育所費	03保育所委託事業	
細 事 業 名		01 保育業務委託事業				決算書 P.156
総 合 計 画		基本方針		Ⅳ 生涯学習都市		
		計画項目		① 子育ての支援		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
232,341千円		232,389千円		48千円	99.9 %	241,070千円
目 的		保護者の就労環境の変化等により、家庭で保育に欠ける乳児や児童の健全な心身の発達を図る。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要		民間認可保育所の「ゆうかり乳児保育所」に、2か月以上児から2歳児までの保育を委託し、産休明け・育休明けの保育ニーズに対応するとともに、公立保育所である「峰山保育所」「網野保育所」の運営を社会福祉法人に委託して保育時間の延長や休日保育など、保護者の保育ニーズに対応した。 ○乳児保育委託料 ・ゆうかり乳児保育所 55,042 千円 定員30人 平成26年3月末入所児童数： 35人 ○保育所運営委託料 177,299 千円 ・峰山保育所 108,600 千円 定員150人 平成26年3月末入所児童数：147人 通常保育業務 88,249千円 延長保育業務 6,717千円 休日保育業務（利用延べ児童数 239人） 1,410千円 障害児保育業務 7,767千円 一時預かり業務（利用延べ児童数 231人） 1,942千円 その他（民間社会福祉施設サービス向上事業等） 2,515千円 ・網野保育所 68,699 千円 定員90人 平成26年3月末入所児童数： 73人 通常保育業務 57,730千円 延長保育業務 6,717千円 休日保育業務（利用延べ児童数 221人） 1,410千円 一時預かり業務（利用延べ児童数 4人） 1,942千円 その他（民間社会福祉施設サービス向上事業） 900千円				
主 な 財 源		負担金 保育料現年度分 67,562千円 国負 保育所運営費負担金（1/2） 21,486千円 府負 保育所運営費負担金（1/4） 10,743千円 府補 京都府子育て支援特別対策事業費補助金（1/2）、休日・夜間保育事業費補助金（2/3）ほか 2,890千円 諸収入 延長保育利用料、一時預かり事業利用料、休日保育利用料 2,037千円				
評 価 ・ 課 題 等		○保育希望者全員を受け入れることができた。 ○保育所運営委託に伴って、引き続き、保育時間の延長、休日保育などを実施して、保護者の子育てと仕事の両立支援につながった。				
事 業 所 管 課		教育委員会事務局／子ども未来課				

予 算 科 目		03民生費	02児童福祉費	03保育所費	03保育所委託事業	
細 事 業 名		02 保育所保育事業等補助金				決算書 P.156
総 合 計 画		基本方針		Ⅳ 生涯学習都市		
		計画項目		① 子育ての支援		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
7,374千円		7,375千円		1千円	99.9 %	5,363千円
目 的		事業の円滑な運営ができるよう体制作り等に対して補助金を交付し、乳児保育等の特別保育事業を推進する。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要		民間認可保育所である「ゆうかり乳児保育所」が行う延長保育などに対し、補助金を交付した。 ○ゆうかり乳児保育所保育事業補助金 4,869千円 ・延長保育促進事業 延長保育実施のための人件費等 延長保育利用児童数 年間延べ304人 ・民間社会福祉施設サービス向上事業 510千円 （保育室の床張替及び床暖房設置工事） ・保育士等処遇改善臨時特例事業 1,195千円 保育士等17人の賃金改善を実施 ・障害児保育事業 800千円 加配職員の人件費				
主 な 財 源		府補 延長保育促進事業費補助金（2/3） 3,246千円 府補 民間社会福祉施設サービス向上補助金（1/2） 253千円 府補 京都府子育て支援特別対策事業費補助金（10/10） 1,195千円				
評 価 ・ 課 題 等		○乳児の延長保育の実施により、子育て支援と仕事の両立支援を図った。 ○施設修繕及び加配職員配置への支援を行うことで、乳児保育の受入体制を整え、多様な保育ニーズに対応した。 ○保育士の処遇改善への支援を行うことで、人材確保を図り保育の質の向上を推進した。				
事 業 所 管 課		教育委員会事務局／子ども未来課				

予 算 科 目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	04子育て支援事業																																																
細 事 業 名	01 子育て支援事業			決算書 P.156																																																
総 合 計 画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	① 子育ての支援																																																
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																																
10,155千円	10,196千円	41千円	99.5 %	10,732千円																																																
目的	保育所入所前の子育て家庭のため、子育て相談や遊びの場の提供等の育児支援活動を通して、地域に密着した子育ての環境を整える。																																																			
主要な事務・事業及び成果の概要	幼稚園入園前・保育所入所前の子どもを持つ家庭のため、保護者の育児相談・交流の場及び子ども同士のふれあいの場として、7か所の支援センターを設置することで、地域に密着した子育て支援を推進した。 また、11月5日に開催した子育て講演会「うたって踊って楽しく子育て」は、参加者から好評であった。参加者は保護者75人、子ども79人、計154人であった。 ○ 家庭内で子育てをしている保護者の育児を支援する事業 <table><thead><tr><th rowspan="2">形態</th><th rowspan="2">実施場所</th><th rowspan="2">実績額</th><th colspan="2">延利用人数</th></tr><tr><th>うち職員人件費</th><th>児童 保護者</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">センター型</td><td>大宮南保育所</td><td>9,619</td><td>8,292</td><td>1,852人 1,569人</td></tr><tr><td>峰山保育所</td><td>2,513</td><td>—</td><td>1,336人 1,142人</td></tr><tr><td rowspan="4">ひろば型</td><td>大宮北保育所</td><td>9,672</td><td>8,505</td><td>1,628人 1,449人</td></tr><tr><td>網野みなみ保育所</td><td>9,806</td><td>8,582</td><td>2,112人 1,871人</td></tr><tr><td>丹後こども園</td><td>9,927</td><td>8,717</td><td>1,367人 1,214人</td></tr><tr><td>溝谷集会施設</td><td>1,494</td><td>—</td><td>1,353人 961人</td></tr><tr><td></td><td>こうりゅう保育所</td><td>9,847</td><td>8,649</td><td>2,324人 2,003人</td></tr><tr><td></td><td>事務局</td><td>22</td><td>—</td><td>— —</td></tr><tr><td></td><td>合 計</td><td>52,900</td><td>42,745</td><td>11,972人 10,209人</td></tr></tbody></table> ※決算額（10,155千円）は実績額から職員人件費を除いた額 ○ 臨時職員賃金及び共済費（12人） 8,757千円 ○ 子育て講座・親子体操教室講師謝礼 192千円 ○ 駐車場使用料（峰山地域子育て支援センター） 338千円 ○ 溝谷集会施設使用料（弥栄地域子育て支援センター） 46千円 ○ 通信運搬費 263千円 ○ その他経費（職員研修旅費、消耗品費、燃料費等） 559千円				形態	実施場所	実績額	延利用人数		うち職員人件費	児童 保護者	センター型	大宮南保育所	9,619	8,292	1,852人 1,569人	峰山保育所	2,513	—	1,336人 1,142人	ひろば型	大宮北保育所	9,672	8,505	1,628人 1,449人	網野みなみ保育所	9,806	8,582	2,112人 1,871人	丹後こども園	9,927	8,717	1,367人 1,214人	溝谷集会施設	1,494	—	1,353人 961人		こうりゅう保育所	9,847	8,649	2,324人 2,003人		事務局	22	—	— —		合 計	52,900	42,745	11,972人 10,209人
形態	実施場所	実績額	延利用人数																																																	
			うち職員人件費	児童 保護者																																																
センター型	大宮南保育所	9,619	8,292	1,852人 1,569人																																																
	峰山保育所	2,513	—	1,336人 1,142人																																																
ひろば型	大宮北保育所	9,672	8,505	1,628人 1,449人																																																
	網野みなみ保育所	9,806	8,582	2,112人 1,871人																																																
	丹後こども園	9,927	8,717	1,367人 1,214人																																																
	溝谷集会施設	1,494	—	1,353人 961人																																																
	こうりゅう保育所	9,847	8,649	2,324人 2,003人																																																
	事務局	22	—	— —																																																
	合 計	52,900	42,745	11,972人 10,209人																																																
主な財源	府補 子育て支援特別対策事業費補助金 5,077千円																																																			
評価・課題等	○保育所入所前の子育て家庭のため、子育て相談や遊びの場を提供することにより子育てに対する不安の解消や保護者同士のコミュニケーションの促進が図られた。 ○市内7か所の支援センターにおける年間延べ利用者数は、保護者10,209人、児童11,972人と昨年度より多くの利用があった。 ○同じクラスでも日によって利用者数に大きな差があることから、利用日の調整を行うなどの工夫が必要である。																																																			
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課																																																			

予 算 科 目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	05子育て短期支援事業																				
細 事 業 名	01 子育て短期支援事業			決算書 P.158																				
総 合 計 画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	① 子育ての支援																				
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額																				
437千円	437千円	0千円	100.0 %	973千円																				
目的	保護者が就労や疾病等の理由により、家庭で養育することが一時的に困難となった場合に、該当児童を乳児院等で一定期間養育を行い、児童及びその家庭の福祉の向上を図る。																							
主要な事務・事業及び成果の概要	家庭において、保護者が疾病その他の理由において児童を養育することが一時的に困難となった児童（小学校第4学年までの者）に対し、峰山乳児院等で保護者に代わって養育する事業を社会福祉法人みねやま福祉会に委託し実施した。 （延べ利用児童数115人） ○ 子育て短期支援事業 <table><tr><td colspan="2">子育て短期支援事業委託料</td><td>437千円</td></tr><tr><td colspan="3">(述べ利用児童数等)</td></tr><tr><td rowspan="3">0、1歳児</td><td>生活保護世帯（利用なし）</td><td></td></tr><tr><td>母子父子・非課税世帯（利用なし）</td><td></td></tr><tr><td>その他の世帯（14人）</td><td>75千円</td></tr><tr><td rowspan="3">2歳児以上</td><td>生活保護世帯（利用なし）</td><td></td></tr><tr><td>母子父子・非課税世帯（48人）</td><td>216千円</td></tr><tr><td>その他の世帯（53人）</td><td>146千円</td></tr></table>				子育て短期支援事業委託料		437千円	(述べ利用児童数等)			0、1歳児	生活保護世帯（利用なし）		母子父子・非課税世帯（利用なし）		その他の世帯（14人）	75千円	2歳児以上	生活保護世帯（利用なし）		母子父子・非課税世帯（48人）	216千円	その他の世帯（53人）	146千円
子育て短期支援事業委託料		437千円																						
(述べ利用児童数等)																								
0、1歳児	生活保護世帯（利用なし）																							
	母子父子・非課税世帯（利用なし）																							
	その他の世帯（14人）	75千円																						
2歳児以上	生活保護世帯（利用なし）																							
	母子父子・非課税世帯（48人）	216千円																						
	その他の世帯（53人）	146千円																						
主な財源	府補 子育て支援特別対策事業費補助金			218千円																				
評価・課題等	○保護者の傷病・冠婚葬祭・就労・学校等行事への参加による一時的な利用及び保護者の育児疲れ等による短期間の利用があり、養育を必要とする児及びその家庭の福祉向上につなげることができた。 ○直前での申し込みに対応できない場合があるので、委託先である社会福祉法人みねやま福祉会と協議し、緊急時の対応ができる体制を検討する必要がある。																							
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課																							

予 算 科 目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	06保育所整備事業		
細 事 業 名	01 保育所整備事業				決算書	P.158
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	① 子育ての支援	
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
13,103千円	13,103千円		0千円	100.0 %	16,100千円	
目的	湊保育所旧施設は、建築基準法の新耐震基準を満たさない診断結果の施設であり、土地が借地であることから、解体撤去及び敷地を整地して用地を返却するもの。					
主要な事務・事業及び成果の概要	建物及び付帯設備の解体撤去に加え敷地整地を実施した。 ＜支出内訳＞ ○ 役務費 ・ 水道工事検査手数料 2 千円 ○ 委託料 ・ 設計・監理委託業務 1,029 千円 ○ 工事請負費 ・ 旧湊保育所施設解体と敷地整備工事 12,072 千円					
主な財源						
評価・課題等	解体撤去により土地を返却することができた。					
事業所管課		教育委員会事務局／子ども未来課				

予 算 科 目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	08峰山統合保育所整備事業	
細 事 業 名	01 峰山統合保育所整備事業				決算書 P.158
総 合 計 画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	① 子育ての支援	
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	（参考）当初予算額	
239,343千円	1,455,778千円	1,216,435千円	16.4 %	112,857千円	
目的	市保育所再編等推進計画に基づき、吉原、長岡、新山、丹波の4保育所統合とあわせ、幼稚園、子育て支援センターを一体的に整備する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	平成26年度中に開所するため、新施設予定地にある峰山放課後児童クラブ建物の解体工事及び水道本管布設工事を実施した。また、新施設の用地造成工事に加え新築工事（建築主体工事・電気設備工事）に着手した。				
	仮設により運営している保育所については、新施設開所までの間、仮設保育所にて児童を保育するため、園舎のリース料を支払った。				
	＜支出内訳＞				
	○ 役務費				
	・ 建築確認申請手数料、開発行為許可申請手数料ほか				442 千円
	○ 委託料				
	・ 浄化槽清掃等委託料				38 千円
	○ 使用料及び賃借料				
	・ 峰山管内仮設保育所賃借業務（リース料）				4,133 千円
	○ 工事請負費				
主 な 財 源	・ 峰山放課後児童クラブ解体工事（峰山町長岡1677-2）				12,161 千円
	・ 水道本管布設工事				1,587 千円
	・ 用地造成工事（前払金）				15,000 千円
	・ 建築主体工事（前払金）				150,000 千円
	・ 電気設備工事（前払金）				55,860 千円
	○ 補償補填及び賠償金				
	・ 架空配電線路の移設補償（関西電力）				122 千円
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額		239,345千円	
		実質的な予算執行率		99.9%	
	■平成26年度への繰越事業				
主 な 財 源	・ 用地造成工事 ※平成26年5月完成				89,500千円
	・ 新築工事、意図伝達・工事監理業務ほか ※平成27年2月完成予定				1,126,933千円
	府補	未来づくり交付金（峰山統合保育所整備事業）			2,000千円
市債	児童福祉施設整備事業債（施設整備事業債（一般財源化分））			65,300千円	
市債	児童福祉施設整備事業債（合併特例債）			160,800千円	
評価・課題等	○新築工事に向け既存建物の解体及び水道本管を布設することができた。 ○造成工事及び新築工事の着手により、平成26年度中の開所に向けた取組をすることができた。				
事業所管課		教育委員会事務局／子ども未来課			

予 算 科 目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	08峰山統合保育所整備事業	
細 事 業 名	01 峰山統合保育所整備事業（繰越）				決算書 P.158
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	① 子育ての支援
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②		不 用 額 ②-①	執 行 率	（参考）繰越予算額
19,653千円	21,500千円		1,847千円	91.4 %	21,500千円
目 的	市保育所再編等推進計画に基づき、吉原、長岡、新山、丹波の4保育所統合とあわせ、幼稚園、子育て支援センターを一体的に整備する。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	平成26年度中の開所を目指し、用地測量設計・開発行為許可申請業務及び新築工事設計業務を実施した。				
	<支出内訳> ○ 委託料 ・ 用地測量設計・開発行為許可申請業務 8,155 千円 ・ 新築工事設計業務 11,498 千円				
主 な 財 源	市債	児童福祉施設整備事業債（施設整備事業債(一般財源化分)）			3,500千円
	市債	児童福祉施設整備事業債（合併特例債）			15,300千円
評 価 ・ 課 題 等	新築工事に向け、用地造成工事及び新築工事の準備を整えることができた。				
事 業 所 管 課		教育委員会事務局／子ども未来課			

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	09弥栄統合保育所整備事業		
細事業名	01 弥栄統合保育所整備事業				決算書	P.158
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	① 子育ての支援	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	②-①	執行率
5,754千円		14,891千円		9,137千円		38.6 %
(参考) 当初予算額 27,310千円						
目的	市保育所再編等推進計画に基づき、和田野、鳥取、黒部、溝谷、吉野の5保育所統合とあわせ、幼稚園、子育て支援センターを一体的に整備する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	平成27年4月に開所するため、未登記用地の整理に加え境界確定、用地測量及び地質調査を実施した。					
	また、新築工事設計業務委託を実施した。					
	《支出内訳》					
	○ 委託料					
	・ 用地測量業務 1,559 千円					
	・ 未登記用地の整理業務 1,048 千円					
	・ 土地境界確定業務 299 千円					
	・ 地質調査業務 2,848 千円					
	参考					
	繰越明許費を除いた最終予算額 5,756千円					
実質的な予算執行率 99.9%						
■平成26年度への繰越事業						
・ 実施設計委託料 ※平成26年5月完成 8,925 千円						
・ 建築確認申請手数料 ※平成26年5月完成 210 千円						
主な財源	市債	児童福祉施設整備事業債（施設整備事業債(一般財源化分)）				700千円
	市債	児童福祉施設整備事業債（合併特例債）				4,800千円
評価・課題等	新築工事に向け土地の整理に加え測量及び地質調査ができた。また、設計業務を発注し新築工事の準備を整えることができた。					
事業所管課		教育委員会事務局／子ども未来課				

予 算 科 目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	10久美浜統合保育所整備事業						
細 事 業 名	01 久美浜統合保育所整備事業			決算書 P.158						
総 合 計 画	基本方針 Ⅳ 生涯学習都市		計画項目 ① 子育ての支援							
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額						
262,771千円	801,101千円	538,330千円	32.8 %	736,486千円						
目 的	市保育所再編等推進計画に基づき、湊、田村、神野の3保育所統合とあわせ、幼稚園、子育て支援センターを一体的に整備する。									
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	平成24年度から引き続き久美浜統合保育所・幼稚園建設のため、造成工事を行うとともに、新築工事に着手した。 仮設により運営している保育所については、新施設開所までの間、仮設保育所にて児童を保育するため、園舎のリース料を支払った。 ＜支払内訳＞ ○ 役務費 ・ 建築確認申請手数料 325 千円 ○ 委託料 ・ 分筆登記委託料 309 千円 ○ 使用料及び賃借料 ・ 仮設保育所借上料 2,885 千円 ○ 工事請負費 ・ 久美浜統合保育所用地造成工事 41,722 千円 ・ 建築主体工事（前払金） 150,000 千円 ・ 電気設備工事（前払金） 34,770 千円 ・ 機械設備工事（前払金） 32,760 千円 <table><tr><td>参考</td><td>繰越明許費を除いた最終予算額</td><td>262,772千円</td></tr><tr><td></td><td>実質的な予算執行率</td><td>99.9%</td></tr></table> ■平成26年度への繰越事業 ・ 各種手数料 ※平成26年11月完成予定 221 千円 ・ 監理委託料 ※平成26年11月完成予定 11,006 千円 ・ 新築工事費 ※平成26年11月完成予定 526,448 千円 ・ 水道加入分担金 ※平成26年11月完成予定 654 千円				参考	繰越明許費を除いた最終予算額	262,772千円		実質的な予算執行率	99.9%
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	262,772千円								
	実質的な予算執行率	99.9%								
主 な 財 源	府補 林業・木材産業等振興施設整備交付金	35,434千円								
市債	児童福祉施設整備事業債（施設整備事業債（一般財源化分））	47,900千円								
市債	児童福祉施設整備事業債（合併特例債）	16,000千円								
市債	児童福祉施設整備事業債（過疎対策債）	159,200千円								
市債	過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債）	2,800千円								
評 価 ・ 課 題 等	新築工事に向けた造成工事を実施するとともに、新施設建設に着手することができた。									
事 業 所 管 課	教育委員会事務局／子ども未来課									

予 算 科 目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	10久美浜統合保育所整備事業
細 事 業 名	01 久美浜統合保育所整備事業（繰越）			決算書 P.158
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	① 子育ての支援
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	（参考）繰越予算額
36,102千円	37,688千円	1,586千円	95.7 %	37,688千円
目 的	市保育所再編等推進計画に基づき、湊、田村、神野の3保育所統合とあわせ、幼稚園、子育て支援センターを一体的に整備する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	平成24年度から引き続き建設用地を購入し、造成工事に向けて、地質調査や用地の測量、整地・排水の設計を行った。 ＜支払内訳＞ ○ 委託料 ・ 実施設計委託料 10,481 千円 （仮称）久美浜統合保育所・幼稚園新築工事設計業務 ・ 測量委託料 1,241 千円 用地測量、境界確定手続き、登記業務など ・ 測量設計委託料 1,316 千円 整地設計、排水設計など ・ 地質調査委託料 3,033 千円 ボーリングによる地質調査 ○ 公有財産購入費 ・ 土地購入費 20,031 千円 （7地権者7筆／2,945.73㎡）			
主 な 財 源	市債	児童福祉施設整備事業債（施設整備事業債（一般財源化分））	3,600千円	
	市債	児童福祉施設整備事業債（合併特例債）	2,700千円	
	市債	児童福祉施設整備事業債（過疎対策債）	29,600千円	
評価・課題等	新築工事に向け土地の取得、建設予定地の地質調査、測量設計を進めることができた。			
事 業 所 管 課		教育委員会事務局／子ども未来課		

予 算 科 目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	50保育所一般経費	
細 事 業 名	01 保育所一般経費				決算書 P.160
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	① 子育ての支援	
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額	
513,243千円	513,650千円	407千円	99.9 %	562,752千円	
目 的	保育所入所児童の健康管理、臨時職員の雇用、職員等の研修、児童の送迎バス運行、給食調理業務等により保育所の円滑な運営を図る。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	保育所における保育を円滑に実施するため、臨時保育士の任用や児童の健康管理経費、給食調理業務、広域入所委託費、職員の資質向上のための研修経費を支出した。 〔支出内容〕 1. 保育所運営に関する経費 ○ 臨時職員（保育士、調理員）賃金及び共済（社保、労災、雇保） 382,469千円 ○ 健康診断実施手数料（非常勤職員） 199千円 ○ 給食調理業務委託料（7保育所） 57,914千円 ○ 児童送迎運行、遠足等バス借上費用等 45,093千円 ○ 保育所用地借上料及び建物火災保険料 2,763千円 ○ 広域入所委託料（他市町村への入所委託費） ※実績4人 943千円 ○ NewTRY-X/Ⅱ子ども・子育て支援制度対応機能使用に係る負担金 1,190千円 ○ その他（日本スポーツ振興センター・府保育協会負担金ほか） 9,148千円 2. 児童の健康管理に関する経費 ○ 嘱託医報酬（内科9人、歯科12人）、費用弁償等 4,750千円 ○ 入所児童の尿・ぎょう虫検査手数料等 388千円 3. 職員の研修に関する経費 ○ 講師謝礼、研修等参加旅費、負担金等 468千円 4. 一時預かり事業関係経費 ○ 臨時等職員賃金 7,918千円 延べ利用児童数 801 人 （大宮南保育所477人、網野みなみ保育所205人、丹後保育所42人、こうりゅう保育所77人）				
主 な 財 源	負担金	保育料現年度分	263,846千円		
	国負	保育所運営費負担金（広域入所分1/2）	282千円		
	府負	保育所運営費負担金（広域入所分1/4）	141千円		
	府補	子育て支援特別対策事業費補助金	3,248千円		
	諸収入	広域入所児童受託保育料、延長保育料、保育所給食調理機器類賃付料ほか	7,540千円		
評 価 ・ 課 題 等	保育所運営を実施するために必要な、施設管理、職員確保、児童・職員の健康管理などの業務を実施することで、円滑な保育所運営に寄与することができた。				
事 業 所 管 課	教育委員会事務局／子ども未来課				

予 算 科 目	10教育費	04幼稚園費	01幼稚園費	02幼稚園管理運営事業																																																																					
細 事 業 名	01 幼稚園管理運営事業				決算書 P.328																																																																				
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実																																																																				
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額																																																																				
8,028千円	9,765千円		1,737千円	82.2 %	10,181千円																																																																				
目 的	適正な幼稚園運営や教育環境の充実に取り組み、幼稚園における就学時前教育の充実を図る。																																																																								
主要な 事業及び 成果の概要	幼稚園運営に必要な維持管理を行い、必要経費を支出した。また、全ての幼稚園における3歳児の受け入れ、さらに預かり保育事業の実施により、就学時前教育の充実、保護者の就労等による幼稚園教育に対するニーズに応えることができた。 <table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="4">園児数 (H26.3.31現在)</th><th colspan="4">預かり保育 (延べ利用人数)</th></tr><tr><th>3歳児</th><th>4歳児</th><th>5歳児</th><th>計</th><th>3歳児</th><th>4歳児</th><th>5歳児</th><th>計</th></tr><tr><td>峰山幼稚園</td><td>23人</td><td>18人</td><td>22人</td><td>63人</td><td>64人</td><td>28人</td><td>38人</td><td>130人</td></tr><tr><td>大宮幼稚園</td><td>20人</td><td>23人</td><td>14人</td><td>57人</td><td>62人</td><td>90人</td><td>43人</td><td>195人</td></tr><tr><td>網野幼稚園</td><td>7人</td><td>14人</td><td>22人</td><td>43人</td><td>10人</td><td>6人</td><td>39人</td><td>55人</td></tr><tr><td>丹後幼稚園</td><td>8人</td><td>4人</td><td>4人</td><td>16人</td><td>11人</td><td>35人</td><td>48人</td><td>94人</td></tr><tr><td>計</td><td>58人</td><td>59人</td><td>62人</td><td>179人</td><td>147人</td><td>159人</td><td>168人</td><td>474人</td></tr></table> ○ 自動車運転委託料、バス借上料 (園外活動) 202千円 ○ 一般管理経費 <table><tr><td>教諭研修等旅費等</td><td>915千円</td></tr><tr><td>消耗品費・燃料費・光熱水費等</td><td>6,804千円</td></tr><tr><td>各種負担金</td><td>107千円</td></tr></table>						園児数 (H26.3.31現在)				預かり保育 (延べ利用人数)				3歳児	4歳児	5歳児	計	3歳児	4歳児	5歳児	計	峰山幼稚園	23人	18人	22人	63人	64人	28人	38人	130人	大宮幼稚園	20人	23人	14人	57人	62人	90人	43人	195人	網野幼稚園	7人	14人	22人	43人	10人	6人	39人	55人	丹後幼稚園	8人	4人	4人	16人	11人	35人	48人	94人	計	58人	59人	62人	179人	147人	159人	168人	474人	教諭研修等旅費等	915千円	消耗品費・燃料費・光熱水費等	6,804千円	各種負担金	107千円
	園児数 (H26.3.31現在)				預かり保育 (延べ利用人数)																																																																				
	3歳児	4歳児	5歳児	計	3歳児	4歳児	5歳児	計																																																																	
峰山幼稚園	23人	18人	22人	63人	64人	28人	38人	130人																																																																	
大宮幼稚園	20人	23人	14人	57人	62人	90人	43人	195人																																																																	
網野幼稚園	7人	14人	22人	43人	10人	6人	39人	55人																																																																	
丹後幼稚園	8人	4人	4人	16人	11人	35人	48人	94人																																																																	
計	58人	59人	62人	179人	147人	159人	168人	474人																																																																	
教諭研修等旅費等	915千円																																																																								
消耗品費・燃料費・光熱水費等	6,804千円																																																																								
各種負担金	107千円																																																																								
主な財源	使用料 幼稚園保育料				1,000千円																																																																				
諸収入	幼稚園預かり保育料				300千円																																																																				
国補	幼稚園就園奨励費補助金				110千円																																																																				
評価・課題等	○幼児期の特性を踏まえ、児童の環境に応じた教育を行うことを基本に、人格形成の基礎を培う就学前教育の場を提供することができた。 ○就学時前教育と子育て支援の融合が図られようとしている国の動向に注意しつつ、京丹後市保育所再編等推進計画における幼稚園と保育所の一体化運営の方針を踏まえ、市域における就学前教育の充実を図ることが必要である。																																																																								
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課																																																																								

予 算 科 目	10教育費	04幼稚園費	01幼稚園費	02幼稚園管理運営事業		
細 事 業 名	02 幼稚園スクールサポーター等設置事業				決算書	P.328
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実	
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②		不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額	
26,306千円	26,327千円		21千円	99.9 %	32,320千円	
目的	幼稚園へ介護職員及び預かり保育職員を配置することで、円滑な幼稚園運営を行う。					
主要な事務・事業及び成果の概要	クラスの園児数や園児の発育状況に応じ臨時職員を配置するとともに、特別な支援を必要とする園児に対しては、個別に指導計画を作成し発達に応じた指導を継続的に実施していくことを目的に職員を配置した。					
	また、全国で預かり保育事業を行い、14時以降の保育についても適正な人員配置を行った。					
	○ 臨時職員賃金		23,039千円			
	介護職員		4人			
	預かり保育職員		2人			
主な財源	介護・預かり保育職員		7人			
	作業員		1人			
	○ 共済費（社会保険料・労災保険料）		3,267千円			
	○ 預かり保育の利用実績（実人数）		81人			
使用料	幼稚園保育料				3,211千円	
	府補 未来づくり交付金（幼稚園スクールサポーター等設置事業）				12,000千円	
	諸収入 幼稚園預かり保育料				974千円	
評価・課題等	○スクールサポーターの配置は、幼稚園の円滑な運営と園児の成長に対して非常に大きな役割を担っている。そのため、特別な支援が必要な園児の受け入れを視野に入れたサポーターの確保を行い、職員体制の充実を図っている。 ○預かり保育については、利用者数の変動に柔軟に対応できる人員配置を行う必要がある。					
事業所管課		教育委員会事務局／子ども未来課				

予 算 科 目	10教育費	04幼稚園費	01幼稚園費	04園児等健康管理事業		
細 事 業 名	01 園児等健康管理事業				決算書	P.330
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実	
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額	
285千円	331千円		46千円	86.1 %	420千円	
目的	幼稚園における円滑な教育活動を実施するため、専門医による検診や保健衛生管理を行い、園児の健康保持と増進を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	園児の健康保持と増進のため、各種検診や検査を実施。					
	○ 各種検診・検査				210千円	
	眼科検診委託料		179人	54千円		
	耳鼻科検診委託料		179人	70千円		
	尿検査委託料 春季		184人	29千円		
	秋季		182人	29千円		
蛭虫検査委託料		181人	28千円			
○ 保健衛生消耗品・医薬材料費						75千円
主な財源						
評価・課題等	○学校保健安全法をはじめとする関係法令に基づき、各種検診・検査を適正に実施し、園児の健康管理及び健康づくりに努めた。 ○今後も園児の健康管理を徹底していくとともに疾病の早期発見と予防に努め、園児の健やかな成長を支える必要がある。					
事業所管課		教育委員会事務局／子ども未来課				

予 算 科 目	10教育費	04幼稚園費	01 幼稚園費	06幼稚園施設管理事業												
細 事 業 名	01 幼稚園施設管理事業				決算書	P.330										
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実											
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額											
1,192千円	1,203千円		11千円	99.0 %	1,164千円											
目 的	幼稚園における円滑な教育活動を実施するため、専門医による検診や保健衛生管理を行い、園児の健康保持と増進を図る。															
主要な事務・事業及び成果の概要	市内4幼稚園について、幼稚園を運営する上で必要な検査、保守管理委託、事務機器のリース、施設修繕等を実施した。 <table><tr><td>○ 建物火災保険料</td><td>143千円</td></tr><tr><td>○ 施設管理等委託料（9業務） 給排水設備保守、空調設備保守点検、消防設備等保守点検、 電気設備保守管理、自動ドア保守点検、施設警備、 ガスタンク保守、害虫駆除、グリストラップ処理</td><td>371千円</td></tr><tr><td>○ 事務機器リース料 複写機 2台 印刷機 4台</td><td>238千円</td></tr><tr><td>○ 修繕費（峰山幼稚園シャワー水栓修繕ほか）</td><td>261千円</td></tr><tr><td>○ 工事請負費（網野幼稚園ドアホン設置工事ほか）</td><td>179千円</td></tr></table>						○ 建物火災保険料	143千円	○ 施設管理等委託料（9業務） 給排水設備保守、空調設備保守点検、消防設備等保守点検、 電気設備保守管理、自動ドア保守点検、施設警備、 ガスタンク保守、害虫駆除、グリストラップ処理	371千円	○ 事務機器リース料 複写機 2台 印刷機 4台	238千円	○ 修繕費（峰山幼稚園シャワー水栓修繕ほか）	261千円	○ 工事請負費（網野幼稚園ドアホン設置工事ほか）	179千円
○ 建物火災保険料	143千円															
○ 施設管理等委託料（9業務） 給排水設備保守、空調設備保守点検、消防設備等保守点検、 電気設備保守管理、自動ドア保守点検、施設警備、 ガスタンク保守、害虫駆除、グリストラップ処理	371千円															
○ 事務機器リース料 複写機 2台 印刷機 4台	238千円															
○ 修繕費（峰山幼稚園シャワー水栓修繕ほか）	261千円															
○ 工事請負費（網野幼稚園ドアホン設置工事ほか）	179千円															
主な財源																
評価・課題等	幼稚園の運営に支障をきたすことなく、施設の維持管理を行うことができた。															
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課															

予 算 科 目	10教育費	06保健体育費	04学校給食費	06幼稚園給食管理運営事業		
細 事 業 名	01 幼稚園給食管理運営事業				決算書	P.368
総 合 計 画	基本方針 Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額		
3,717千円	3,726千円	9千円	99.7 %	3,764千円		
目的	学校給食を実施し、園児の心身の健全な発達を促す。					
主要な事務・事業及び成果の概要	幼稚園での安全な給食を提供するために必要な体制の確保と維持管理等を実施した。					
	○ 給食調理業務委託料（峰山幼稚園）			3,656千円		
	○ 需用費（賄材料費）			61千円		
主な財源	諸収入 幼稚園給食調理機器類貸付料					72千円
評価・課題等	○幼稚園給食の調理業務について、本市の行財政改革推進計画を踏まえ、アウトソーシングによる民間委託を導入することにより、効率的な運営を図ることができた。 ○栄養バランスのとれた安心・安全な給食の実施を前提に、調理機器や設備を含めた民間活力を更に活用する必要がある。					
事業所管課		教育委員会事務局／子ども未来課				

予算科目	10教育費	01教育総務費	01教育委員会費	50教育委員会一般経費		
細事業名	01 教育委員会一般経費				決算書	P.296
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
4,278千円		4,397千円		119千円	97.2 %	4,397千円
目的	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会の運営に係る事務を円滑に進める。					
主要な事務・事業及び成果の概要	教育委員（委員長1人、委員3人）の報酬、会議参集や研修の費用及び丹後地方教育委員会連合会負担金を支出。教育委員会会議は、定例会12回、臨時会5回と協議会8回を開催した。また、各種研修や先進地視察・市内学校等視察等の活動も行った。 ○報酬 3,792千円 ・教育委員4人の報酬 ○旅費等 128千円 ・近畿、府内教育委員研修大会参加に要する経費 ・視察研修に要する経費（10月17日、京都教育大学） ※研修テーマ：「今日の教育課題と教育委員会の役割」 ・各種研修、会議出席等市内用務出席に要する経費 ・有料道路使用料、駐車場使用料 ○負担金 358千円 ・丹後地方教育委員会連合会負担金					
主な財源						
評価・課題等	定例会また臨時会、協議会を多く開催することで、活発な教育委員会の運営ができた。					
事業所管課	教育委員会事務局／教育総務課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	50事務局一般経費		
細事業名	01 事務局一般経費				決算書	P.304
総合計画	基本方針 Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実		
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額	
5,519千円		5,891千円	372千円	93.6 %	4,862千円	
目的	教育委員会事務局の円滑な運営を行う。					
主要な事務・事業及び成果の概要	教育委員会事務局の運営に要する経費、所属する協議会への負担金等を支出した。 ○報償費（教育委員会活動点検評価謝金2人）40千円 ○旅費（近畿都市教育長協議会、京都府都市教育長協議会等）231千円 ○教育委員会交際費74千円 ○委託料（育児休業取得者に係る事務補助業務人材派遣委託料）920千円 ○教育振興計画策定委員会（委員20人）に係る謝金及び費用弁償290千円 ○教育振興計画素案策定業務委託料1,397千円 （基礎データの収集調査、課題分析、基本方針、骨子・素案作成 等） ○教育委員会維持管理経費（消耗品費、使用料等）358千円 ○公用車の維持管理及び修理代1,969千円 ○各協議会、団体への負担金及び補助金240千円 （近畿都市教育長協議会負担金、京都府都市教育長協議会参加負担金 定時制通信教育振興会負担金、京都暁星高等学校私学助成金 等）					
主な財源						
評価・課題等	○教育委員会事務局の運営について、経費削減に努めながら円滑な事務執行ができた。 ○教育振興計画の策定に向け、委員会を設置して検討段階に入ることができた。（平成26年度策定）					
事業所管課		教育委員会事務局／教育総務課				

予 算 科 目	10教育費	01教育総務費	03奨学費	01奨学金給付等事業	
細 事 業 名	01 奨学金給付等事業			決算書	P.306
総 合 計 画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実	
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額	
12,535千円	12,541千円	6千円	99.9 %	14,131千円	
目 的	経済的に困窮している世帯で勉学意欲のある生徒や学生に対し、奨学金を給付し就学を奨励する。				
主要な 事業・ 事業及び 成果の 概要	経済的に困窮している世帯（家庭）の勉学意欲のある高等学校、高等専門学校、専修学校、中等教育学校後期課程の生徒、特別支援学校高等部の生徒、大学生、短期大学生、大学院生を対象に奨学金を給付した。 ○奨学金選考・検討委員会委員の報酬及び費用弁償 25千円 報酬 24千円 委員 4,000円（半日）×6人×1回 費用弁償 1千円 ○奨学金給付金 12,510千円 高校生 2,480千円 月額 5,000円×12月×40人 月額 5,000円×7月×1人（退学によるもの） 月額 5,000円×9月×1人（退学によるもの） （高等学校42人） 大学生 10,030千円 月額 10,000円×12月×83人 月額 10,000円×7月×1人（退学によるもの） （大学59人、大学院1人、短期大学5人、専門学校19人）				
主 な 財 源	諸収入 奨学基金繰入金				12,510千円
評 価 ・ 課 題 等	○厳しい経済状況の中で、勉学意欲と能力のある生徒及び学生への就学支援を行うことにより、困窮世帯の生徒及び学生が勉学に取り組むための環境を支援することができた。 ○退学や休学、転居等が発生した際は本人から報告を受けることになっているが、それ以外の方法でも情報が得られるよう検討する必要がある。				
事 業 所 管 課		教育委員会事務局／教育総務課			

予 算 科 目	10教育費	01教育総務費	04外国青年招致事業費	01外国語指導助手招致事業	
細 事 業 名	01 外国語指導助手招致事業				決算書 P.306
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②		不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額
28,027千円	28,236千円		209千円	99.2 %	29,507千円
目 的	外国青年を外国語指導助手（ALT）として招致・採用することで、小中学校での外国語教育及び国際理解教育の促進を図る。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	小中学校において外国語教育及び国際理解教育を促進するため、自治体国際化協会のJETプログラム事業によるあっせんを受け、6人の外国語指導助手を招致・採用し、その経費を支出した。 ○報酬等 25,078千円 ・外国語指導助手6人の報酬、社会保険料 ・外国語指導助手支援員の謝金、賞金等 ○旅費等 1,602千円 ・研修旅費及び帰国旅費（4人分）等 ○住居に要する費用等 240千円 ・借家更新料、廃家電処理手数料等 ○負担金 1,107千円 ・自治体国際化協会負担金、JET傷害保険負担金、JET来日渡航費用負担金				
主 な 財 源					
評 価 ・ 課 題 等	外国語指導助手を各町域に1人ずつ配置することで、児童生徒に生きた外国語や外国文化を学ぶ機会を直接的・継続的に設けることができた。				
事 業 所 管 課	教育委員会事務局／教育総務課				

予 算 科 目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	03小学校施設整備事業
細 事 業 名	01 小学校施設改修事業			決算書 P.310
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	② 学校教育の充実
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額
51,791千円	125,881千円	74,090千円	41.1 %	57,170千円
目的	老朽化が著しい小学校施設について、改修及び修繕工事を行い、学校の施設機能を維持する。			
主要な事業・事業及び成果の概要	網野北小学校と宇川小学校において、体育館の雨漏りが発生しているため、屋上防水の改修工事を実施した。			
	また、大宮南小学校の給食調理室において、衛生環境の向上を図るため、調理員トイレ洋式化等の改修工事を行った。			
	○委託料			2,751千円
	・ 網野北小学校、宇川小学校体育館屋上防水改修工事設計・監理業務			1,365千円
	・ 橘小学校プール設備改修工事設計業務			977千円
	・ その他 2件			409千円
	○工事請負費			49,040千円
	・ 網野北小学校体育館屋上防水改修工事			20,055千円
	・ 宇川小学校体育館屋上防水改修工事			4,998千円
	・ 大宮南小学校給食調理室等改修工事			1,281千円
・ 大宮南小学校高圧ケーブル緊急取替工事			1,173千円	
・ 吉原小学校屋外フェンス（校舎裏側）改修工事			935千円	
・ その他 55件			20,598千円	
参考		繰越明許費を除いた最終予算額	51,793千円	
		実質的な予算執行率	99.9%	
■平成26年度への繰越事業				
・ 大宮第一小学校エレベーター増築等工事（設計委託料等含む）			73,731千円	
・ 長岡小学校プロパン庫扉改修工事			357千円	
（長岡小学校 平成26年4月完成、大宮第一小学校 平成26年12月完成予定）				
主な財源	市債	小学校施設整備事業債（合併特例債）	21,000千円	
	市債	小学校施設整備事業債（過疎対策債）	5,200千円	
評価・課題等	○施設整備を行うことにより、安心安全な学校施設と良好な教育環境を確保することができた。 ○学校施設の老朽化が進む中、改修工事を計画的に実施していく必要がある。			
事業所管課		教育委員会事務局／教育総務課		

予 算 科 目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	03小学校施設整備事業
細 事 業 名	02 小学校施設耐震化事業			決算書 P.310
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	② 学校教育の充実
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
170,629千円	170,731千円	102千円	99.9 %	184,180千円
目的	耐震性能が不足している小学校施設について、計画的な耐震補強工事を行い、大規模地震発生時における児童の安全を確保する。			
主要な事業・事業及び成果の概要	京丹後市立学校施設耐震化計画に基づき、小学校施設の耐震補強及び老朽化部分の改修工事を行うとともに、工事に付随する各種業務委託等を実施した。 また、平成26年度に実施予定の耐震補強等工事の設計業務を行った。			
	○役務費	2千円		
	・ 仮設トイレ汲み取り手数料			
	○委託料	26,072千円		
	・ 丹波小学校体育館耐震補強等工事監理業務委託料	3,098千円		
	・ 黒部小学校体育館耐震補強等工事監理業務委託料	2,100千円		
	・ 平成26年度実施予定各小学校耐震補強等工事設計委託料	16,464千円		
	（峰山小学校、吉原小学校、丹波小学校、橘小学校、間人小学校）			
	・ 佐濃小学校旧校舎解体撤去等工事設計委託料	4,410千円		
	○使用料及び賃借料	10,564千円		
・ 佐濃小学校仮設校舎借上料（期間：平成26年6月13日まで）	10,521千円			
・ 丹波小学校仮設トイレ借上料	43千円			
○工事請負費	133,991千円			
・ 丹波小学校体育館耐震補強等工事	90,523千円			
・ 黒部小学校体育館耐震補強等工事	43,468千円			
主な財源	国補	学校施設環境改善交付金	54,003千円	
	市債	小学校耐震改修事業債（全国防災事業債）	53,400千円	
	市債	小学校耐震改修事業債（緊急防災・減災事業債）	48,600千円	
	市債	過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債）	10,500千円	
評価・課題等	耐震補強工事を実施することにより、児童にとって安全・安心な学習環境を整備することができた。			
事業所管課		教育委員会事務局／教育総務課		

予 算 科 目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	03小学校施設整備事業		
細 事 業 名	03 かぶと山小学校増改築事業				決算書	P.310
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実	
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②		不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額	
17,303千円	21,728千円		4,425千円	79.6 %	23,555千円	
目的	学校再配置に伴い、グラウンド整備を行うとともに倉庫スペースを確保し、児童の学習環境を整備する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	土質が不良なグラウンドの土の入替を行い、安全な学習環境として整備した。また、体育館新築に伴い狭くなったグラウンドを広く使えるように不要な遊具（タイヤ遊具・木製遊具・築山）の撤去工事及び新体育館へ行くための階段付近に照明がなく危険なため照明設置工事を実施した。 また、学校再配置により不足している倉庫スペースを確保するため、屋外に簡易物置を購入した。					
	○工事請負費 16,918千円 ・グラウンド整備工事 16,115千円 ・グラウンド遊具撤去工事 583千円 ・屋外照明設備設置工事 220千円 ○備品購入費 385千円 ・屋外用簡易物置購入費					
主な財源						
評価・課題等	○グラウンド整備工事を実施することによって、児童の安全な教育環境を確保することができた。 ○不足している倉庫スペースを確保することができた。					
事業所管課		教育委員会事務局／教育総務課				

予 算 科 目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	03小学校施設整備事業		
細 事 業 名	03 かぶと山小学校増改築事業（繰越）				決算書	P.312
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実	
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②		不 用 額 ②-①	執 行 率	（参考）繰越予算額	
21,379千円	21,379千円		0千円	100.0 %	21,000千円	
目的	旧体育館の解体撤去工事を実施することにより、安心安全な学習環境を整備する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	かぶと山小学校（旧神野小学校）において、平成24年度に体育館の改築工事を実施したことに伴い、旧体育館を解体撤去し、跡地を駐車場として整備した。					
	○役務費 2千円 旧体育館解体撤去工事に伴う水道工事設計審査及び完了検査手数料 ○工事請負費 21,377千円 旧体育館解体撤去工事 16,450千円 旧体育館周辺電気配線仮撤去及び復旧工事 214千円 飼育小屋及び砂場枠撤去工事 289千円 旧体育館跡地駐車場舗装工事 4,424千円 （33台駐車、アスファルト舗装 1,030㎡）					
主な財源	国補	学校施設環境改善交付金				9,104千円
	市債	小学校施設整備事業債（合併特例債）				8,000千円
評価・課題等	狭小かつ耐震性能の不足していた旧体育館を撤去することで、安心安全な学習環境を整備することができた。					
事業所管課		教育委員会事務局／教育総務課				

予 算 科 目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	03小学校施設整備事業		
細 事 業 名	04 小学校再配置施設整備事業				決算書	P.310
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実	
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
297,589千円	297,664千円		75千円	99.9 %	299,906千円	
目的	学校再配置に向け、拠点校となる各小学校施設において必要な各種整備を行うことにより、児童の学習環境を整備する。					
主要な 事業及び 成果の 概要	学校再配置に向け、拠点校となる各小学校施設において必要な各種整備を行った。					
	○需用費					1,713千円
	・ 現場訪問用車両燃料費					458千円
	・ 各種修繕料（高龍小学校体育館更衣室引戸修繕 ほか7件）					1,255千円
	○役務費					880千円
	・ 高龍小学校電話回線開設費用 等					16千円
	・ 各種手数料（給食備品移設、ごみ処分、建築確認申請 等）					824千円
	・ 現場訪問用車両保険料					40千円
	○委託料					9,262千円
	・ 施設清掃委託料（教室棟廊下、調理室床、音楽室床 等）					164千円
	・ 工事監理委託料（高龍小学校耐震補強及び大規模改修工事監理）					6,300千円
	・ その他各種委託料（校内LAN増設、備品・情報機器移設 等）					2,798千円
	○使用料及び賃借料					549千円
	・ 現場訪問用車両借上料 2台（期間：平成24年6月1日～平成27年3月31日）					
	○工事請負費					283,751千円
・ 高龍小学校耐震補強及び大規模改造工事（建築・機械・電気）					276,098千円	
・ 高龍小学校給食調理員休憩室等改修工事（玄関設置工事）					1,365千円	
・ 高龍小学校グラウンドフェンス修繕等工事					861千円	
・ 高龍小学校遊具移設工事					787千円	
・ その他各種工事 ほか12件					4,640千円	
○備品購入費					1,434千円	
・ 鳥取小学校給食調理用備品購入費（シンク・消毒保管庫・ロッカー・冷蔵庫 等）						
主な財源	国補	学校施設環境改善交付金				43,450千円
	市債	小学校施設整備事業債（全国防災事業債）				27,200千円
	市債	小学校施設整備事業債（緊急防災・減災事業債）				200千円
	市債	小学校施設整備事業債（合併特例債）				76,100千円
	市債	小学校施設整備事業債（過疎対策債）				135,000千円
評価・課題等	学校再配置の拠点校となる学校施設において、必要な施設整備を実施し、児童の学習環境を整備することができた。					
事業所管課		教育委員会事務局／教育総務課				

予 算 科 目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	03小学校施設整備事業																																
細 事 業 名	04 小学校再配置施設整備事業（繰越）			決算書 P.312																																
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	② 学校教育の充実																																
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 繰越予算額																																
131,733千円	132,581千円	848千円	99.3 %	132,960千円																																
目的	学校再配置に向け、拠点校となる小学校施設の施設整備を行うことにより、児童の学習環境を整備する。																																			
主要な事業・事業及び成果の概要	弥栄町内4小学校（溝谷小学校、鳥取小学校、黒部小学校、野間小学校）の学校再配置の拠点校となる鳥取小学校（現：弥栄小学校）について、校舎棟増築、老朽化したトイレの改修、屋外フェンス改修、プール槽防水改修等、再配置に向けた施設整備工事を実施した。また、平成24年度に再配置した島津小学校の渡り廊下屋根部分の改修工事を実施した。 <table><tr><td>○需用費</td><td>3千円</td></tr><tr><td>鳥取小学校増築棟機械警備用スペアキー購入費</td><td></td></tr><tr><td>○役務費</td><td>75千円</td></tr><tr><td>鳥取小学校増築工事建築確認申請手数料、工事完了検査手数料、水道工事設計審査手数料、水道工事検査手数料</td><td></td></tr><tr><td>○委託料</td><td>4,725千円</td></tr><tr><td>鳥取小学校校舎増築・トイレ改修等工事監理業務委託料</td><td>3,938千円</td></tr><tr><td>鳥取小学校屋外フェンス改修工事設計監理業務委託料</td><td>315千円</td></tr><tr><td>鳥取小学校プール槽防水改修工事設計監理業務委託料</td><td>472千円</td></tr><tr><td>○使用料及び賃借料</td><td>79千円</td></tr><tr><td>鳥取小学校仮設トイレ借上料</td><td></td></tr><tr><td>○工事請負費</td><td>126,851千円</td></tr><tr><td>鳥取小学校校舎増築・トイレ改修等工事</td><td>113,650千円</td></tr><tr><td>鳥取小学校屋外フェンス改修工事</td><td>4,255千円</td></tr><tr><td>鳥取小学校プール槽防水改修工事</td><td>5,985千円</td></tr><tr><td>鳥取小学校その他修繕工事</td><td>1,944千円</td></tr><tr><td>島津小学校渡り廊下屋根改修工事</td><td>1,017千円</td></tr></table>				○需用費	3千円	鳥取小学校増築棟機械警備用スペアキー購入費		○役務費	75千円	鳥取小学校増築工事建築確認申請手数料、工事完了検査手数料、水道工事設計審査手数料、水道工事検査手数料		○委託料	4,725千円	鳥取小学校校舎増築・トイレ改修等工事監理業務委託料	3,938千円	鳥取小学校屋外フェンス改修工事設計監理業務委託料	315千円	鳥取小学校プール槽防水改修工事設計監理業務委託料	472千円	○使用料及び賃借料	79千円	鳥取小学校仮設トイレ借上料		○工事請負費	126,851千円	鳥取小学校校舎増築・トイレ改修等工事	113,650千円	鳥取小学校屋外フェンス改修工事	4,255千円	鳥取小学校プール槽防水改修工事	5,985千円	鳥取小学校その他修繕工事	1,944千円	島津小学校渡り廊下屋根改修工事	1,017千円
○需用費	3千円																																			
鳥取小学校増築棟機械警備用スペアキー購入費																																				
○役務費	75千円																																			
鳥取小学校増築工事建築確認申請手数料、工事完了検査手数料、水道工事設計審査手数料、水道工事検査手数料																																				
○委託料	4,725千円																																			
鳥取小学校校舎増築・トイレ改修等工事監理業務委託料	3,938千円																																			
鳥取小学校屋外フェンス改修工事設計監理業務委託料	315千円																																			
鳥取小学校プール槽防水改修工事設計監理業務委託料	472千円																																			
○使用料及び賃借料	79千円																																			
鳥取小学校仮設トイレ借上料																																				
○工事請負費	126,851千円																																			
鳥取小学校校舎増築・トイレ改修等工事	113,650千円																																			
鳥取小学校屋外フェンス改修工事	4,255千円																																			
鳥取小学校プール槽防水改修工事	5,985千円																																			
鳥取小学校その他修繕工事	1,944千円																																			
島津小学校渡り廊下屋根改修工事	1,017千円																																			
主な財源	国負 国補 市債	公立学校施設整備費国庫負担金 学校施設環境改善交付金 小学校施設整備事業債（合併特例債）	17,538千円 9,500千円 89,200千円																																	
評価・課題等	学校再配置の拠点校において、児童の学習環境を整備することができた。																																			
事業所管課	教育委員会事務局／教育総務課																																			

予 算 科 目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	06小学校施設管理事業		
細 事 業 名	01 小学校施設管理事業				決算書	P.314
総 合 計 画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額		
36,727千円	37,064千円	337千円	99.0 %	34,746千円		
目 的	学校施設の適切な維持管理により、学校運営を円滑に行うとともに良好な学習環境の確保を図る。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	市内26小学校について、学校運営上必要な各種検査、保守管理委託、施設・設備修繕等を行った。 ○施設等維持管理料 15,907千円 ・教室・体育館・給食調理室等の不良箇所の修繕、消防設備等の修理 ○網野北小学校芝生化事業 834千円 ・芝生用肥料、草刈り機用燃料、散水用ポンプ修繕、補植用芝生及び芝生用土購入 ○各種検査等手数料 614千円 ・浄化槽法定検査、貯水槽法定検査、貯水槽等保守点検 ○建物火災保険料 1,002千円 ○施設保守管理等委託料（14業務） 16,903千円 ・消防設備等保守点検、浄化槽維持管理、電気設備保守管理、学校警備、給食用リフト保守点検、プール給排水施設管理、給食施設消毒等業務、白蟻駆除、グリストラップ処理、雑木伐採、漏水調査 等 ○学校用地借上料 150千円 ・吉原小学校（学童農園用地ほか 751.22㎡） ○施設修繕のための原材料 324千円 ・山土、砂、木材等の購入 ○消防設備の備品購入費 993千円 ・屋内消火栓用ホース交換（166本）					
主 な 財 源						
評 価 ・ 課 題 等	○施設の適切な維持管理により、学校運営を円滑に行うことができた。 ○老朽化施設が多い中、良好な学習環境の確保に向け、今後も適切に施設の維持管理を行っていくことが必要である。					
事 業 所 管 課	教育委員会事務局／教育総務課					

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	06小学校施設管理事業		
細事業名	02 小学校跡施設管理事業				決算書	P.314
総合計画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実		
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額		
2,276千円	2,283千円	7千円	99.6%	1,922千円		
目的	学校再配置による用途廃止小学校5校について、施設の維持管理を行う。					
主要な事業・事業及び成果の概要	旧湊小学校給食棟において、屋上防水シートが経年劣化して雨漏りが発生したため、補修工事を行った。 また、各施設において、消防設備の不備指摘箇所の修繕等を行った。 【対象施設】 旧竹野小学校、旧三津小学校、旧大宮第三小学校、旧田村小学校、旧湊小学校（計5施設） ○施設修繕料 1,015千円 ・校舎の破損箇所、消防設備等修繕 ○手数料 1千円 ・ごみ処理手数料 ○委託料 598千円 ・旧田村小学校敷地内の樹木伐採、旧大宮第三小学校グリストラップ処理 ○工事請負費 480千円 ・旧三津小学校灯油タンク撤去工事 122千円 ・旧湊小学校給食棟屋上防水補修工事 358千円 ○備品購入費 182千円 ・消防設備不備指摘関連備品（消火栓ホース）（30本）					
主な財源						
評価・課題等	○施設の適切な維持管理を行うことができた。 ○施設の有効活用について、早期に決定していく必要がある。					
事業所管課	教育委員会事務局／教育総務課					

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	05小学校通学対策事業		
細事業名	01 小学校スクールバス運行管理事業				決算書	P.314
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実	
決算額 ①	最終予算額 ②		不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
56,093千円	56,165千円		72千円	99.8%	59,562千円	
目的	小学校に通学する遠距離及び特に必要と認めた児童の安全な通学手段を確保する。					
主要な事業・事業及び成果の概要	遠距離通学及び通学路の状況や冬期積雪時等、特に必要と認めた児童の通学のためにスクールバスを運行した。 ○運行委託料（5台分） 9,803千円 ・丹波（橋木地区・冬期）、網野南、間人（砂方地区・冬期）、宇川、佐濃小学校（各校1台） ○運行管理委託料（11台分） 42,686千円 ・大宮南小学校（3台）、かぶと山小学校（4台） ・網野北、島津、橘、間人（竹野地区）小学校（各校1台） ○運行委託車両の維持管理に係る経費 3,596千円 ・燃料費 619千円 ・修繕、車検費用等 2,977千円 ○バス停用地借上料 8千円 ・佐濃小学校前（15.66㎡） ※運行委託とは、バスの運転のみを業者委託するもの。 ※運行管理委託とは、バスの運転及び車両の維持管理を業者委託するもの。					
主な財源	諸収入 市営バス運行収入 381千円					
	諸収入 市営バス回数券販売収入 31千円					
評価・課題等	○スクールバスの運行により、小学校に通学する児童の安全な通学手段を確保することができた。					
	○スクールバスの老朽化が進み、維持管理経費も増大していることから、安全に運行するためにも、計画的な車両更新が必要である。					
事業所管課	教育委員会事務局／教育総務課					

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	05小学校通学対策事業		
細事業名	02 小学校スクールバス購入事業				決算書	P.314
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実	
決算額 ①	最終予算額 ②		不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
41,324千円	41,330千円		6千円	99.9%	44,522千円	
目的	スクールバスを購入することで、学校再配置に伴い遠距離通学となる児童の安全な通学手段を確保する。					
主要な事業・事業及び成果の概要	学校再配置により、平成26年度から遠距離通学となる児童のためにスクールバスを購入した。 ○備品購入費（スクールバス8台）40,656 千円 ・網野南小学校（14人乗り1台、29人乗り1台） ・弥栄小学校（14人乗り2台、45人乗り1台） ・高龍小学校（14人乗り1台、26人乗り1台、29人乗り1台） ○購入に係る諸経費668 千円 ・手数料、保険料、重量税					
主な財源	国補 市債 市債	へき地児童援助費補助金（1/2） 小学校スクールバス整備事業債（合併特例債） 小学校スクールバス整備事業債（過疎対策債）				13,370千円 18,300千円 7,900千円
評価・課題等	小学校に通学する児童の安全な通学手段を確保することができた。					
事業所管課		教育委員会事務局／教育総務課				

予 算 科 目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	03中学校施設整備事業
細 事 業 名	01 中学校施設改修事業			決算書 P.322
総 合 計 画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額
7,415千円	72,455千円	65,040千円	10.2 %	3,300千円
目的	老朽化が著しい中学校施設について、改修及び修繕工事を行い、学校の施設機能を維持する。			
主要な 事業及び 成果の 概要	平成26年度に身障者用トイレを必要とする生徒が橋中学校に入学予定であることから、職員トイレの一部を身障者用トイレに改修する工事を実施した。 また、平成26年度に久美浜中学校において、空調設備設置工事を実施するための設計業務を行った。			
	○委託料 1,554千円			
	・ 橋中学校職員トイレ改造工事設計業務 241千円			
	・ 久美浜中学校普通教室等空調化工事設計業務 1,313千円			
	○工事請負費 5,861千円			
	(主な工事)			
	・ 峰山中学校高圧気中開閉器更新工事 338千円			
	・ 大宮中学校ガスメーター及び調整器取替工事 399千円			
	・ 網野中学校管理棟空調設備室外機修繕工事 336千円			
	・ 橋中学校職員トイレ改修工事 1,023千円			
主な財源	・ 間人中学校渡り廊下建具取付工事 693千円			
	・ 久美浜中学校ランチルーム仮設空調設備整備工事 200千円			
	・ その他 9件 2,872千円			
	参考			
	繰越明許費を除いた最終予算額		7,415千円	
	実質的な予算執行率		100.0%	
	■平成26年度への繰越事業（久美浜中学校空調設備設置工事） 65,040千円			
	・ 監理業務委託料 540千円			
	・ 工事請負費 64,500千円 ※平成26年9月完成予定			
	市債	中学校施設整備事業債（過疎対策債）		
評価・課題等	○施設整備を行うことにより、安心安全な学校施設と良好な教育環境を確保することができた。 ○学校施設の老朽化が進む中、改修工事を計画的に実施していく必要がある。			
事業所管課	教育委員会事務局／教育総務課			

予 算 科 目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	03中学校施設整備事業
細 事 業 名	02 中学校施設耐震化事業			決算書 P.322
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	② 学校教育の充実
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額
10,391千円	10,391千円	0千円	100.0 %	9,400千円
目的	耐震性能が不足している中学校施設について、計画的な耐震補強工事を行い、大規模地震発生時における生徒の安全を確保する。			
主要な 事業・ 事業及び 成果の 概要	平成26年度に峰山中学校校舎棟において、耐震補強及び空調設備設置等工事のための実施設計を行った。			
	○峰山中学校校舎棟耐震補強等工事等実施設計業務委託			10,391千円
主な財源	市債 中学校耐震改修事業債（緊急防災・減災事業債）			10,300千円
評価・課題等	耐震補強工事設計業務を実施することにより、生徒にとって安全・安心な学習環境を整備する準備ができた。			
事業所管課		教育委員会事務局／教育総務課		

予算科目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	03中学校施設整備事業			
細事業名	05 中学校再配置施設整備事業					決算書	P.322
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実		
決算額	①	最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
	99千円	221千円		122千円	44.7 %	221千円	
目的	学校再配置に伴い閉校した学校備品の有効利用を図る。						
主要な事務・事業及び成果の概要	○印刷機移設手数料 宇川中学校 ⇒ 久美浜中学校 11千円 ○印刷機処分手数料（2台）60千円 ○給食備品移設手数料 大宮第三小・宇川中 ⇒ 丹後中学校 28千円						
主な財源							
評価・課題等	丹後中学校及び久美浜中学校において、閉校した学校から備品を移設することにより、学校備品の有効利用と学校運営の充実を図ることができた。						
事業所管課	教育委員会事務局／教育総務課						

予 算 科 目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	06中学校施設管理事業		
細 事 業 名	01 中学校施設管理事業			決算書	P.324	
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	② 学校教育の充実		
決 算 額	①	最 終 予 算 額	②	不 用 額	(②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
	11,222千円	11,509千円	287千円	97.5 %		11,198千円
目的	学校施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。					
主要な 事務・事業 及び成果の 概要	市内8中学校について、学校運営上必要な各種検査、保守管理委託、施設・設備修繕等を行った。 ○施設等消耗品費 ・人工芝、すだれ、ロールスクリーン購入費 64千円 ○施設等維持管理料 ・教室・体育館・給食調理室等の不良箇所の修繕、消防設備等の修理 4,369千円 ○各種検査等手数料 ・浄化槽法定検査、貯水槽法定検査、貯水槽等保守点検 232千円 ○建物火災保険料 523千円 ○施設保守管理等委託料（11業務） ・消防設備等保守点検、浄化槽維持管理、電気設備保守管理、学校警備、給食用リフト保守点検、給食施設消毒等業務、白蟻駆除、雑木伐採、グリストラップ処理、漏水調査、廊下床清掃業務 3,981千円 ○学校用地借上料 ・弥栄中学校用地（給食棟、テニスコート用地 4,922㎡） 1,460千円 ○施設修繕のための原材料 ・山土、砂、木材等の購入 197千円 ○消防設備の備品購入費 ・屋内消火栓用ホース交換（65本） 396千円					
主な財源						
評価・課題等	○施設の適切な維持管理により、学校運営を円滑に行うことができた。 ○老朽化施設が多い中、良好な学習環境の確保に向け、今後も適切に施設の維持管理を行っていくことが必要である。					
事業所管課	教育委員会事務局／教育総務課					

予算科目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	05中学校通学対策事業		
細事業名	01 中学校スクールバス運行管理事業				決算書	P.322
総合計画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額		
60,087千円	60,091千円	4千円	99.9 %	61,608千円		
目的	中学校に通学する遠距離及び特に必要と認めた生徒の安全な通学手段を確保する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	遠距離通学及び通学路の状況や冬期積雪時等、特に必要と認めた生徒の通学のためにスクールバスを運行した。					
	○運行管理委託料（13台分）			59,865 千円		
	・ 峰山、弥栄中学校（各校1台） 久美浜中学校（11台、うち4台は市営バスとの混乗）					
	○運行委託車両の維持管理に係る経費			222 千円		
	・ 燃料費 ・ 修繕、車検費用等 ・ 原材料費（久美浜中学校スクールバス駐車場整備）			52 千円 140 千円 30 千円		
	※運行管理委託とは、バスの運転及び車両の維持管理を業者委託するもの。					
主な財源	諸収入	市営バス運行収入				1,278千円
	諸収入	市営バス回数券販売収入				206千円
評価・課題等	○スクールバス運行により、中学校に通学する生徒の安全な通学手段を確保することができた。 ○スクールバスの老朽化が進み、維持管理経費も増大していることから、安全に運行するためにも、計画的な車両更新が必要である。					
事業所管課		教育委員会事務局／教育総務課				

予算科目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	05中学校通学対策事業		
細事業名	02 中学校スクールバス購入事業				決算書	P.322
総合計画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額		
11,199千円	11,262千円	63千円	99.4 %	12,291千円		
目的	スクールバスを購入することで、学校再配置に伴い遠距離通学となる生徒の安全な通学手段を確保する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	学校再配置により、平成26年度から遠距離通学となる生徒のためにスクールバスを購入した。 また、購入年数の経過により老朽化したスクールバスを更新した。 ○備品購入費（スクールバス3台） 10,970 千円 ・ 丹後中学校（14人乗り 1台、29人乗り 1台）（新規） ・ 弥栄中学校（14人乗り 1台）（更新） ○購入に係る諸経費 229 千円 ・ 手数料、保険料、重量税					
主な財源	国補 へき地生徒援助費補助金（1/2） 5,070千円 市債 中学校スクールバス整備事業債（辺地対策債） 1,000千円 市債 中学校スクールバス整備事業債（過疎対策債） 4,800千円					
評価・課題等	中学校に通学する生徒の安全な通学手段を確保することができた。					
事業所管課	教育委員会事務局／教育総務課					

予 算 科 目	10教育費	06保健体育費	04学校給食費	03網野給食センター施設整備事業
細 事 業 名	01 網野給食センター施設改修事業			決算書 P.366
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	② 学校教育の充実
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額
15,397千円	18,758千円	3,361千円	82.0 %	19,270千円
目 的	必要な施設整備を行うことにより、網野学校給食センターの機能維持及び給食調理環境改善を図る。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	網野学校給食センターの厨房内に雨漏りが発生していたため、屋上防水シートの全面的な改修工事を実施した。また、職員休憩室の空調設備が老朽化により使用不能となったため、取替工事を実施した。			
	○委託料 451千円			
	・屋上防水改修工事設計監理業務委託料			
	○工事請負費 14,946千円			
	・屋上防水改修工事 14,658千円			
	・職員休憩室空調設備取替工事 288千円			
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	15,398千円	
		実質的な予算執行率	99.9%	
	■平成26年度への繰越事業			
	厨房内空調化工事設計業務		3,360千円	※平成26年5月完了
主 な 財 源	市債 学校給食センター整備事業債（合併特例債）			14,700千円
評 価 ・ 課 題 等	必要な整備を行うことにより、安心安全な給食調理環境を保つことができた。			
事 業 所 管 課	教育委員会事務局／教育総務課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	03指導主事設置事業		
細事業名	01 指導主事設置事業				決算書	P.298
総合計画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額		
19,304千円	19,399千円	95千円	99.5 %	22,215千円		
目的	指導主事を配置し、学校教育の充実、円滑な学校経営を推進する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	教育委員会事務局内に3人、各地域公民館に5人の指導主事を配置し、学校経営や教育内容について、その専門性と見識や経験を活かした指導、助言を行い、学校現場における課題解消に対応してきた。 ○報酬 指導主事報酬（166,500円×8人×12か月）15,984千円 ○共済費 社会保険料、雇用保険料2,332千円 ○旅費 費用弁償974千円 ○需用費 消耗品費（書籍購入費）14千円					
主な財源						
評価・課題等	学校経営、教育内容に対する専門的知識や豊かな経験をもとにした指導や助言を行うことにより、複雑多様化する教育現場の諸課題の克服に資することができた。					
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課					

予 算 科 目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	05学校医委嘱事業		
細 事 業 名	01 学校医委嘱事業				決算書	P.298
総 合 計 画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市			計画項目	② 学校教育の充実	
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②		不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額	
30,817千円	30,873千円		56千円	99.8 %	30,873千円	
目 的	学校保健安全法に基づき、各学校及び幼稚園に学校医、学校歯科医、学校薬剤師を置き、児童生徒等の健康及び教育現場の環境衛生の保持増進を図る。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	○報酬					30,788千円
	医師報酬		幼稚園	4人	1,048千円	
			小学校	26人	8,629千円	
			中学校	8人	3,561千円	
	歯科医報酬		幼稚園	4人	1,048千円	
			小学校	26人	8,629千円	
			中学校	8人	3,561千円	
	薬剤師報酬		幼稚園	4人	431千円	
			小学校	26人	3,142千円	
			中学校	8人	739千円	
○旅費 費用弁償					29千円	
主 な 財 源						
評 価 ・ 課 題 等	学校医、学校歯科医、学校薬剤師の配置により、健康診断（内科・歯科等）、学校環境衛生検査はもとより、保健管理等に関する専門的指導を必要に応じて受けることができ、児童生徒等の健康及び教育現場の環境衛生の保持増進を図ることができた。					
事 業 所 管 課		教育委員会事務局／学校教育課・子ども未来課				

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	06学務経費		
細事業名	01 学務経費				決算書	P.298
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実	
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
6,671千円	6,778千円	107千円	98.4 %	6,778千円		
目的	学齢簿の管理、就学時健診、小中学校の枠を超えた取組及び特別支援学級の交流活動の実施など、教育活動の充実のための環境づくりに取り組む。					
主要な事務・事業及び成果の概要	○学齢簿の管理（学齢簿関連システム保守委託料）					252千円
	○小中学校音楽フェスティバルの開催 （消耗品費、印刷製本費、医薬材料費、手数料、会場借上料、資材借上料） 開催日：平成25年11月16日 場所：京都府丹後文化会館 参加校 小学校6校（丹波小・大宮第一小・島津小・豊栄小・黒部小・海部小） 中学校2校（峰山中・宇川中）					271千円
	○特別支援学級ふれあい交流会（消耗品費） 小学校ふれあい交流会（体育交流） 開催日：平成25年10月1日 場所：鳥取小学校 参加校：特別支援学級を設置する小学校23校 中学校ふれあい交流会（体育・文化交流） ・体育交流会 開催日：平成25年6月20日 場所：間人中学校 ・文化交流会 開催日：平成25年11月13日 場所：峰山中学校 参加校：特別支援学級を設置する中学校8校					97千円
	○就学時健診（医師報酬、消耗品費、費用弁償）					880千円
	○負担金 ・日本スポーツ振興センター負担金 ・京都府学校保健会負担金、京都府学校保健主事会負担金 ・京都府特別支援教育研究協議会 ・教育研究事業負担金					4,645千円 91千円 10千円 111千円
	○児童生徒結核対策委員謝金・教職員結核審査委員謝金					60千円
	○人権教育研究会（消耗品費、印刷製本費）					162千円
	○児童生徒・教職員健康診断 （消耗品費、印刷製本費、施設使用料）					92千円
	主な財源					
評価・課題等	○各学校の保健衛生環境の維持向上、健康の保持増進を図り、健康かつ安全教育の推進につながった。 ○特別支援学級に在籍する児童生徒の交流活動を実施し、好ましい人間関係を育成するとともに、社会性を養うことができた。					
事業所管課		教育委員会事務局／学校教育課				

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	07学校安全対策事業																							
細事業名	01 学校安全対策事業				決算書	P.300																					
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実																						
決算額 ①	最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																						
13,025千円	13,233千円		208千円	98.4 %	4,547千円																						
目的	保護者や地域の協力を得ながら安全で安心できる学校づくりを推進し、園児、児童生徒を事件や事故から守る。																										
主要な事務・事業及び成果の概要	○子ども安心パトロール車（にこにこカー）の運行・管理																										
	各学校及び幼稚園に20台、教育委員会事務局に1台を配置し、児童・生徒の登下校時に教職員やPTA、地域の見守り隊が巡回し、安全確保や犯罪被害防止に努めた。																										
	維持管理及び運行経費																										
	燃料費（ガソリン代） 1,191千円																										
	修繕料（車検・点検時等の車両修繕） 824千円																										
	手数料・保険料（車検手数料、自動車重量税ほか） 1,069千円																										
	配車一覧																										
	<table><tr><td>1 峰山小、長岡小</td><td>8 吉原小、峰山幼</td><td>15 新山小、峰山中</td></tr><tr><td>2 大宮第一小、大宮中</td><td>9 網野南小、郷小</td><td>16 大宮南小、大宮幼</td></tr><tr><td>3 網野北小、網野中</td><td>10 橘小、橘中</td><td>17 島津小、網野幼</td></tr><tr><td>4 間人小、間人中</td><td>11 宇川小、宇川中</td><td>18 豊栄小、丹後幼</td></tr><tr><td>5 吉野小、丹波小</td><td>12 黒部小、鳥取小</td><td>19 野間小</td></tr><tr><td>6 川上小、海部小</td><td>13 久美浜小、久美浜中</td><td>20 かぶと山小</td></tr><tr><td>7 教育委員会事務局</td><td>14 溝谷小、弥栄中</td><td>21 五箇小、佐濃小</td></tr></table>						1 峰山小、長岡小	8 吉原小、峰山幼	15 新山小、峰山中	2 大宮第一小、大宮中	9 網野南小、郷小	16 大宮南小、大宮幼	3 網野北小、網野中	10 橘小、橘中	17 島津小、網野幼	4 間人小、間人中	11 宇川小、宇川中	18 豊栄小、丹後幼	5 吉野小、丹波小	12 黒部小、鳥取小	19 野間小	6 川上小、海部小	13 久美浜小、久美浜中	20 かぶと山小	7 教育委員会事務局	14 溝谷小、弥栄中	21 五箇小、佐濃小
	1 峰山小、長岡小	8 吉原小、峰山幼	15 新山小、峰山中																								
	2 大宮第一小、大宮中	9 網野南小、郷小	16 大宮南小、大宮幼																								
3 網野北小、網野中	10 橘小、橘中	17 島津小、網野幼																									
4 間人小、間人中	11 宇川小、宇川中	18 豊栄小、丹後幼																									
5 吉野小、丹波小	12 黒部小、鳥取小	19 野間小																									
6 川上小、海部小	13 久美浜小、久美浜中	20 かぶと山小																									
7 教育委員会事務局	14 溝谷小、弥栄中	21 五箇小、佐濃小																									
○スクールガード・リーダー巡回・指導（年間巡回活動等の実績 66回×5人＝330回）																											
警察官OBの5人をスクールガード・リーダーに委嘱し、小学校を中心に登下校時の巡回活動及び学校の安全指導を行った。																											
報償金・保険料（活動謝金、総合補償保険料） 1,757千円																											
○学校の除雪活動																											
積雪時の登校上の安全性を高めるため、未配備の小中学校に除雪機を配置するとともに、ボランティアによる除雪活動体制づくりを支援した。																											
備品購入費（歩行型除雪機） 24台 8,179千円																											
保険料（ボランティア活動保険） 5千円																											
主な財源	国補 地域の元気臨時交付金 8,100千円																										
	府補 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業補助金（2/3） 1,171千円																										
	繰入金 ふるさと応援基金繰入金 284千円																										
	諸収入 市有自動車損害共済金 151千円																										
評価・課題等	○各幼稚園・小中学校で、教職員やPTA、地域の見守り隊（ボランティア）等による地域ぐるみの見守り活動や積雪時の除雪活動が展開され、学校を支える地域の安全体制づくりが進んでいる。 ○子ども安心パトロール車（にこにこカー）やスクールガード・リーダーによる登下校時の巡回の継続等により、安全体制の強化を図っていくことが必要である。																										
事業所管課		教育委員会事務局／学校教育課																									

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	08学校情報化推進事業	
細事業名	01 学校情報化推進事業				決算書 P.300
総合計画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
22,664千円	22,682千円	18千円	99.9%	22,778千円	
目的	小中学校の情報通信ネットワーク機器の整備及び維持管理を行うとともに、情報管理の徹底と利用価値の高い学校情報化の環境を構築する。				
主要な事業・事業及び成果の概要	市内全小中学校に整備した校内LAN及び校務用パソコン、普通教室用パソコン、情報教室用パソコン及びサーバ機器の維持管理を行うとともに、ウイルス対策を行った。また、校務の効率化とセキュリティ強化のため、市役所サーバ室に校務用の統合型ファイルサーバを導入した。 維持管理経費 ○需用費 パソコン・校内LAN関連消耗品 93千円 パソコン・校内LAN関連修繕費（79件） 2,883千円 ○委託料 パソコン・校内LAN保守委託料（スポット保守委託）（4件） 960千円 情報教室パソコン等保守委託料 565千円 サーバシステム保守委託料 3,593千円 グループウェア・ネットワーク管理及び各種サーバシステム保守 ○使用料及び賃借料 ・パソコン借上料 情報教室パソコン等借上料（409台） 9,340千円 校務用パソコン借上料（46台） 1,183千円 サーバシステム借上料（1台） 249千円 ・ソフトウェア使用料 ウイルス対策ソフト1,800台分 1,607千円 ○備品購入費 統合型ファイルサーバ（1台）、バックアップサーバ（1台） 2,191千円				
主な財源					
評価・課題等	○全小中学校に整備した校内LAN、2,040台のパソコン（校務、普通教室、情報教室）及びサーバ機器の維持管理を、ネットワークを利用した遠隔操作などにより適切に行うことができた。 ○今後は、機器の経過年数による故障などの修繕・保守経費が生じるとともに、情報教室パソコンの旧機種の更新など、ICT環境の水準の維持経費が必要になるため、段階的・計画的な整備を進める必要がある。				
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課				

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	09学校再配置事業	
細事業名	02 学校再配置推進事業				決算書 P.300
総合計画	基本方針Ⅳ	生涯学習都市		計画項目②	学校教育の充実
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
15,004千円	15,319千円	315千円	97.9%	18,904千円	
目的	京丹後市学校再配置基本計画に基づく「学校づくり準備協議会」を設置し、学校再配置による新しい学校づくりに向けた取組を推進する。				
主要な事業・事業及び成果の概要	学校再配置事業を円滑に推進するため、学校づくり準備協議会を設置し、新しい学校の開校に向けた取組を進めるとともに、再配置後の枠組に応じた児童生徒の交流学習などを行ってきた。また、開・閉校式の実施、閉校後の施設の利活用を検討するとともに、閉校に伴う地域（旧校区）での取組を支援した。 平成25年度開校 大宮南小、かぶと山小、久美浜中 平成25年度閉校 網野南小、郷小、溝谷小、鳥取小、黒部小、野間小 川上小、海部小、佐濃小、間人中、宇川中 ○協議会会場使用料 1千円 ○式典関連経費 費用弁償（開校式：校歌校章作成者） 126千円 消耗品費（式典用装飾花、看板等） 951千円 役務費（白布等クリーニング手数料） 25千円 ○開校準備経費 報償費（校章・校歌作成記念品） 209千円 消耗品費（掲出用校旗、ゴム印等）、修繕料（校名板） 594千円 手数料（ピアノ運搬、耐火金庫運搬） 1,169千円 委託料（校章等更新業務委託料等） 2,970千円 工事請負費（間人中石碑移転） 294千円 備品購入費（公印、式典用校旗、ステージ文字幕等） 2,174千円 ○交流学習経費 スクールバス運転委託料、自動車借上料等（交流学習等） 1,300千円 ○閉校記念誌補助金（大宮第二小、大宮第三小 3,269千円 田村小、神野小、湊小、川上小、佐濃小） ○学校再配置事務臨時職員（1人）の配置 1,922千円				
主な財源	府補	未来づくり交付金（学校再配置推進事業）			7,400千円
評価・課題等	○再配置後の校区の関係者で構成する「学校づくり準備協議会」を設置し、新たな学校づくりに向けて取り組み、計画通りの再配置を実現した。 ○実施方針に示す再配置年月を目標に、計画的に推進する必要がある。				
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課				

予 算 科 目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	11就学支援・教育相談事業
細 事 業 名	01 就学支援・教育相談事業			決算書 P.302
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	② 学校教育の充実
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額
3,136千円	3,165千円	29千円	99.0 %	3,165千円
目 的	児童生徒の不登校や問題行動の状況を把握・分析し、相談・支援体制を整え、児童生徒が心にゆとりある学校生活を送れるようにする。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	○教育相談委託料 1,920千円 各学校において教育相談を担当する教職員や児童生徒、保護者に対し、相談事例に応じたアドバイスや助言を行うため、カウンセリングの専門的知識を有する相談員（臨床心理士）による教育相談事業や研修を実施した。 ・相談会場 大宮庁舎内会議室 ・実施回数 毎月2回（80,000円×月2回×12か月） ・平成25年度相談件数（述べ件数） 105件 ・教育相談担当者研修（年3回）、心の教室相談員研修（年3回） ・事例研修（4グループ（1グループ5人））各グループ年5回実施 ○就学指導に係る発達検査記録用紙 10セット 157千円 ○図書、消耗品購入 68千円 ○就学指導検査備品 8セット 991千円			
主 な 財 源				
評 価 ・ 課 題 等	○学校教育の実情に精通した臨床心理士による研修や教育相談を継続して実施することで、児童生徒の問題行動や不登校等の解消につながった。 ○不登校対策支援や教育相談事業をより有効な事業とするためには、学校・保護者等との連携を充実させる必要がある。			
事 業 所 管 課	教育委員会事務局／学校教育課			

予 算 科 目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	11就学支援・教育相談事業
細 事 業 名	02 教育支援センター管理運営事業			決算書 P.302
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	② 学校教育の充実
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額
7,947千円	8,160千円	213千円	97.3 %	9,295千円
目 的	不登校、又はその傾向にある児童生徒の学校生活復帰と社会的自立を支援する。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	不登校等にある児童生徒に対し、相談及び適応指導を通じ、学校生活への復帰と社会的自立を支援するため、平成25年1月31日、京丹後市教育支援センター「麦わら」を開設した。学校訪問等を行い、関係機関や学校と連携し、取組を進めてきた。 ○教育支援センター運営経費 ・配置人数 5人 教育支援センター指導員 (通所者数の増加により11月より1人増員) ・配置体制 3人体制 指導員 ①週2日 1日7時間 2人 ②週3日 1日7時間 2人 ③週2日 1日4時間 1人 (通所者数の増加により11月より3人体制) ・平成25年度通所者 13人 ・平成25年度相談延べ件数 929件 ・平成25年度来所延べ人数 1,587人 共済費（労災保険料） 7千円 指導員（臨時職員賃金） 1時間あたり1,270円 4,900千円 旅 費（研修会出席） 17千円 需用費（消耗品費、燃料費、食糧費、印刷製本費、光熱水費） 460千円 役務費（電話代、切手代、公用車購入に係る手数料・保険料） 98千円 教育相談委託料 509千円 ・平成25年度相談延べ件数 48件 工事請負費（空調設備工事） 460千円 備品購入費 ・公用車（1台） 761千円 ・スクリーン、箱庭等教育備品 735千円			
主 な 財 源				
評 価 ・ 課 題 等	○専門的知識を有する指導員を配置するとともに、カウンセリングの専門的知識を有する相談員（臨床心理士）による教育相談を実施し、個々のケースに応じた具体的なカリキュラムの策定や、社会的自立・学校復帰へ向けて学校や家庭への支援を行い、少しずつ成果が表れている。 ○児童生徒や保護者への支援とあわせて、学校と連携し不登校児童生徒の早期解消や未然防止を図る必要がある。			
事 業 所 管 課	教育委員会事務局／学校教育課			

予 算 科 目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	13小中一貫教育推進事業
細 事 業 名	01 小中一貫教育推進事業			決算書 P.302
総 合 計 画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
1,321千円	1,443千円	122千円	91.5 %	1,443千円
目的	「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき「小中一貫教育推進基本計画」を作成するとともに、導入研究校による教育活動の実践、検証、評価を行う。			
主要な事業及び成果の概要	平成24年11月に策定した「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、保幼小中の円滑な接続と系統的で一貫性のある教育活動を実践するため、小中一貫教育研究推進協議会及び学校教育連携専門部会による調査研究を行い、「京丹後市小中一貫教育実施の手引き」を作成した。また、平成28年度の市内全域の小中一貫教育導入に向け、小中一貫教育導入研究校と小中一貫教育導入準備校を指定し、教育活動の実践、検証、評価を行った。 ○小中一貫教育研究推進協議会（協議会委員謝金、費用弁償ほか） 195千円 ・協議会委員 14人（大学教授、学識経験者、PTA、学校教職員） ・協議会の開催 3回 ・調査研究事業 小中一貫教育実施に向けての調査研究、検討協議 研究調査：奈良市小中一貫教育研究発表会 ○学校教育連携専門部会（研修旅費、消耗品費ほか） 46千円 ・専門部会 学校運営部会員 6人、カリキュラム作成部会員 20人 ・開催回数 学校運営部会 4回、カリキュラム作成部会 30回 社会（7回）、算数・数学（7回）、理科（8回）、外国語活動・外国語（8回） ○研修会・フォーラムの開催（講演会講師謝金、費用弁償ほか） 216千円 ・小中一貫教育研修会（参加者：418人） - 期日：平成25年8月7日（水） 場所：京都府丹後文化会館 ・教育フォーラム（参加者：260人） - 期日：平成26年1月18日（土） 場所：アグリセンター大宮 ○小中一貫教育モデル校（消耗品費、スクールバス運転委託料ほか） 864千円 ・導入研究校 2校（峰山中学校区、網野中学校区） ・導入準備校 1校（大宮中学校区） ・教育実践事業 モデル校での連携教育の実践、諸課題の収集			
主な財源				
評価・課題等	○小中一貫教育モデル校の指定による先行的な実践的研究と検証を積み重ねるとともに、「京丹後市小中一貫教育実施の手引き」を作成するなど、平成26年度から小中一貫教育をモデル校で導入する基盤が整った。 ○小中一貫教育推進基本計画に基づき、平成28年度の市域全域での小中一貫教育の導入を目指す。			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	14教育のまちづくり推進事業			
細事業名	02 学習支援体制整備事業			決算書 P.302			
総合計画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	② 学校教育の充実				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額			
1,026千円	1,170千円	144千円	87.6%	1,170千円			
目的	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、学校・家庭・地域社会が連携し、学びを支援する機会の提供や仕組みづくりを行う。						
主要な事務・事業及び成果の概要	土曜日を活用した教育活動の実証研究、情報メディアを活用した学習支援の研究及び保護者のニーズ調査、児童生徒の実態調査を実施した。						
	○土曜日を活用した教育活動（消耗品費、施設使用料）			807千円			
	児童生徒の補充的な学習や公開授業、部活動体験、学習支援ボランティアや地域の人材を活用した体験活動、学校行事など						
		第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	計
	5月				1校		1校
	6月		6校		1校	3校	10校
	9月	6校	10校	1校	1校		18校
	10月	10校	6校	2校			18校
	11月	1校	24校	2校	1校	2校	30校
	12月	1校	24校				25校
1月		13校	2校	9校		24校	
2月		24校		1校		25校	
3月	1校	3校				4校	
	○土曜日を活用した教育活動の広報啓発（印刷製本費）			136千円			
	学校の取組紹介チラシ印刷 PTA会員 5,500枚 全戸配布 21,000枚						
	○情報メディアの活用研究（撮影協力謝金、撮影・編集委託料）			31千円			
	試作動画 英語による読み聞かせ動画						
	○ニーズ・実態調査の実施（消耗品費、印刷製本費）			52千円			
	調査対象者 児童（1,643人）、生徒（1,885人）、保護者（3,962人） 調査期間 平成25年7月10日～7月19日						
主な財源	府委 土曜日を活用した教育の在り方実践研究事業費（10/10）			138千円			
評価・課題等	○小中学校の校長、教頭、教務主任の代表者及び教育委員会事務局職員により構成する「土曜日等を活用した教育活動に関する検討会議」（委員12人）を設置し、学校現場の意見を取り入れながら、各学校が創意工夫した教育活動の実施や放課後を活用した学習支援の方策についての検討を行った。 ○保護者のニーズや児童生徒の実態を踏まえ、土曜日や放課後を活用した学びを支援する機会の提供や仕組みづくりが必要である。						
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課						

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	14教育のまちづくり推進事業
細事業名	03 授業実践力向上対策事業			決算書 P.302
総合計画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
330千円	332千円	2千円	99.3 %	332千円
目的	教職員が指導理論を学び、主体的な学習活動を展開させる授業実践力を高めることにより、児童生徒に確かな学力をつける。			
主要な事務・事業及び成果の概要	教職員が指導理論を学ぶ授業実践力開発講座及び、授業を構想し実践と評価によりさらに高い授業能力を身に付けるための授業実践力検証講座を実施した。 ○授業実践力開発講座（講師謝金、バス運転委託料ほか） 210千円 経験豊富な教職員をコーディネーターとして委嘱し、小グループによる指導案検討のワークショップや公開授業を実施 ・研究教科 算数・数学科 ・講 師 兵庫教育大学大学院教授 ・対 象 教職経験10年未満の教諭 ・開催回数 7回 ・参加者 17人（うち小学校14人、中学校3人） ○授業実践力検証講座（講師謝金） 120千円 小中学校合同研修グループ、校内の若手・中堅グループなど4グループが参加し、代表者による公開授業の実施や事後研究会を開催 ・講 師 兵庫教育大学大学院教授 ・開催回数 4回 ・参加者 32人（うち小学校31人、中学校1人）			
主な財源				
評価・課題等	○兵庫教育大学大学院教授の講義による理論研修とグループ研修を通して、児童生徒の主体的な学習活動を展開させる授業実践力の向上に資することができた。 ○小中学校の教諭がそれぞれの授業を参観し合い、感想や意見を交流し合う機会を持つことで、義務教育9年間を見通した指導力の向上に資することができた。			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	02小学校管理運営事業
細事業名	01 小学校管理運営事業			決算書 P.308
総合計画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
171,661千円	174,240千円	2,579千円	98.5 %	173,360千円
目的	適正な学校運営や教育環境の充実に取り組み、小学校における円滑な教育活動を実施する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	経費の削減に取り組みつつ、学校運営に必要な維持管理等を行うとともに、教育環境を整えるための体制整備を実施した。 ○需用費 - 消耗品費、燃料費（事務用品、用紙、コピー、灯油ほか） 43,545千円 - 食糧費、印刷製本費（来客用茶、通知簿印刷ほか） 946千円 - 電気代 57,494千円 - 水道料 23,825千円 - 修繕費（管理備品の修繕） 1,071千円 ○役務費 - 電話代 3,921千円 - 郵送料 384千円 - 手数料ほか（ピアノ調律、ミシン調整、ごみ処理ほか） 1,712千円 ○委託料 - 庭木剪定、プール水水質検査、理科薬品廃棄処分、蜂の巣駆除 1,146千円 - 作業員業務人材派遣委託料（16校、16人） 31,195千円 ○使用料及び賃借料 - テレビ受信料・ガス警報機使用料 365千円 - 印刷機借上料、コピー機借上料 2,054千円 ○備品購入費 - 児童用机・イス、ストーブ、放送機器ほか 3,157千円 ○負担金 - 校長会、教頭会、教務主任会、事務研究会ほか各種団体負担金 816千円 ○賠償金 30千円			
主な財源				
評価・課題等	○教育環境の整備や維持管理など、安心して学ぶことのできる学校づくりに取り組み、小学校における円滑な教育活動を実施することができた。 ○学校再配置基本計画に基づく学校再配置事業に取り組み、教育環境の整備とあわせた効率的な学校施設の管理運営に努めていく必要がある。			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予 算 科 目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	02小学校管理運営事業	
細 事 業 名	02 小学校事務補助経費				決算書 P.308
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額	
1,457千円	1,573千円	116千円	92.6 %	1,573千円	
目的	学校事務職員の複数配置を要する小学校に事務職員を配置し学校事務をサポートすることにより、円滑な教育活動の実施と適正な学校運営を行う。				
主要な 事業及び 成果の 概要	○複数配置校 大宮第一小学校 事務補助（1人） （1日6時間・週5日勤務） ・ 臨時職員賃金 1,277千円 ・ 共済費（社会保険料等） 180千円				
主な 財源					
評価・ 課題等	○学校事務の点からサポートすることにより、円滑な教育活動の実施と適正な学校運営を行うことができた。 ○学校運営に支障をきたすと判断される場合には、今後も配置が必要であるが、府費負担による配置を継続的に要請していく必要がある。				
事業所管課		教育委員会事務局／学校教育課			

予 算 科 目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	04児童教職員健康管理事業
細 事 業 名	01 児童教職員健康管理事業			決算書 P.312
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	② 学校教育の充実
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額
9,550千円	9,656千円	106千円	98.9 %	10,798千円
目的	児童及び教職員の健康管理を行うとともに、施設や設備の安全対策を講じることにより、児童及び教職員の安全の確保と小学校における教育活動の安全な環境を整える。			
主要な事業・事業及び成果の概要	○報償費（歯みがき指導教室講師謝金・大宮南小）37千円 ○需用費（保健衛生消耗品・医薬材料等）1,252千円 ○委託料5,940千円 ・ 児童各種検診・検査 心臓検診委託料 1次 1,023人（1・4年、経過検診者） 2次 126人 眼科検診委託料 3,050人 耳鼻科検診委託料 3,050人 尿検査委託料（春）1次 3,055人 2次 37人 尿検査委託料（秋）1次 3,050人 2次 49人 蟻虫検査委託料 3,055人 血液検査委託料 577人（4年、経過観察者） ・ 教職員健康診断委託料 940千円 ・ 教職員結核検診委託料 259千円 ・ 自動車運転委託料（検診時児童送迎）30千円 ○使用料及び賃借料 自動車借上料（検診時医師送迎・緊急移送時）94千円 機械借上料（AEDリース）998千円 全校設置済（小学校26校）			
主な財源				
評価・課題等	健康診断、結核検診を実施するとともに、AEDを全小学校に配備するなど、児童及び教職員の健康の保持増進、学校保健安全の向上につながった。			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予 算 科 目	10教育費	02小学校費	01学校管理費	05小学校通学対策事業																						
細 事 業 名	03 小学校通学支援事業				決算書 P.314																					
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実																					
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																						
492千円	583千円	91千円	84.3 %	583千円																						
目的	自転車通学や遠距離通学をする児童を対象に、通学の状況に応じてヘルメットの購入支援とともに遠距離通学補助金を支給し、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図る。																									
主要な事務・事業及び成果の概要	○通学用ヘルメット購入補助金				1千円																					
	<table><tr><th>学校名</th><th>対象児童数</th><th>補助金額</th></tr><tr><td>橋 小</td><td>1人</td><td>1,150円</td></tr></table>				学校名	対象児童数	補助金額	橋 小	1人	1,150円																
	学校名	対象児童数	補助金額																							
橋 小	1人	1,150円																								
○遠距離通学補助金				491千円																						
	<table><tr><th>学校名</th><th>対象児童数</th><th>補助金額</th></tr><tr><td>大宮第一小</td><td>16人</td><td>203,073円</td></tr><tr><td>大宮南小</td><td>12人</td><td>173,880円</td></tr><tr><td>宇 川 小</td><td>7人</td><td>101,430円</td></tr><tr><td>久美浜小</td><td>4人</td><td>7,200円</td></tr><tr><td>佐 濃 小</td><td>3人</td><td>5,400円</td></tr><tr><td>計</td><td>42人</td><td>490,983円</td></tr></table>				学校名	対象児童数	補助金額	大宮第一小	16人	203,073円	大宮南小	12人	173,880円	宇 川 小	7人	101,430円	久美浜小	4人	7,200円	佐 濃 小	3人	5,400円	計	42人	490,983円	
学校名	対象児童数	補助金額																								
大宮第一小	16人	203,073円																								
大宮南小	12人	173,880円																								
宇 川 小	7人	101,430円																								
久美浜小	4人	7,200円																								
佐 濃 小	3人	5,400円																								
計	42人	490,983円																								
主な財源																										
評価・課題等	遠距離通学をする児童を対象に、ヘルメットの購入支援や遠距離通学補助金の支給について、学校長を通じて対象者を把握し支援を行うことで、通学の安全確保と保護者の負担軽減が図られた。																									
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課																									

予 算 科 目	10教育費	02小学校費	02教育振興費	01小学校教育振興事業	
細 事 業 名	01 小学校教育振興事業				決算書 P.316
総 合 計 画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実	
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
19,642千円	20,307千円	665千円	96.7 %	20,832千円	
目的	副読本や学習教材を有効に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導を実践し、学力の向上を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	教室内での学習活動のほか、各学校の創意工夫や独自性を活かしたさまざまな教育活動に取り組んだ。 ○報償費 入学記念品 (466人、 298千円) 1,370千円 卒業記念品 (560人、 1,072千円) ○旅費 費用弁償 (ジオパークフィールド学習講師費用弁償) 3千円 ○需用費 消耗品費 14,146千円 (学用品、児童会活動費、理科実験費、道徳副読本、部活動費、学力検査、指導図書費ほか) 燃料費 (市マイクロバス燃料代) 10千円 印刷製本費 (社会科副読本「わたしたちのきょうたんご」) 236千円 500部 (3年生) ○委託料 バス運転委託料 2,766千円 ○使用料及び賃借料 自動車借上料 1,111千円				
主な財源					
評価・課題等	学校内での学習活動に加え、各学校の創意工夫や独自性を活かしたさまざまな社会活動、体験活動などの校外学習を行うことで、児童の基礎学力の向上や生きる力を高めることができた。				
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課				

予 算 科 目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	05中学校通学対策事業																														
細 事 業 名	03 中学校通学支援事業			決算書 P.322																														
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	② 学校教育の充実																														
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額																														
502千円	618千円	116千円	81.2 %	618千円																														
目的	自転車通学や遠距離通学をする生徒を対象に、通学の状況に応じてヘルメットの購入支援とともに遠距離通学補助金を支給し、通学の安全確保と保護者の負担軽減を図る。																																	
主要な事務・事業及び成果の概要	○通学用ヘルメット購入補助金			385千円																														
	<table><tr><th>学校名</th><th>対象生徒数</th><th>補助金額</th></tr><tr><td>峰 山 中</td><td>132人</td><td>151,800円</td></tr><tr><td>大 宮 中</td><td>75人</td><td>86,250円</td></tr><tr><td>網 野 中</td><td>37人</td><td>42,735円</td></tr><tr><td>橘 中</td><td>7人</td><td>10,731円</td></tr><tr><td>間 人 中</td><td>24人</td><td>21,600円</td></tr><tr><td>宇 川 中</td><td>1人</td><td>1,500円</td></tr><tr><td>弥 栄 中</td><td>53人</td><td>60,950円</td></tr><tr><td>久 美 浜 中</td><td>10人</td><td>9,900円</td></tr><tr><td>計</td><td>339人</td><td>385,466円</td></tr></table>				学校名	対象生徒数	補助金額	峰 山 中	132人	151,800円	大 宮 中	75人	86,250円	網 野 中	37人	42,735円	橘 中	7人	10,731円	間 人 中	24人	21,600円	宇 川 中	1人	1,500円	弥 栄 中	53人	60,950円	久 美 浜 中	10人	9,900円	計	339人	385,466円
	学校名	対象生徒数	補助金額																															
	峰 山 中	132人	151,800円																															
	大 宮 中	75人	86,250円																															
	網 野 中	37人	42,735円																															
	橘 中	7人	10,731円																															
	間 人 中	24人	21,600円																															
	宇 川 中	1人	1,500円																															
	弥 栄 中	53人	60,950円																															
久 美 浜 中	10人	9,900円																																
計	339人	385,466円																																
※再配置校は残存期間に応じて補助率を嵩上げ（橘中、宇川中）																																		
○遠距離通学補助金			117千円																															
<table><tr><th>学校名</th><th>対象生徒数</th><th>補助金額</th></tr><tr><td>大 宮 中</td><td>5人</td><td>83,800円</td></tr><tr><td>間 人 中</td><td>2人</td><td>22,000円</td></tr><tr><td>宇 川 中</td><td>1人</td><td>11,000円</td></tr><tr><td>計</td><td>8人</td><td>116,800円</td></tr></table>				学校名	対象生徒数	補助金額	大 宮 中	5人	83,800円	間 人 中	2人	22,000円	宇 川 中	1人	11,000円	計	8人	116,800円																
学校名	対象生徒数	補助金額																																
大 宮 中	5人	83,800円																																
間 人 中	2人	22,000円																																
宇 川 中	1人	11,000円																																
計	8人	116,800円																																
主な財源																																		
評価・課題等	遠距離通学をする生徒を対象に、ヘルメットの購入支援や遠距離通学補助金の支給について、学校長を通じて対象者を把握し支援を行うことで、通学の安全確保と保護者の負担軽減が図られた。																																	
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課																																	

予 算 科 目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	01中学校教育振興事業
細 事 業 名	01 中学校教育振興事業			決算書 P.324
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	② 学校教育の充実
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
30,936千円	31,280千円	344千円	98.9 %	30,622千円
目的	副読本や学習教材を有効に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導の実践や部活動、体育大会等への参加を支援し、学力の向上を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	教室内での学習活動のほか、各学校の創意工夫や独自性を活かしたさまざまな教育活動や異なった学年が参加する部活動に取り組み、「生きる力」の醸成に努めた。 ○報償費 1,087千円 入学記念品（628人、325千円） 卒業記念品（627人、762千円） ○需用費 12,184千円 消耗品費（学用品、学力検査、指導書、道徳副読本ほか） 燃料費（市マイクロバス燃料代） 44千円 印刷製本費（社会科副読本「京丹後市の歴史」 570部） 293千円 ※中学1年生に配付 ○委託料 13,043千円 バス運転委託料 ○使用料及び賃借料 455千円 自動車借上料 有料道路通行料 250千円 駐車場使用料 44千円 ○負担金、補助金及び交付金 3,536千円 体育大会等選手派遣費補助金			
主な財源				
評価・課題等	学校内での学習活動に加え、各学校の創意工夫や独自性を活かしたさまざまな社会活動、体験活動などの校外学習を行うことで、生徒の基礎学力の向上や生きる力を高めることができた。			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予 算 科 目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	02中学校教育振興備品整備事業		
細 事 業 名	01 中学校教育振興備品整備事業				決算書	P.326
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実	
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)		執行率	(参考) 当初予算額	
11,368千円	12,044千円	676千円		94.3 %	13,146千円	
目的	授業に必要な教材備品や学校図書を計画的に整備し、生徒の主体的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上と豊かな心を育む。					
主要な事務・事業及び成果の概要	学習環境を整えるため、必要となる教材備品を購入した。 図書については、充足率の向上に努めるよう整備を行った。また、音楽備品については、適正な維持管理を行うとともに計画的に整備した。 ○需用費 修繕料（教材備品の修繕）235千円 ○役務費 楽器調整手数料320千円 図書システム設定手数料20千円 間人中・宇川中 ○使用料及び賃借料 図書システムソフトウェア使用料31千円 大宮中・網野中・橋中・間人中・宇川中・久美浜中 ○備品購入費 教材備品整備6,865千円 学校図書整備2,539千円 理科教育等設備整備（理科・数学備品）1,358千円					
主な財源	国補 理科教育設備整備費等補助金（1/2）					670千円
評価・課題等	○計画的に学習教材、教育備品及び学校図書の整備に努めるとともに、理科（数学）教育設備については、国の財政支援策を活用し計画的整備を行うことで、学習指導要領に沿った教育環境を整えることができた。 ○学習指導要領に沿った授業に必須の学習教材や教育設備・備品については、より一層の充実が必要である。					
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課					

予算科目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	02中学校教育振興備品整備事業		
細事業名	01 中学校教育振興備品整備事業（繰越）				決算書	P.326
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実	
決算額 ①	最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率	(参考) 繰越予算額	
257千円	263千円		6千円	97.7 %	263千円	
目的	授業に必要な教材備品や学校図書を計画的に整備し、生徒の主体的・意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上と豊かな心を育む。					
主要な事務・事業及び成果の概要	理科の学習環境を整えるため、必要となる教材備品を購入した。 ○備品購入費 理科教育等設備整備（理科備品）257千円					
主な財源	国補 理科教育設備整備費等補助金（1/2）					128千円
評価・課題等	理科教育設備について、国の財政支援策を活用して整備を行い、学習指導要領に沿った教育環境を整えることができた。					
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課					

予算科目	10教育費	02小学校費	02教育振興費	02小学校教育振興備品整備事業
細事業名	01 小学校教育振興備品整備事業			決算書 P.316
総合計画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額
14,903千円	16,151千円	1,248千円	92.2%	16,603千円
目的	授業に必要な教材備品や学校図書を計画的に整備し、児童の主体的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上と豊かな心を育む。			
主要な事務・事業及び成果の概要	学習環境を整えるため、必要となる教材備品を購入した。 図書については、充足率の向上に努めるよう整備を行うとともに、8校の図書室蔵書管理システムの導入を行った。			
	○需用費			
	消耗品費（図書用バーコードラベル等）			317千円
	修繕料（教材備品の修繕）			434千円
	○役務費			
	図書システム設定手数料			410千円
	郷小・溝谷小・鳥取小・黒部小・野間小・川上小・海部小・佐濃小			
	その他手数料			15千円
	○使用料及び賃借料			
	図書システムソフトウェア使用料			462千円
図書システム導入				
郷小・溝谷小・鳥取小・黒部小・野間小・川上小・海部小・佐濃小				
※閉校後のシステムは、未設置校へ移設				
○備品購入費				
教材備品整備			5,876千円	
学校図書整備			5,814千円	
理科教育等設備整備（理科・算数備品）			1,575千円	
主な財源	国補 理科教育設備整備費等補助金（1/2）			783千円
評価・課題等	○計画的に学習教材、教育備品及び学校図書の整備に努めるとともに、理科（算数）教育設備については、国の財政支援策を活用し計画的整備を行うことで、学習指導要領に沿った教育環境を整えることができた。 ○学習指導要領に沿った授業に必須の学習教材や教育設備・備品については、より一層の充実が必要である。			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予 算 科 目	10教育費	02小学校費	02教育振興費	02小学校教育振興備品整備事業	
細 事 業 名	01 小学校教育振興備品整備事業（繰越）			決算書	P.316
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 繰越予算額	
443千円	443千円	0千円	100.0 %	443千円	
目的	授業に必要な教材備品や学校図書を計画的に整備し、児童の主体的・意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上と豊かな心を育む。				
主要な事務・事業及び成果の概要	理科の学習環境を整えるため、必要となる教材備品を購入した。 ○備品購入費 理科教育等設備整備（理科備品） <				

予 算 科 目	10教育費	02小学校費	02教育振興費	03小学校就学援助事業		
細 事 業 名	01 小学校就学援助事業				決算書	P.316
総 合 計 画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額		
19,951千円	20,169千円	218千円	98.9 %	22,117千円		
目 的	対象児童の保護者を支援し、要保護者、準要保護者及び特別支援学級に入級する保護者等の経済的負担を軽減する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	○就学援助費 要保護認定者 28人 (H24 28人) 121千円 内訳：修学旅行費 56千円 医療費 65千円 準要保護認定者 275人 (H24 318人) 18,425千円 内訳：学用品費等 5,395千円 給食費 11,120千円 修学旅行費 1,571千円 医療費 251千円 準要保護認定者(被災児童) 1人 (H24 2人) 内訳：学用品費等 19千円 給食費 42千円 修学旅行費 27千円 ※申請者数：326人 (H24 362人) 認定者数：304人 (H24 348人) ○特別支援教育就学奨励費 1,405千円 対象者 46人 (H24 50人) 内訳：学用品費等 342千円 給食費 921千円 修学旅行費 142千円					
主な財源	国補	就学援助費補助金 (1/2)			59千円	
	国補	特別支援教育就学奨励費補助金 (1/2)			474千円	
	府補	被災児童生徒就学等支援事業費補助金 (10/10)			87千円	
評価・課題等	○就学に必要な学用品費、給食費、修学旅行費等を支援することで、対象児童の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○経済情勢の把握や制度内容の周知を徹底するとともに、世帯状況や家計状態などを考慮し、認定基準と給付基準の両面から、公正かつ適正な援助に引き続き努める必要がある。					
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課					

予 算 科 目	10教育費	02小学校費	02教育振興費	04小学校教育推進事業																																																																																										
細 事 業 名	01 小学校スクールサポーター等設置事業				決算書	P.316																																																																																								
総 合 計 画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市			計画項目	② 学校教育の充実																																																																																									
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額																																																																																										
53,390千円	53,395千円	5千円	99.9 %	67,930千円																																																																																										
目的	スクールサポーター（介護職員、講師、心の教室相談員）を配置し、児童一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細かな指導に努め、円滑な授業を実施する。																																																																																													
主要な事務・事業及び成果の概要	○介護職員（臨時職員） 23人（1日7時間・週5日勤務）																																																																																													
	○講師（再配置・複式・養護）（臨時職員） 6人（1日7時間45分・週5日勤務）																																																																																													
	○心の教室相談員（臨時職員） 1人（1日7時間・週4日勤務）																																																																																													
	・ 臨時職員賃金 43,129千円																																																																																													
	・ 共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料） 8,026千円																																																																																													
	・ 事務費（校外学習引率に伴う旅費、入場料、参加負担金） 28千円																																																																																													
	・ 委託料（児童の看護・介護委託料） 2,207千円																																																																																													
	配置一覧																																																																																													
	<table><tr><th>学校名</th><th>介護</th><th>講師</th><th>相談員</th><th>学校名</th><th>介護</th><th>講師</th><th>相談員</th></tr><tr><td>峰山小</td><td>1人</td><td></td><td></td><td>吉野小</td><td>1人</td><td></td><td></td></tr><tr><td>新山小</td><td>2人</td><td></td><td></td><td>瀧谷小</td><td></td><td>1人</td><td></td></tr><tr><td>大宮第一小</td><td>4人</td><td></td><td>1人</td><td>鳥取小</td><td>1人</td><td></td><td></td></tr><tr><td>網野北小</td><td>1人</td><td></td><td></td><td>野間小</td><td></td><td>1人</td><td></td></tr><tr><td>網野南小</td><td>3人</td><td>1人</td><td></td><td>久美浜小</td><td>1人</td><td></td><td></td></tr><tr><td>郷小</td><td></td><td>1人</td><td></td><td>川上小</td><td></td><td>1人</td><td></td></tr><tr><td>橘小</td><td>3人</td><td></td><td></td><td>海部小</td><td></td><td>1人</td><td></td></tr><tr><td>豊栄小</td><td>1人</td><td></td><td></td><td>佐濃小</td><td>1人</td><td></td><td></td></tr><tr><td>間人小</td><td>1人</td><td></td><td></td><td>かぶと山小</td><td>1人</td><td></td><td></td></tr><tr><td>宇川小</td><td>2人</td><td></td><td></td><td>計</td><td>23人</td><td>6人</td><td>1人</td></tr></table>						学校名	介護	講師	相談員	学校名	介護	講師	相談員	峰山小	1人			吉野小	1人			新山小	2人			瀧谷小		1人		大宮第一小	4人		1人	鳥取小	1人			網野北小	1人			野間小		1人		網野南小	3人	1人		久美浜小	1人			郷小		1人		川上小		1人		橘小	3人			海部小		1人		豊栄小	1人			佐濃小	1人			間人小	1人			かぶと山小	1人			宇川小	2人			計	23人	6人	1人
	学校名	介護	講師	相談員	学校名	介護	講師	相談員																																																																																						
峰山小	1人			吉野小	1人																																																																																									
新山小	2人			瀧谷小		1人																																																																																								
大宮第一小	4人		1人	鳥取小	1人																																																																																									
網野北小	1人			野間小		1人																																																																																								
網野南小	3人	1人		久美浜小	1人																																																																																									
郷小		1人		川上小		1人																																																																																								
橘小	3人			海部小		1人																																																																																								
豊栄小	1人			佐濃小	1人																																																																																									
間人小	1人			かぶと山小	1人																																																																																									
宇川小	2人			計	23人	6人	1人																																																																																							
主な財源	府補	未来づくり交付金（小学校スクールサポーター等設置事業）				23,000千円																																																																																								
	市債	過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債）				2,800千円																																																																																								
評価・課題等	○必要に応じてスクールサポーターを配置することで、円滑な授業や効率的な学校運営を行うことができた。 ○児童一人ひとりの課題・特性を的確に把握するとともに、必要とする学校を的確に見極め、効果的なスクールサポーターの配置に努めていく必要がある。																																																																																													
事業所管課		教育委員会事務局／学校教育課																																																																																												

予算科目	10教育費	02小学校費	02教育振興費	04小学校教育推進事業		
細事業名	02 小学校教育推進活動実践事業				決算書	P.316
総合計画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実		
決算額①	最終予算額②		不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額	
2,890千円	3,179千円		289千円	90.9%	3,007千円	
目的	国や府等の研究指定校を受けて教育実践に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実等、特色ある教育を実践し、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	○教育実践研究指定事業					
	・京の未来創造校					150千円
	府指定：(H24～H25) 久美浜小<国語科>					
	・もうすぐ1年生体験入学推進事業					82千円
	府指定：(H25) 吉原小					
	・サイエンス・パートナーシップ校					141千円
市指定：(H25) 海部小・川上小・佐濃小						
主な財源	○校外学習や仕事・文化体験活動、総合的な学習活動					
	・「KYO発見 仕事・文化体験事業」推進事業(府指定：全校)					907千円
	・総合的な学習活動推進事業(市指定：全校)					858千円
	○教育研究事業負担金					250千円
	○修学旅行引率補助金					502千円
評価・課題等	府補	KYO発見仕事・文化体験活動推進事業補助金(2/3)				602千円
	府補	もうすぐ1年生体験入学推進事業補助金(1/2)				40千円
	府委	京の子ども学力充実推進事業費委託金(10/10)				150千円
○国や府等の研究指定校を受けて教育実践に取り組むことで、児童の基礎学力の向上や規範意識、コミュニケーション能力などを身に付けさせることができた。 ○児童の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続して実践していくため、教職員の資質の向上とあわせ、各学校の創意工夫の取組が活かされる効果的な実践活動が必要である。						
事業所管課		教育委員会事務局／学校教育課				

予算科目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	02中学校管理運営事業		
細事業名	01 中学校管理運営事業				決算書	P.320
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
70,583千円		72,077千円		1,494千円	97.9%	72,039千円
目的	適正な学校運営や教育環境の充実に取り組み、中学校における円滑な教育活動を実施する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	経費の削減に取り組みつつ、学校運営に必要な維持管理等を行うとともに、教育環境を整えるための体制整備を実施した。					
	○需用費					
	消耗品費、燃料費（事務用品、用紙、コピー、灯油ほか）					18,690千円
	食糧費、印刷製本費（来客用茶、通知簿、ちりめん卒業証書ほか）					673千円
	電気代					25,369千円
	水道料					8,410千円
	修繕費（管理備品の修繕）					165千円
	○役務費					
	電話代					1,912千円
	郵送料					187千円
	手数料・保険料（ピアノ調律、クリーニング、ごみ処理ほか）					585千円
	○委託料					
	理科薬品廃棄処分、蜂の巣駆除					190千円
	作業員業務人材派遣委託料（5校、6人）					9,106千円
○使用料及び賃借料						
テレビ受信料、ガス警報器使用料					114千円	
印刷機借上料、コピー機借上料					1,147千円	
○備品購入費						
生徒用机・イス、ストーブ、テントほか					2,940千円	
○負担金、補助金及び交付金						
校長会、教頭会、教務主任会、事務研究会ほか各種団体負担金					1,095千円	
主な財源						
評価・課題等	○教育環境の整備や維持管理など、安心して学ぶことのできる学校づくりに取り組み、中学校における円滑な教育活動を実施することができた。 ○学校再配置基本計画に基づく学校再配置事業に取り組み、教育環境の整備とあわせた効率的な学校施設の管理運営に努めていく必要がある。					
事業所管課		教育委員会事務局／学校教育課				

予 算 科 目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	02中学校管理運営事業	
細 事 業 名	02 中学校事務補助経費				決算書 P.320
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②		不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額
4,300千円	4,533千円		233千円	94.8 %	4,533千円
目 的	学校事務職員の複数配置を要する中学校に事務職員を配置し学校事務をサポートすることにより、円滑な教育活動の実施と適正な学校運営を行う。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	○複数配置校				
	大宮中学校	事務補助（1人）	（1日6時間・週5日勤務）		
	網野中学校	事務補助（1人）	（1日6時間・週5日勤務）		
	○再配置校				
	久美浜中学校	事務補助（1人）	（1日6時間・週5日勤務）		
	・ 臨時職員賃金				3,755千円
	・ 共済費（社会保険料等）				545千円
主 な 財 源					
評 価 ・ 課 題 等	○学校事務の点からサポートすることにより、円滑な教育活動の実施と適正な学校運営行うことができた。 ○学校運営に支障をきたすと判断される場合には、今後も配置が必要であるが、府費負担による配置を継続的に要請していく必要がある。				
事 業 所 管 課		教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	03中学校費	01学校管理費	04生徒教職員健康管理事業	
細事業名	01 生徒教職員健康管理事業				決算書 P.322
総合計画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
5,582千円		5,758千円	176千円	96.9%	6,412千円
目的	生徒及び教職員の健康管理を行うとともに、施設や設備の安全対策を講じることにより、生徒及び教職員の安全の確保と中学校における教育活動の安全な環境を整える。				
主要な事業・事業及び成果の概要	○需用費（保健衛生消耗品・医薬材料等）				670千円
	○委託料				
	・ 生徒各種検診・検査				3,817千円
	心臓検診委託料 1次 648人（1年、経過検診者）				
	2次 66人				
	眼科検診委託料 1,844人				
	耳鼻科検診委託料 1,852人				
	尿検査委託料（春）1次 1,873人 2次 106人				
	（秋）1次 1,862人 2次 95人				
	血液検査委託料 665人（2年、経過観察者）				
・ 教職員健康診断委託料				542千円	
・ 教職員結核検診委託料				132千円	
・ 自動車運転委託料（検診時生徒送迎）				2千円	
○使用料及び賃借料					
自動車借上料（検診時医師送迎）				37千円	
機械借上料（AEDリース）				382千円	
全校設置済（中学校8校）					
主な財源					
評価・課題等	健康診断・結核検診を実施するとともに、AEDを全中学校に配備するなど、生徒及び教職員の健康の保持増進、学校保健安全の向上につながった。				
事業所管課		教育委員会事務局／学校教育課			

予 算 科 目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	03中学校就学援助事業			
細 事 業 名	01 中学校就学援助事業				決算書	P.326	
総 合 計 画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額			
29,146千円	29,342千円	196千円	99.3 %	30,905千円			
目 的	対象生徒の保護者を支援し、要保護者、準要保護者及び特別支援学級に入級する保護者等の経済的負担を軽減する。						
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	○就学援助費						
	要保護認定者 18人 (H24 12人)		246千円				
	内訳：修学旅行費 216千円						
	医療費 30千円						
	準要保護認定者 232人 (H24 223人)		27,632千円				
	内訳：学用品費等 11,473千円						
	給食費 10,337千円						
	修学旅行費 5,612千円						
	医療費 210千円						
	※申請者数：266人 (H24 240人)						
認定者数：250人 (H24 235人)							
主 要 な 財 源	○特別支援教育就学奨励費						
	対象者 27人 (H24 37人)		1,268千円				
	内訳：学用品費等 385千円						
	給食費 588千円						
	修学旅行費 295千円						
	国補	就学援助費補助金 (1/2)	123千円				
	国補	特別支援教育就学奨励費補助金 (1/2)	412千円				
	評 価 ・ 課 題 等	○就学に必要な学用品費、給食費、修学旅行費等を支援することで、対象生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。					
		○経済情勢の把握や制度内容の周知を徹底するとともに、世帯状況や家計状態などを考慮し、認定基準と給付基準の両面から、公正かつ適正な援助に引き続き努める必要がある。					
	事 業 所 管 課		教育委員会事務局／学校教育課				

予 算 科 目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	04中学校教育推進事業		
細 事 業 名	01 中学校スクールサポーター等設置事業				決算書	P.326
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実	
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②		不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額	
23,183千円	23,184千円		1千円	99.9 %	27,062千円	
目的	スクールサポーター（介護職員、講師、心の教室相談員）を配置し、生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細かな指導に努め、円滑な授業を実施する。					
主要な 事業及び 成果の 概要	○介護職員（臨時職員） 配置：峰山中学校・弥栄中学校 3人（1日7時間・週5日勤務） ○心の教室相談員（臨時職員） 配置：各中学校 1人 8人（1日7時間・週4日勤務） ○小中一貫講師（臨時職員） 配置：峰山中学校・大宮中学校・網野中学校 3人（1日7時間45分・週5日勤務） ○再配置講師（臨時職員） 配置：間人中学校 1人（1日7時間45分・週5日勤務） ・ 臨時職員賃金 19,546千円 ・ 共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料） 3,637千円					
主な 財源	府補 市債	未来づくり交付金（中学校スクールサポーター等設置事業） 過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債）				10,000千円 2,800千円
評価・ 課題等	○心の教室相談員は、生徒が悩みを気軽に話せて、不安を和らげることができる第三者的な存在として、生徒の話し相手となり、悩みや不安の軽減の手助けをすることができた。 ○生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握するとともに、必要とする学校を的確に見極め、効果的なスクールサポーターの配置に努めていく必要がある。					
事業所管課		教育委員会事務局／学校教育課				

予 算 科 目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	04中学校教育推進事業		
細 事 業 名	02 中学校教育推進活動実践事業				決算書	P.326
総 合 計 画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市			計画項目	② 学校教育の充実	
決 算 額	①	最 終 予 算 額	②	不 用 額	(②-①)	執 行 率
	2,284千円	2,673千円		389千円		85.4 %
				(参考) 当初予算額 2,559千円		
目 的	国や府等の研究指定校を受けて教育実践に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実等、特色ある教育を実践し、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	○教育実践研究指定事業					
	・ 京の未来創造校					150千円
	府指定：(H24～H25) 峰山中＜学校・家庭・地域社会連携＞					
	・ 人権教育総合推進地域事業					1,000千円
	国指定：(H24～H26) 大宮中					
	○校外学習や体験活動、総合的な学習活動					
	・ 「KYO発見 仕事・文化体験事業」推進事業（府指定：全校）					510千円
	・ 総合的な学習活動推進事業（市指定：全校）					255千円
	○和装振興事業					
	・ 着付け体験学習（峰山中、大宮中、間人中、弥栄中）					34千円
○教育研究事業負担金						112千円
○教育推進活動実践事業参加負担金						13千円
○修学旅行引率補助金						210千円
主 な 財 源	府補	KYO発見仕事・文化体験活動推進事業補助金（2/3）				336千円
	府委	京の子ども学力充実推進事業費委託金（10/10）				1,149千円
評 価 ・ 課 題 等	○国や府等の研究指定校を受けて教育実践に取り組むことで、生徒の基礎学力の向上や規範意識、コミュニケーション能力などを身に付けさせることができた。 ○生徒の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続して実践していくため、学校関係者の資質の向上とあわせ、各学校の創意工夫の取組が活かされる効果的な実践活動が必要である。					
事 業 所 管 課		教育委員会事務局／学校教育課				

予 算 科 目		10教育費	06保健体育費	04学校給食費	02網野給食センター管理運営事業	
細 事 業 名		01 網野給食センター管理運営事業				決算書 P.364
総 合 計 画		基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実	
決 算 額		①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
		36,445千円	36,549千円	104千円	99.7 %	44,134千円
目 的	学校給食を実施することで、園児、児童生徒の心身の健全な発達を促し、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	学校給食等の提供に必要な体制の確保と、維持管理を行った。					
	○臨時職員					
	給食調理員（14人）、事務補助員（1人）					
	共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料）					1,253千円
	賃金					13,444千円
	○給食調理及び配送関連経費等					
	旅費					10千円
	需用費 消耗品費 厨房用消耗品費ほか					1,894千円
	燃料費 ガス代、ボイラー用灯油代、配送車燃料代					4,711千円
	光熱水費 電気代、水道料					4,848千円
	役務費 通信運搬費 電話代					94千円
	検便検査手数料、ごみ持ち込み手数料					687千円
	委託料 配送車運転委託料（3台のうち1台）					557千円
	○施設及び機器類関連経費等					
	需用費 車両関係修繕料 配送車3台、軽トラック点検修理					785千円
	施設設備等修繕料 蒸気配管、揚げ物調理機等修理					915千円
	役務費 浄化槽地下タンク検査手数料、自動車損害保険料ほか					462千円
	委託料 浄化槽維持管理委託料					1,242千円
	電気設備保守点検業務委託料					105千円
	給食施設消毒業務委託料、消防用設備保守点検業務委託料					105千円
	備品購入費 コンベア式焼物機 1台					5,030千円
	食材検温用温度計ほか					177千円
	その他 自動車重量税、コピー機借上料、テレビ受信料					126千円
主 な 財 源	市債	学校給食センター整備事業債（合併特例債）				4,700千円
評 価 ・ 課 題 等	○網野町域の幼稚園、小中学校の学校給食を効率的に調理し、栄養バランスの取れた安心・安全な給食を提供することができた。					
	○運営については、経常的な経費を削減するとともに、調理機器や設備の適正な維持管理に努めた。					
事 業 所 管 課		教育委員会事務局/学校教育課				

予 算 科 目	10教育費	06保健体育費	04学校給食費	04小学校給食管理運営事業	
細 事 業 名	01 小学校給食管理運営事業				決算書 P.366
総 合 計 画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実	
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
145,938千円	146,394千円	456千円	99.6 %	144,943千円	
目的	学校給食を実施することで、児童の心身の健全な発達を促し、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う。				
主要な 事業及び 成果の 概要	小学校の給食を提供するために必要な体制の確保と、調理機器の整備などの維持管理等を行った。 ○臨時職員 給食調理員 8人（峰山小3人、大宮第一小5人） 共済費（社会保険料・労災保険料・雇用保険料） 1,171千円 賃金 8,838千円 ○需用費 消耗品費・修繕料 1,563千円 燃料費 14,661千円 ○役務費（給食調理備品移設手数料ほか） 42千円 ○委託料 給食調理業務委託料（19校） 119,149千円 吉原小・五箇小・新山小・丹波小・長岡小・大宮南小・豊栄小・間人小・宇川小・吉野小・溝谷小・鳥取小・黒部小・野間小・久美浜小・川上小・海部小・佐濃小・かぶと山小 ○備品購入費 給食調理機器等 488千円 ・強化磁器食器（高龍小、久美浜小） ・作業台ほか（大宮南小） ○負担金 京都府学校栄養士協議会 13千円 京都府学校給食研究会 13千円				
主な 財源	諸収入 小学校給食調理機器類貸付料				6,312千円
評価・ 課題等	○小学校給食の調理業務について、本市の行財政改革推進計画を踏まえ、アウトソーシングによる民間委託を導入することにより、効率的な運営を図ることができた。 ○栄養バランスの取れた安心・安全な給食の実施を前提に、退職者不補充により人件費を削減していくとともに、調理機器や設備を含めた民間活力をさらに活用するよう進める。				
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課				

予算科目	10教育費	06保健体育費	04学校給食費	05中学校給食管理運営事業
細事業名	01 中学校給食管理運営事業			決算書 P.368
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	② 学校教育の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
43,534千円	43,596千円	62千円	99.8 %	40,645千円
目的	学校給食を実施することで、生徒の心身の健全な発達を促し、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う。			
主要な事業・事業及び成果の概要	中学校の給食を提供するために必要な体制の確保と、調理機器の整備などの維持管理等を行った。 ○臨時職員 給食調理員 11人（峰山中5人、大宮中3人、久美浜中3人） 共済費（社会保険料・労災保険料・雇用保険料） 1,611千円 賃金 10,855千円 ○需用費 消耗品費・修繕料 1,226千円 燃料費 5,567千円 ○役務費 包丁研磨手数料 7千円 ○委託料 給食調理業務委託料（3校） 20,302千円 間人中・宇川中・弥栄中 ○備品購入費 給食調理機器 3,955千円 ・三槽シンク、立体炊飯器ほか（峰山中） ・食器洗浄機（大宮中） ・回転釜ほか（間人中） ○負担金 全国及び京都府学校栄養士協議会 7千円 京都府学校給食研究会 4千円			
主な財源	諸収入 中学校給食調理機器類貸付料 1,128千円			
評価・課題等	○中学校給食の調理業務について、本市の行財政改革推進計画を踏まえ、アウトソーシングによる民間委託を導入することにより、効率的な運営を図ることができた。 ○栄養バランスの取れた安心・安全な給食の実施を前提に、退職者不補充により人件費を削減していくとともに、調理機器や設備を含めた民間活力をさらに活用するよう進める。			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予 算 科 目	10教育費	06保健体育費	04学校給食費	07地元農産物給食利用促進支援事業
細 事 業 名	01 地元農産物給食利用促進支援事業			決算書 P.368
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	② 学校教育の充実
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
718千円	721千円	3千円	99.5 %	818千円
目的	地元農産物の学校給食での利用を促進し、農産物や農業・農村への関心や理解を高める。			
主要な事務・事業及び成果の概要	○地元農産物給食利用促進支援事業補助金 718千円 特別栽培米利用給食実施校へ米代の単価差の補助を行う。 ・補助金 精米1キログラム40円の補助 3,335.5kg×40円＝133,420円（25校実施） 「京丹後産食材の日」給食実施校へ給食費の補助を行う。 ・補助金 （「京丹後産食材の日」3回分の給食人数）×定額60円／食 9,746人×60円＝584,760円（14校実施）			
主な財源				
評価・課題等	地元産の食材や特別栽培米を学校給食に使用することにより、地産地消の推進を図るとともに保護者の給食費負担の軽減にもつながった。			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	06保健体育費	04学校給食費	50学校給食一般経費		
細事業名	01 学校給食一般経費				決算書	P.368
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	② 学校教育の充実	
決算額 ①	最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
2,338千円	2,373千円		35千円	98.5 %	2,488千円	
目的	学校給食全般における衛生管理の徹底を図るとともに、給食献立の研究を通じ、衛生管理と栄養面での充実や食育の推進を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	○衛生管理の徹底 学校給食衛生管理基準に基づく給食調理施設の衛生管理を徹底するため、各種検査を実施するとともに、衛生対策関連の消耗品等の種類や内容を統一して、一括購入・供給を行った。 ・消耗品費（消毒液、手袋、残留塩素測定用試薬ほか） 933千円 ・給食調理員検便検査手数料 毎月2回実施 1,352千円 ・給食用食材検査手数料 年1回1施設で実施 11千円 ○献立研究会運営 衛生管理面・栄養面等についての研究活動を行った。 ・普通旅費（研究会への参加）1回、4人 37千円 ・賄材料費（調理実習） 5千円					
主な財源						
評価・課題等	○学校給食全般における衛生管理と栄養面での充実につながった。 ○大宮南小学校の食中毒発生を踏まえ、より安心・安全な学校給食を実施していくため、給食調理施設の衛生管理はもとより、学校関係者や給食従事者に対する安全教育を徹底するとともに、各種検査体制の充実を図る必要がある。					
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課					

予 算 科 目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	14教育のまちづくり推進事業
細 事 業 名	01 学校支援地域本部事業			決算書 P.302
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	② 学校教育の充実
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
5,133千円	5,137千円	4千円	99.9 %	5,091千円
目的	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、学校・家庭及び地域が一体となって、子どもを育む環境の充実と定着を図り、学校を核とした地域の教育力の向上と活性化を図る。			
主要な 事務・ 事業 及び 成果 の 概 要	地域全体で学校教育を支援するため、さまざまな特技や技能をもった地域の人材を学校支援ボランティアとして登録していただき、全ての幼稚園、小・中学校で、学習支援やクラブ活動支援、学校の環境整備などの活動を行った。 ○実施期間 平成25年4月1日～平成26年3月31日 ○実施地域 市内全ての小学校（26校）・中学校（8校）・幼稚園（4園） ○地域コーディネーターの配置 6人（各地域公民館） ○ボランティア登録者数 427人（平成26年3月31日現在） ○広報誌の発行（2回） ボランティア募集・活動報告 ○ボランティア活動 ＜活動内容＞ ・学習支援（教科指導補助、総合的な学習の時間の講師、部活動指導支援） ・環境支援（学校環境整備、学校図書室整理、安全確保、学校行事等の補助等） ＜活動実績＞ ・峰山中学校区 453日／2,307人 ・大宮中学校区 395日／ 749人 ・網野・橘中学校区 599日／2,581人 ・間人・宇川中学校区 390日／2,967人 ・弥栄中学校区 299日／ 463人 ・久美浜中学校区 365日／1,081人 ○謝 金 4,357 千円 ○旅 費 349 千円 ○消耗品・印刷製本費 424 千円 ○使用料（有料道路通行料） 3 千円			
主な 財源	府補 地域で支える学校教育推進事業補助金（2/3） 3,394千円			
評価・ 課題 等	○学校支援ボランティアとしてさまざまな学校支援活動を行うことで、地域で学校教育を支援する連携体制の構築を図ることができた。 ○地域住民の経験や特技を活かす場として、学校の教育活動等に参加することで、地域の教育力の充実・向上と住民の意欲・能力の活用を図ることができている。 ○学校での活動内容が多様化していることから、ボランティア登録者を増やしていく必要がある。			
事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課			

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	02社会教育委員設置事業
細 事 業 名	01 社会教育委員設置事業			決算書 P.332
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
532千円	612千円	80千円	86.9 %	718千円
目的	社会教育委員を設置し、社会教育行政全般について調査・研究及び審議し、答申及び建議を行うことによって、市民の声を反映した社会教育事業を推進する。			
主要な 事務・ 事業 及び 成果 の 概 要	社会教育委員会議を開催し、社会教育事業及び社会教育の諸課題について審議するとともに、社会教育委員の研修機会を提供した。 社会教育委員会議の主な内容（3回開催） 平成24年度社会教育・社会体育事業の概要 平成25年度社会教育・社会体育事業計画・予算、協議課題、意見交換 研究課題「社会教育施設の活性化について」 社会教育委員研修事業 ・京都府社会教育委員連絡協議会総会[6月13日 向日市民会館] ・丹後地方社会教育委員連絡協議会総会・第1回研修会[6月28日 知遊館] ・丹後地方社会教育委員連絡協議会第2回研修会[11月22日 伊根町ほっと館・向井酒造] ・京都府社会教育委員連絡協議会研究大会[11月28日 南丹市美山文化ホール] ・丹後地方社会教育委員連絡協議会理事・幹事会への参加（3回） ○報酬（社会教育委員報酬） 344 千円 社会教育委員 15人（任期：平成24年4月1日～平成26年3月31日） ○旅費（費用弁償、研修事業への参加旅費） 80 千円 ○需用費（研修事業資料代、燃料費） 22 千円 ○委託料（研修会参加バス運転委託料） 16 千円 ○使用料及び賃借料（有料道路通行料） 5 千円 ○丹後地方社会教育委員連絡協議会分担金 65 千円 （京都府社会教育委員連絡協議会分担金含む）			
主な 財源				
評価・ 課題 等	○社会教育委員の会議を開催し、社会教育事業及び社会教育の諸課題について審議することで、市民の意向を反映した社会教育行政を進めることができた。 ○今後も社会教育委員の会議を通して、市民のニーズの把握に努め、社会教育行政を進めていく必要がある。			
事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課			

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	03社会教育指導員設置事業	
細 事 業 名	01 社会教育指導員設置事業				決算書 P.332
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額	
21,269千円	21,351千円	82千円	99.6 %	21,351千円	
目 的	社会教育課及び各地域公民館に社会教育指導員を設置し、社会教育の推進体制を維持するとともに、事業を積極的に展開することにより社会教育活動の充実を図る。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	社会教育の推進体制を維持し、事業を積極的に展開することにより、社会教育活動の充実を図るため、社会教育指導員を設置した。主な業務は、社会教育事業の計画・立案及び運営や社会教育関係団体等への指導・助言など団体の育成・支援を行った。 社会教育指導員の設置 9人 ・ 社会教育課 1人 ・ 峰山地域公民館 2人 ・ 大宮地域公民館 1人 ・ 網野地域公民館 2人 ・ 丹後地域公民館 1人 ・ 弥栄地域公民館 1人 ・ 久美浜地域公民館 1人 ○報酬 17,982 千円 社会教育指導員報酬 ○共済費 2,926 千円 社会保険料 2,631 千円 労災保険料 54 千円 雇用保険料 241 千円 ○旅費 361 千円 費用弁償				
主 な 財 源					
評 価 ・ 課 題 等	○社会教育指導員の設置により、各種社会教育事業の効果的な実施と社会教育団体の育成・支援を行うことができ、市民ニーズに応えた社会教育活動を推進することができた。 ○今後も、市民ニーズの的確な把握に努め、社会教育活動を支援していく必要がある。				
事 業 所 管 課	教育委員会事務局／社会教育課				

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	04成人式開催事業		
細 事 業 名	01 成人式開催事業				決算書	P.332
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	③ 若者の育成	
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②		不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額	
1,299千円	1,353千円		54千円	96.0 %	1,286千円	
目 的	人生の節目としての式典を開催することによって、大人（成人）になったことの自覚を促すとともに、今後自らの人生を生き抜こうとする新成人を祝い励ますことを目的とする。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	日 時 平成26年3月16日（日） 午後2時～ 会 場 京都府丹後文化会館 対 象 平成5年4月2日～平成6年4月1日生まれの市内在住者及び市内各中学校卒業者757人（男386人／女371人） 出席者 620人 （出席率 81.9%） 内 容 アトラクション：丹後吹奏楽団・京丹後市少年少女合唱団協議会 式 典：記念式典、二十歳の主張等 記念品：記念写真、慶弔用^{㉗㉘}袱紗 ○報償費 965 千円 報償金（出演謝金） 100 千円 報償金（司会謝金） 35 千円 報償物品（慶弔用^{㉗㉘}袱紗、記念写真） 830 千円 ○需用費（消耗品費、燃料費） 22 千円 ○役務費（通信運搬費、成人式映像中継手数料） 128 千円 ○委託料（バス運転委託料） 11 千円 ○使用料及び賃借料（会場借上料等） 173 千円					
主 な 財 源						
評 価 ・ 課 題 等	○成人式の出席率は80%を超え、多くの新成人の参加を得て開催することができた。 ○今後は、現在のような行政主導で開催する式典に新成人が参加するというだけではなく、新成人の参画等、その在り方について検討が必要である。					
事 業 所 管 課	教育委員会事務局／社会教育課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	05青少年教育事業	
細事業名	01 青少年教育事業				決算書 P.334
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	③ 若者の育成	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額	
3,049千円	3,150千円	101千円	96.7 %	2,999千円	
目的	将来を担う青少年の健やかな成長を支援するため、体験活動やボランティア、伝統文化の継承など地域活動への参加促進を図ることで、心豊かな人間の基礎づくりを推進する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	○子ども体験事業				359 千円
	・社会教育課【2事業2回 延べ参加者数83人】				(2 千円)
	おもしろ科学体験、理科わくわく体験事業				
	・峰山地域公民館【8事業13回 延べ参加者数173人】				(28 千円)
	夏休み子ども体験教室(陶芸、木工、おもしろ科学遊び、リバーウォッチングほか)				
	峰山地域公民館【チャレンジウォーク1回 参加者数16人】				
	・大宮地域公民館【1事業1回 参加者数15人】(ジュニアスキー教室)				
	・網野地域公民館【1事業11回 延べ参加者数429人】				(217 千円)
	ウィークエンド事業(野菜作り、茶摘み、カート体験、科学遊び、まちなか探検ほか)				
	・丹後地域公民館【1事業4回 延べ参加者数44人】				
夏休み体験事業(地球温暖化学習)					
・弥栄地域公民館【2事業7回 延べ参加者数110人】					
やさか探検隊(自然環境学習)、親子料理教室					
・久美浜地域公民館【1事業1回 参加者数14人】					
夏休み子ども木工教室					
*地域公民館合同事業					
・峰山・久美浜地域公民館【キャンプ 参加者数29人】				(34 千円)	
・網野・丹後地域公民館【キャンプ 参加者数34人】				(49 千円)	
・大宮・弥栄地域公民館【キャンプ 参加者数36人】				(29 千円)	
○青少年育成団体への補助【1団体】				640 千円	
○少年少女児童合唱団への補助【4団体】				850 千円	
○地域子ども教室への補助【6団体】				900 千円	
○第37回京都府北部児童・少年少女合唱団交歓演奏会への補助				150 千円	
○未来人材育成塾参加者への補助【2人】				150 千円	
主な財源	府補 京のまなび教室推進事業費補助金(2/3)				126千円
評価・課題等	子どもを対象とした体験活動などの事業の実施及び各種青少年関係団体への支援を行うことによって、家庭・学校及び地域の連携による青少年の育成と子どもの居場所づくりの充実を図ることができた。				
事業所管課	教育委員会事務局/社会教育課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	07成人教育事業
細事業名	01 成人教育事業			決算書 P.334
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
489千円	558千円	69千円	87.6 %	907千円
目的	市民の学習に対する多様な要望に応えるため、学習機会を提供するとともに、学習活動を通じた市民交流を促進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	市民が気軽に参加できるように配慮し、基礎的な技能を修得することを目的としてケータイ（スマートフォン）講習会を実施した。また、女性教育としてビタミン講座を実施するとともに、市連合婦人会への補助を行った。 ○ 成人教育 54 千円 ・ ケータイ（スマートフォン）講習会【1講座・2回 延べ53人】 （峰山・網野） ・ 京丹後市見聞セミナー【6回 延べ184人】 54千円 （網野地域公民館） ○ 女性教育 431 千円 ・ ビタミン講座【7回 延べ157人】 70千円 （網野地域公民館） ・ 京丹後市連合婦人会補助金 361千円 ○ その他 4 千円			
主な財源	諸収入 社会教育事業等参加料			27千円
評価・課題等	○多様な学習機会を提供することによって、学習活動を通じた市民交流を促進することができた。 ○市民の学習ニーズや地域課題を把握し、地域人材を活用した各種の生涯学習機会を提供していく必要がある。あわせて、学習を継続するために自主的なサークル活動への移行を支援する必要がある。			
事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課			

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	09高齢者教育事業				
細 事 業 名	01 高齢者教育事業				決算書	P.334		
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実			
決 算 額 ①	最終予算額 ②		不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額			
4,594千円	4,645千円		51千円	98.9 %	4,915千円			
目 的	高齢者大学などを市内全域で実施することで、高齢者の社会参加を促し、生きがいづくりに貢献するとともに、その知識や経験を活かした地域活動を推進する。							
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	○京丹後市高齢者大学					4,311千円		
	・実施地域 市内6町（各地域公民館）							
	・受講者数 789人（平成26年3月31日現在）							
	学園	活動内容						
		一般講座		趣味講座				
	回数	延参加者数	延回数	延参加者数	講座数	講座内容		
	峰山	6回	317人	125回	1,609人	10	ちぎり絵、コーラス、民謡、歌謡等	
	大宮	6回	218人	38回	617人	6	庭木剪定、絵手紙、パソコン等	
	網野	10回	1,075人	223回	3,450人	12	陶芸、水彩画、習字、料理、唱歌等	
	丹後	6回	183人	47回	439人	8	生け花、詩吟、書道、俳句等	
弥栄	6回	176人	52回	417人	7	書道、絵手紙、手芸、料理等		
久美浜	6回	199人	63回	743人	8	囲碁、古典文学、パソコン、料理等		
報償費 1,938千円、旅費 92千円、需用費 426千円、役務費 64千円								
委託料 784千円、使用料及び賃借料 1,007千円								
○初心者トレッキング（山歩き）講座【5回 延べ76人】（丹後地域公民館） 283千円								
報償費 190千円、旅費 26千円、需用費 4千円、使用料及び賃借料 63千円								
主 な 財 源	諸収入 社会教育事業等参加料					999千円		
評 価 ・ 課 題 等	○高齢者大学などの実施により、高齢者の仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりの機会を提供することができ、高齢者の社会参加の促進と生きがいづくりに寄与することができた。 ○より一層の高齢者の社会参加の促進と地域活動への推進を図ることが必要である。							
事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課							

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	10家庭教育事業		
細事業名	01 家庭教育事業				決算書	P.336
総合計画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実		
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額		
1,811千円	1,896千円	85千円	95.5%	1,896千円		
目的	発達段階に応じた学習機会の提供及びきめ細かな家庭教育支援を実施することによって、すべての教育の出発点であり、子どもの成長の基礎となる家庭教育を推進する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	乳幼児期から就学前・学童期、思春期の各発達段階に応じた学習機会の提供と家庭教育支援チームによる子育て支援活動を実施した。また、引き続きPTA活動の支援を行った。					
	○子育て講座 【報償費・旅費・需用費 296千円】					
	幼児期子育て講座 3回 延べ参加者数 99人					
	就学前、学童期、思春期子育て講座 14回 延べ参加者数 1,402人					
	高校生と赤ちゃんのふれあい交流事業 6か所 延べ参加者数 261人					
	○家庭教育支援チーム事業 【報償費・需用費 903千円】					
	家庭教育支援チーム 各地域公民館6チーム／子育てサポーター43人					
	地域や家庭の教育力の低下、子育ての孤立化が進み、悩みや不安を抱えている親に対して、きめ細かな家庭教育支援を行うことを目的に、子育て経験者や子育てに関わる専門的な知識や経験を持ち、趣旨に賛同するメンバーで構成された「家庭教育支援チーム」を各地域公民館に組織し、地域課題に即した、子育て支援活動を行う。					
	・子育て交流会（全チーム） 35回 延べ参加者数 658人					
	・「手紙で結ぶ家族の絆」事業（峰山・網野） 各1回 延べ参加者数 364人					
・子育て広場（峰山・大宮・網野・弥栄・久美浜） 7回 延べ参加者数 187人						
・広報発行（全チーム） 各1回						
○京丹後市PTA協議会補助事業 【補助金 612千円】						
京丹後市PTA研究大会の開催、各ブロック子育て講演会の開催、各種研修会の参加						
PTA安全会掛金助成						
主な財源	府補 家庭教育支援基盤形成事業費補助金（2/3）				790千円	
評価・課題等	○子どもの発達段階に即した子育てに関する学習機会を提供し、子どもとのコミュニケーションの大切さや、生活習慣を身に付けさせるための家庭の役割などの重要性について認識が深められた。 ○家庭教育支援チームを新たに丹後、弥栄地域公民館に設置し、市内全域で支援チームの活動を展開する体制を整備することができた。 ○関係機関との連携により、課題の共有と学習会等への参加促進を図る必要がある。					
事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	11芸術文化事業	
細事業名	01 芸術文化事業				決算書 P.336
総合計画	基本方針	V パートナースhip都市	計画項目	⑥ 文化芸術活動の振興	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
33,777千円		33,778千円	1千円	99.9 %	32,318千円
目的	市民の豊かな心を育み、生きがいのある生活を送ることができるよう地域の生活文化を育て、ゆとりと潤いのある地域づくりを推進する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	文化芸術活動の充実及び推進を図るため、文化活動団体への支援を行い、市民が優れた芸術文化に触れる機会の提供に努めた。				
	○地域文化づくり事業委託料 1,625 千円 公益財団法人京都府丹後文化事業団に事業を委託し、丹後文化会館を拠点として活動する「文化の仕掛人」を雇用し、地域資源を活用した丹後地域ならではの文化・芸術活動の掘り起こしを行い、地域住民とともに文化力による地域の活性化とまちづくりを進める事業を実施した。 総事業費 3,250千円 (京都府・京丹後市1/2) ○(公財)京都府丹後文化事業団運営費補助金 27,000 千円 ○京丹後市文化協会活動費補助金 3,500 千円 加盟団体 172団体/2,597人 ○丹後文化芸術祭実行委員会補助金 1,300 千円 丹後地域2市2町の住民参加の文化事業として、幼児から高齢者まで、舞台部門(5事業)、展示部門(2事業)、セミナー(2事業)を実施した。 ○小町ろまん短歌大会開催補助金 202 千円 ・開催日、場所 平成25年12月8日(日) アミティ丹後多目的ホール ・短歌投稿 一般の部1,096首/高校生の部630首/中学生の部2,141首 小学生の部756首 (合計)4,623首 ・大会内容 添削教室、開会式典、記念講演、入選作品の発表・表彰・選者講評 ・参加人数 180人 ○おもしろ能楽講座開催補助金 150 千円 ・開催日、場所 平成25年6月14日(金) 京都府丹後文化会館 日本を代表する伝統芸能である能の鑑賞と体験プログラムを通して、伝統芸能への理解と関心を高めるとともに、次世代への文化継承を目的として、市内の小中学生を対象に実施した。 (参加学校)小学校17校、中学校3校 (参加者数)833人				
主な財源	府補 京都府地域文化づくり事業補助金				1,625千円
	府補 未来づくり交付金(芸術文化事業)				540千円
評価・課題等	○文化活動団体等への支援により、優れた文化を鑑賞する機会の提供及び地域文化の普及・振興等が推進され、文化芸術活動の充実及び推進を図ることができた。 ○今後、文化協会等各団体の更なる自主運営化に向けて指導していく必要がある。 ○短歌大会の作品応募数については、一層の増加が見込めるよう検討していく必要がある。				
事業所管課		教育委員会事務局/社会教育課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	12人権教育事業	
細事業名	01 人権教育事業				決算書 P.336
総合計画	基本方針	V パートナースhip都市	計画項目	③ 人権の尊重	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
582千円	596千円	14千円	97.6 %	778千円	
目的	人権問題についての正しい理解と認識を深め、人権尊重の精神の涵養を図ることを目的とする。				
主要な事務・事業及び成果の概要	人権に関する多様な課題について、住民の学習機会の拡充と身近で気軽に参加することができる効果的な学習・啓発事業を実施した。 ○人権教育講演会等 【報償費・旅費・需用費・使用料及び賃借料…391千円】 ① 子ども映画会(3会場・延べ参加者 308人) 開催日 平成25年8月24日(土) アグリセンター大宮・弥栄地域公民館、アミティ丹後 上映映画 「ももへの手紙」 ② 講演会(参加者 430人) 開催日 平成25年8月22日(木) 京都府丹後文化会館 演 題 「大人が変われば子どもは変わる」 講 師 定本 ゆきこ氏(京都少年鑑別所法務技官・精神科医) ③ 講演会(参加者 70人) 開催日 平成26年2月13日(木) アグリセンター大宮 70人 演 題 「あーよかったな あなたがいて」～優しさという温かい貯金～ 講 師 仲島 正教氏(教育サポーター) ○障害者交流研修会 【需用費・役務費・委託料…13千円】 ① 視覚障害者交流研修会(参加者 24人) 開催日 平成25年6月20日(木) アグリセンター大宮 内 容 サックスの音楽鑑賞、健康講座、カラーリング体験 ② 聴覚障害者交流研修会 開催日 平成25年10月25日(金) ※大雨警報発令のため中止 ○網野町障害者青年学級運営補助金 【130千円】 ○その他事務費 【旅費・需用費・委託料…48千円】				
主な財源	府補 人権問題啓発事業費補助金(1/2)				231千円
評価・課題等	○各種の人権講演会を開催するとともに、各地域でも啓発用の視聴覚教材を活用した人権学習会を実施し、人権意識の高揚を図った。 ○人権教育は、必要課題であるため、講師の選定や開催時期を工夫したり、市内の各種団体や組織の連携を図ったりするなど、一人でも多くの市民に人権について考えていただく機会を提供することが必要である。				
事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課				

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	50社会教育総務一般経費		
細 事 業 名	01 社会教育総務一般経費				決算書	P.338
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実	
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②		不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額	
102千円	130千円		28千円	78.4 %	130千円	
目 的	社会教育事業に要する事務経費					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	社会教育事業実施に必要な事務経費を支出した。					
	○社会教育事業一般経費					
	・ 旅費					
	普通旅費 78 千円					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	・ 需用費					
	消耗品費 24 千円					
主 な 財 源						
評 価 ・ 課 題 等	社会教育関係職員の資質向上を図るための研修機会を確保することができた。					
事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課					

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	01地域公民館管理事業	
細 事 業 名	01 峰山地域公民館管理事業				決算書 P.338
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②		不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額
8,026千円	8,290千円		264千円	96.8 %	8,196千円
目 的	峰山地域の社会教育活動、生涯学習及びコミュニティ活動の推進拠点として設置している峰山地域公民館を維持管理する。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	峰山地域公民館の貸館業務及び施設の維持管理を行った。				
	○需用費	4,123千円	○使用料及び賃借料	21千円	
	消耗品費	283千円	テレビ受信料	21千円	
	燃料費（調理室ガス代等）	65千円	○備品購入費	56千円	
	印刷製本費（申請書）	30千円	消火器（14本）	56千円	
	光熱水費	3,676千円	○負補交（電気代負担金）	2千円	
	修繕料	69千円			
	○役務費	425千円			
	通信運搬費	124千円			
	手数料（ゴミ処理手数料等）	280千円			
保険料	21千円				
○委託料	3,399千円				
施設警備	2,313千円				
施設清掃	161千円				
消防設備等保守点検	13千円				
貯水槽等保守点検	15千円				
電気設備保守管理	156千円				
エレベーター保守点検	517千円				
病虫害防除	19千円				
特殊建築物・設備定期報告業務	205千円				
主 な 財 源	使用料 峰山地域公民館使用料				1,088千円
	諸収入 峰山地域公民館水道使用料負担金				152千円
評 価 ・ 課 題 等	○施設の適正な維持管理を行った結果、各種社会教育事業、市民主体のサークル活動が開催されるなど、社会教育活動が促進された。				
	○施設の老朽化が進み経費の増大が予想されるが、生涯学習推進のため、経費節減に努めつつも施設の適正な維持管理に努める必要がある。				
事 業 所 管 課		教育委員会事務局／社会教育課			

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	01地域公民館管理事業
細 事 業 名	02 大宮地域公民館管理事業			決算書 P.338
総 合 計 画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
348千円	377千円	29千円	92.3 %	377千円
目的	大宮地域の社会教育活動、生涯学習及びコミュニティ活動の推進拠点として設置している大宮地域公民館を維持管理する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	大宮地域公民館印刷機の維持管理費等を支出した。 ○需用費 171千円 消耗品費（コピー料金ほか） 171千円 ○使用料及び賃借料 177千円 印刷機借上料 177千円			
主な財源				
評価・課題等	○良好な事務環境を維持するとともに、経費節減に努めた。 ○印刷機の維持管理を行い、地区公民館・分館等の事業広報活動に寄与した。			
事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課			

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	01地域公民館管理事業
細 事 業 名	03 網野地域公民館管理事業			決算書 P.338
総 合 計 画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
457千円	461千円	4千円	99.1 %	388千円
目的	網野地域の社会教育活動、生涯学習及びコミュニティ活動の推進拠点として設置している網野地域公民館を維持管理する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	網野地域公民館の維持管理を行った。 ○需用費 287千円 消耗品費 251千円 修繕料 36千円 ○役務費 31千円 通信運搬費 31千円 ○使用料及び賃借料 139千円 印刷機借上料 125千円 テレビ受信料 14千円			
主な財源				
評価・課題等	良好な事務環境を維持するとともに、反古紙の再利用等、経費節減に努めた。			
事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	01地域公民館管理事業		
細事業名	04 丹後地域公民館管理事業				決算書	P.338
総合計画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額		
6,703千円	6,776千円	73千円	98.9%	6,853千円		
目的	丹後地域の社会教育活動、生涯学習及びコミュニティ活動の推進拠点として設置している丹後地域公民館を維持管理する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	丹後地域公民館の貸館業務及び施設の維持管理を行った。					
	○需用費	3,640千円	○使用料及び賃借料	152千円		
	消耗品費	242千円	印刷機賃借料	128千円		
	燃料代	490千円	テレビ受信料	21千円		
	印刷製本費	18千円	ガス警報器	3千円		
	光熱水費	2,548千円				
	修繕料	342千円	○備品購入費	20千円		
			デジタルカメラ	20千円		
	○役務費	226千円				
	通信運搬費	117千円				
	クリーニング手数料	2千円				
	冷暖房切替手数料	80千円				
	火災保険料	27千円				
	○委託料	2,665千円				
	施設警備費	55千円				
水質調査費	17千円					
消防設備等保守点検	13千円					
電気設備保守管理	180千円					
公民館受付等業務	2,082千円					
貯留槽清掃委託	61千円					
防火対象物点検	16千円					
特殊建築物・設備定期報告業務						
	241千円					
使用料	丹後地域公民館使用料				75千円	
主な財源						
評価・課題等	○適正な維持管理を図るとともに経費節減に努めた。					
	○施設の老朽化が進み、施設の修繕経費などの増加が予想されるが、施設の機能を確保するため適正な維持管理に努める必要がある。					
事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	01地域公民館管理事業																										
細事業名	05 弥栄地域公民館管理事業				決算書	P.338																								
総合計画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実																										
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額																										
3,644千円	3,702千円	58千円	98.4 %	3,962千円																										
目的	弥栄地域の社会教育活動、生涯学習及びコミュニティ活動の推進拠点として設置している弥栄地域公民館を維持管理する。																													
主要な事務・事業及び成果の概要	弥栄地域公民館の貸館業務及び施設の維持管理を行った。																													
	○需用費	2,089千円	○共済費	2千円																										
	消耗品費	311千円	労災保険料	2千円																										
	燃料費	54千円																												
	印刷製本費	15千円	○賞金	781千円																										
	光熱水費	1,577千円	臨時職員賃金	781千円																										
	修繕費	132千円																												
	○役務費	149千円																												
	通信運搬費	119千円																												
	手数料	12千円																												
保険料	18千円																													
○委託料	386千円																													
施設清掃委託料	168千円																													
消防設備等保守点検委託料	13千円																													
建設設備定期報告書作成	205千円																													
○使用料及び賃借料	237千円																													
テレビ受信料	21千円																													
土地借上料	216千円																													
	<table><tr><th colspan="3">平成25年度利用者集計</th></tr><tr><td>和室（1階）</td><td>162 回</td><td>2,125 人</td></tr><tr><td>和室（2階）</td><td>196 回</td><td>2,883 人</td></tr><tr><td>大ホール</td><td>372 回</td><td>13,373 人</td></tr><tr><td>大会議室</td><td>288 回</td><td>4,009 人</td></tr><tr><td>小会議室</td><td>327 回</td><td>3,737 人</td></tr><tr><td>調理実習室</td><td>107 回</td><td>1,727 人</td></tr><tr><td>計</td><td>1,452 回</td><td>27,854 人</td></tr></table>						平成25年度利用者集計			和室（1階）	162 回	2,125 人	和室（2階）	196 回	2,883 人	大ホール	372 回	13,373 人	大会議室	288 回	4,009 人	小会議室	327 回	3,737 人	調理実習室	107 回	1,727 人	計	1,452 回	27,854 人
平成25年度利用者集計																														
和室（1階）	162 回	2,125 人																												
和室（2階）	196 回	2,883 人																												
大ホール	372 回	13,373 人																												
大会議室	288 回	4,009 人																												
小会議室	327 回	3,737 人																												
調理実習室	107 回	1,727 人																												
計	1,452 回	27,854 人																												
主な財源	使用料 弥栄地域公民館使用料					106千円																								
評価・課題等	○社会教育活動推進の拠点となる施設の適正な維持管理を図るとともに経費節減に努めた。 ○施設の老朽化が進み、施設の修繕経費などの増加が予想されるが、施設の機能を確保するため適正な維持管理に努める必要がある。																													
事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課																													

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	01地域公民館管理事業
細 事 業 名	06 久美浜地域公民館管理事業			決算書 P.338
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
1,359千円	1,596千円	237千円	85.1 %	1,596千円
目的	久美浜地域の社会教育活動、生涯学習及びコミュニティ活動の推進拠点として設置している久美浜地域公民館を維持管理する。			
主要な 事務・ 事業 及び 成果 の 概 要	久美浜地域公民館の施設の維持管理を行った。 ○需用費 1,096千円 - 消耗品費 158千円 - 燃料費 165千円 - 光熱水費 681千円 - 修繕料 92千円 ○役務費 179千円 - 通信運搬費 170千円 - 火災保険料 9千円 ○委託料 60千円 - 施設警備 59千円 - 消防設備保守点検 1千円 ○使用料及び賃借料 24千円 - 印刷機借上料 10千円 - テレビ受信料 14千円			
主な 財源				
評価・ 課題 等	適正な維持管理を図るとともに経費節減に努めた。			
事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課			

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	02地区公民館管理運営事業
細 事 業 名	01 地区公民館管理運営事業			決算書 P.340
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
43,665千円	43,754千円	89千円	99.7 %	44,737千円
目的	地区の課題学習及び交流活動の拠点として、地区公民館（44館）を設置、運営し、市民の生活基盤である地区の活性化を目指した活動を推進する。			
主要な 事務・ 事業 及び 成果 の 概 要	地区公民館の館長・主事報酬をはじめ、地区公民館活動交付金、地区公民館施設管理費など、地区公民館の維持管理、運営経費を支出した。 ○地区公民館長・主事の設置 18,098千円 ・館長報酬（15,000円/月 × 12月 × 44人） 7,920千円 ・主事報酬（20,000円/月 × 12月 × 42人） 10,080千円 ※主事44人中2人は市職員のため、報酬なし。 ・旅費（館長、主事会議等出席に係る費用弁償） 98千円 ○地区公民館活動運営費（地区公民館活動交付金） 18,889千円 ・公民館運営費（会議費、事務費、役員研修等） ・活動事業費（学級、講座、懇談会、地域活動、サークル活動等） ・地区交流事業費（運動会、文化祭、体育レクリエーション等） ○地区公民館施設管理費 6,678千円 ・地区公民館施設管理等委託料（1館分） 480千円 ・地区公民館火災保険料等補助金（7館分） 2,049千円 ・その他地区公民館管理経費（10館分） 4,149千円 - 報償費（地区公民館管理謝金） - 需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料） - 役務費（通信運搬費、手数料、保険料） - 委託料（消防設備等保守点検、浄化槽維持管理、地区公民館改修工事委託料） - 使用料及び賃借料（ガス警報器使用料） - 工事請負費（網野地区公民館天井修繕工事）			
主な 財源	繰入金 地域振興基金繰入金 18,888千円 諸収入 網野、新庄公民館光熱水費負担金 370千円			
評価・ 課題 等	○地区公民館の活動を通じて、住民のコミュニティ活動の推進を図るとともに、学習及び交流機会の提供など地域づくりの拠点としての機能を発揮することができた。 ○網野地域の地区公民館の施設管理については、今後公民館再編計画に基づき、地元との協議を進める必要がある。			
事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	03峰山地域公民館運営事業	
細事業名	01 峰山地域公民館運営事業			決算書	P.340
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
152千円	269千円	117千円	56.5 %	269千円	
目的	地域の学習と交流の拠点である地域公民館の運営体制を整備するとともに、市民の身近な地域課題及び生活課題に即した学習機会の提供と学習環境の整備、充実を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	地域公民館事業を実施するとともに、峰山地域内の地区公民館の連絡調整及び活動支援を行った。				
	○社会教育事業費 29 千円				
	事業種別	事業・講座名	回数	延参加者数	決算額
	青少年教育	みねやま子ども囲碁大会	1回	31人	—
		夏休み体験事業	1回	15人	21千円
	成人教育	ハーブガーデン講座	15回	56人	8千円
		お米パン講座	3回	35人	—
		お家でパン屋さん	5回	64人	—
		休日にパンを焼こう	3回	25人	—
	体育事業	第46回峰山スポーツ祭典	1回	1,000人	—
○峰山地域公民館だより 44 千円					
○峰山地域公民館からのお知らせ 67 千円					
○その他消耗品等 12 千円					
主な財源	諸収入 社会教育事業等参加料				169千円
評価・課題等	○青少年教育、成人教育などに関する事業を実施し、地域住民の幅広い学習の機会を提供することにより、社会教育活動を推進することができた。 ○地域内の地区公民館の交流及び活動を支援することによって、地区公民館の活性化を図ることができた。 ○より一層社会教育活動を推進するため、市民のニーズに合った講座の内容を検討するとともに、広報内容を工夫するなど市民への効果的な周知に努め、参加者の拡大を図る必要がある。				
事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	04大宮地域公民館運営事業		
細事業名	01 大宮地域公民館運営事業				決算書	P.342
総合計画	基本方針Ⅳ生涯学習都市		計画項目	④社会教育・スポーツの充実		
決算額①		最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額	
303千円		362千円	59千円	83.7%	362千円	
目的	地域の学習と交流の拠点である地域公民館の運営体制を整備するとともに、市民の身近な地域課題及び生活課題に即した学習機会の提供と学習環境の整備、充実を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	地域公民館事業を実施するとともに、大宮地域内の地区公民館の連絡調整及び活動支援を行った。					
	○社会教育事業費 263千円					
	事業種別		事業・講座名	回数	延参加数	決算額
	前期	成人教育	リフレッシュヨガ講座	5回	92人	12千円
			はじめてのオカリナ講座	5回	33人	24千円
			名所めぐり「古都をめぐる」	1回	29人	39千円
			料理講座～旬を食べる～	4回	16人	24千円
			大宮町フレッシュ歩こう会	1回	30人	15千円
		女性教育	きもの・帯のリメイク講座	5回	28人	30千円
	後期	成人教育	絵てがみ講座	4回	38人	24千円
ピラティス講座			5回	85人	12千円	
パソコン講座			5回	59人	18千円	
リフレッシュヨガ講座			3回	57人	12千円	
		女性教育	エコクラフトバック講座	4回	41人	30千円
	青少年教育	ジュニアスキー教室	1回	15人	23千円	
○その他事務経費（消耗品費） 40千円						
主な財源	諸収入 社会教育事業参加料					93千円
評価・課題等	○成人教育、女性教育、青少年教育に関する事業を実施し、地域住民の幅広い学習の機会を提供することにより、社会教育活動を推進することができた。 ○地域内の地区公民館の交流及び活動を支援することによって、地区公民館の活性化を図ることができた。 ○より一層社会教育活動を推進するため、市民のニーズに合った講座の内容を検討するとともに、広報内容を工夫するなど市民への効果的な周知に努め、参加者の拡大を図る必要がある。					
事業所管課		教育委員会事務局／社会教育課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	05網野地域公民館運営事業	
細事業名	01 網野地域公民館運営事業			決算書	P.342
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率
169千円		189千円		20千円	89.4 %
					(参考)当初予算額 188千円
目的	地域の学習と交流の拠点である地域公民館の運営体制を整備するとともに、市民の身近な地域課題及び生活課題に即した学習機会の提供と学習環境の整備、充実を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	地域公民館事業を実施するとともに、網野地域内の地区公民館の連絡調整及び活動支援を行った。				
	○社会教育事業費 112千円				
	事業種別	事業・講座名	回数	延参加人数	決算額
	女性教育	ビタミン講座	7回	157人	12千円
	成人教育	京丹後市見聞セミナー	6回	184人	13千円
	芸術文化	網野町ふれあいコンサート	1回	560人	87千円
*女性教育・成人教育は、成人教育事業とあわせて実施					
○網野地域公民館だより 32千円					
○運営事務経費（消耗品費ほか） 25千円					
主な財源					
評価・課題等	○芸術文化振興などの事業を実施し、地域住民に幅広い学習機会を提供することにより、社会教育活動を推進することができた。 ○地域内の地区公民館の交流及び活動を支援することによって、地区公民館の活性化を図ることができた。 ○より一層社会教育活動を推進するため、市民のニーズに合った講座の内容を検討するとともに、広報内容を工夫するなど市民への効果的な周知に努め、参加者の拡大を図る必要がある。				
事業所管課		教育委員会事務局／社会教育課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	06丹後地域公民館運営事業
細事業名	01 丹後地域公民館運営事業			決算書 P.342
総合計画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額
122千円	266千円	144千円	45.8%	266千円
目的	地域の学習と交流の拠点である地域公民館の運営体制を整備するとともに、市民の身近な地域課題及び生活課題に即した学習機会の提供と学習環境の整備、充実を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	地域公民館事業を実施するとともに、丹後地域内の地区公民館の連絡調整及び活動支援を行った。			
	○社会教育事業費 77千円			
	事業種別	事業・講座名	回数	延参加者数 決算額
	青少年教育	地球温暖化防止学習	4回	44人 -
		丹後町少年少女意見発表大会	1回	300人 28千円
	成人教育	トレッキング（歩こう会）	2回	34人 31千円
		男の料理教室	3回	34人 18千円
		初心者トレッキング講座	5回	76人 -
	○運営事務経費（消耗品費） 6千円			
	○役務費（手数料） 7千円			
○丹後地域公民館だより発行（12回） 32千円				
主な財源	諸収入 社会教育事業等参加料			32千円
評価・課題等	○成人教育・青少年教育などに関する事業を実施し、地域住民の幅広い学習の機会を提供することにより、社会教育活動を推進することができた。 ○地域内の地区公民館の交流及び活動を支援することによって、地区公民館の活性化を図ることができた。 ○より一層社会教育活動を推進するため、市民のニーズに合った講座の内容を検討するとともに、広報内容を工夫するなど市民への効果的な周知に努め、参加者の拡大を図る必要がある。			
事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	07弥栄地域公民館運営事業		
細事業名	01 弥栄地域公民館運営事業				決算書	P.342
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)		執行率	(参考)当初予算額	
154千円	235千円	81千円		65.5%	235千円	
目的	地域の学習と交流の拠点である地域公民館の運営体制を整備するとともに、市民の身近な地域課題及び生活課題に即した学習機会の提供と学習環境の整備、充実を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	地域公民館事業を実施するとともに、弥栄地域内の地区公民館の連絡調整及び活動支援を行った。					
	○社会教育事業費 133千円					
	事業種別	事業・講座名	回数	延参加者数	決算額	
	青少年教育	やさか探検隊	6回	84人	21千円	
		親子料理教室	1回	13人	16千円	
	成人教育	町民歩こう会	1回	32人	6千円	
		剪定講座	5回	81人	30千円	
		ギター入門講座	6回	85人	36千円	
		実用筆ペン講座	3回	41人	18千円	
	家庭教育	乳幼児子育て講座	1回	10人	6千円	
○運営事務経費（消耗品費ほか） 21千円						
主な財源	諸収入 社会教育事業等参加費					29千円
評価・課題等	○青少年教育、成人教育、家庭教育などの事業を実施し、地域住民に学習機会を提供することにより、社会教育活動を推進することができた。 ○地域内の地区公民館の交流及び活動を支援することによって、地区公民館の活性化を図ることができた。 ○より一層社会教育活動を推進するため、市民のニーズに合った講座の内容を検討するとともに、広報内容を工夫するなど市民への効果的な周知に努め、参加者の拡大を図る必要がある。					
事業所管課		教育委員会事務局／社会教育課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	08久美浜地域公民館運営事業
細事業名	01 久美浜地域公民館運営事業			決算書 P.342
総合計画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
123千円	231千円	108千円	53.2%	231千円
目的	地域の学習と交流の拠点である地域公民館の運営体制を整備するとともに、市民の身近な地域課題及び生活課題に即した学習機会の提供と学習環境の整備、充実を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	地域公民館事業を実施するとともに、久美浜地域内の地区公民館の連絡調整及び活動支援を行った。			
	○社会教育事業 66千円			
	事業種別	事業・講座名	回数	延参加者 決算額
	成人教育	美！姿勢塾	4回	99人 24千円
		かばんづくり講座	2回	36人 12千円
	家庭教育	親と子のふるさと教室	4回	77人 30千円
	○運営事務経費（消耗品費、燃料費）		25千円	
	○役務費（手数料）		10千円	
	○委託料（バス運転委託料）		21千円	
	○使用料及び賃借料（会場借上料）		1千円	
主な財源	諸収入 社会教育事業等参加料			22千円
評価・課題等	○成人教育・家庭教育などに関する事業を実施し、地域住民の幅広い学習の機会を提供することにより社会教育活動を推進することができた。 ○地域内の地区公民館の交流及び活動を支援することによって、地区公民館の活性化を図ることができた。 ○より一層社会教育活動を推進するため、市民のニーズに合った講座の内容を検討するとともに、広報内容を工夫するなど市民への効果的な周知に努め、参加者の拡大を図る必要がある。			
事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	50公民館一般経費		
細事業名	01 公民館一般経費				決算書	P.344
総合計画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
17,399千円	17,523千円	124千円	99.2 %	17,620千円		
目的	地域公民館長の配置に係る経費や公民館職員の研修に係る経費及び公用車の維持管理経費、また、公民館行事に関する保険料などの一般経費。					
主要な事務・事業及び成果の概要	地域公民館長の配置及び公民館関係の研修や事業に必要な事務経費及び公用車の維持管理に要する経費を支出した。					
	○ 地域公民館長の配置	13,950千円				
	・報酬 (166,500円×12か月×6人)	11,988千円				
	・共済費	1,962千円				
	○公民館職員研修会の開催【2回 延べ参加者148人】	89千円				
	(講師謝金 50千円、旅費 39千円)					
	○旅 費	全国・近畿・府公民館大会参加等	238千円			
	○需用費	公民館大会参加経費(資料代等)、公用車燃料、食糧費(来客用お茶)、車検修理代	750千円			
	○役務費	2,219千円				
	自動車登録手数料、自動車損害保険料	167千円				
	公民館(傷害)保険料	2,052千円				
	行事傷害補償制度(地区公民館・分館:53館)					
	死亡(後遺障害)	600万円	※急性疾病死亡	10万円		
	入院(1日あたり)	2,600円	・通院(1日あたり)	1,400円		
	建物火災(限度額)	10万円				
○委託料	バス運転手委託料	33千円				
○使用料及び賃借料	18千円					
	公民館大会参加有料道路通行料・駐車料					
○備品購入費	デジタルカメラ・公印(京丹後市中央公民館印)	43千円				
○負担金、補助及び交付金	37千円					
	京都府公民館連絡協議会負担金					
○公課費	自動車重量税	22千円				
主な財源						
評価・課題等	地域公民館の運営体制及び公民館職員の資質向上を図るための研修機会を確保することができた。					
事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	03図書館費	01図書館管理運営事業		
細事業名	01 図書館管理運営事業				決算書	P.344
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
54,760千円	54,971千円	211千円	99.6 %	48,122千円		
目的	各種事業を実施するなど役に立つ図書館サービスを提供することで、市民の求める読書や情報収集の支援を行い、知的要求に応える生涯学習環境の充実を目指す。					
主要な事務・事業及び成果の概要	市内6館(室)により全域サービスを行い、市民の読書要求に応えることができた。また他の関係機関と連携して各種事業を実施し、読書活動の推進を図った。					
	【費用の内訳】 図書館協議会委員(10人)報酬・費用弁償 87 千円 市立図書館6館の管理運営費 46,563 千円 ・臨時職員賃金(19人) 25,224 千円 ・図書購入費(AV資料含む) 9,900 千円 ・雑誌新聞購入費 1,160 千円 ・図書システム保守料 1,147 千円 ・図書システム更新料 9,132 千円 (業務端末・ソフトウェア等、更新機器含) ・その他経費(共済費、旅費、光熱水費、空調設備保守 8,110 千円 - 点検委託料、コピー機借上料、図書システム更新機器ほか) 【具体的なサービス内容】 ・資料(図書・AV資料・雑誌新聞)の収集・整理・保存・貸出 ・レファレンスサービス(読書案内、利用者の調査研究等の援助) ・図書館相互協力(主に京都府内の図書館との資料の貸借) ・市内の保育所、学校等への団体貸出 ・読み聞かせ、おはなし会、お楽しみ会、科学あそび教室等の行事開催 ・学校、幼稚園、保育所等との連携による読書推進事業 ・読み聞かせボランティアの活用・育成 ・ホームページ・図書館だより・市広報誌等を通じての広報活動 ・附属施設(あみの図書館集会室・研修室・情報創作室)の管理					
主な財源	寄付金 ふるさと応援寄附金				900千円	
評価・課題等	○資料や情報の収集により、市民が求める利用しやすく親しみの持てる図書館に近づき、子どもや大人を対象とした事業により、図書館の利用拡大、読書推進を図ることができた。 ○今後は、利用者が求める資料の提供が細やかにできるなど、利用につながるサービスについて検討していくことが必要である。					
事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	05社会教育施設費	01峰山いさなご施設管理運営事業											
細事業名	01 峰山いさなご施設管理運営事業												決算書	P.348	
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市					計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実							
決算額①	最終予算額②		不用額②-①		執行率		(参考)当初予算額								
7,699千円	7,842千円		143千円		98.1%		7,832千円								
目的	高齢者の介護予防、生きがいつくりの推進を支援し、市民のスポーツ及びレクリエーションの振興を図り、生活文化の向上に資する。														
主要な事務・事業及び成果の概要	市民の学習と交流を促進する機会の提供と施設の維持、管理を行った。														
	＜利用者数＞ (単位：人)														
	施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
	林業センター	64	31	184	1,154	194	325	145	188	159	62	101	120	2,727	
	いさなご工房	100	59	178	262	141	101	109	133	73	90	137	118	1,501	
	いさなごコート	887	858	935	1,014	811	916	880	889	763	758	793	879	10,383	
	計	1,051	948	1,297	2,430	1,146	1,342	1,134	1,210	995	910	1,031	1,117	14,611	
	○管理者経費及び臨時職員賃金														
	施設管理者報酬（1人）												1,998 千円		
	共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料）												333 千円		
臨時職員賃金（2人）												2,107 千円			
旅費												1 千円			
○管理運営経費															
需用費（消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料）												2,478 千円			
役務費（通信運搬費、浄化槽法定検査手数料、火災保険料）												208 千円			
委託料（施設警備委託料、浄化槽維持管理委託料等）												346 千円			
使用料及び賃借料（テレビ受信料）												21 千円			
備品購入費（業務端末・集塵機・消火器）												207 千円			
主な財源	使用料	峰山林業総合センター使用料												105千円	
	使用料	いさなご工房使用料												707千円	
	使用料	いさなごコート使用料												369千円	
	使用料	公有財産使用料												42千円	
	諸収入	峰山林業総合センター木工教室等材料代、太陽光発電余剰電力料												431千円	
評価・課題等	○施設管理、木工・陶芸の指導、定期講座の実施並びにいさなごコート（屋根付ゲートボール場）及び会議室の貸し出しなど、施設管理及び施設を活用した各種事業を通して、市民の学習と交流の機会を提供し、充実したスポーツ・文化活動に貢献することができた。 ○効率的・効果的な運営を図るため、市の公共施設見直し計画に基づき検討する必要がある。														
事業所管課		教育委員会事務局／社会教育課													

予算科目	10教育費	05社会教育費	05社会教育施設費	02マスタースピレッジ管理運営事業					
細事業名	01 マスタースピレッジ管理運営事業				決算書	P.350			
総合計画	基本方針Ⅳ生涯学習都市			計画項目	④社会教育・スポーツの充実				
決算額①		最終予算額②		不用額②-①		執行率		(参考)当初予算額	
15,512千円		15,728千円		216千円		98.6%		15,428千円	
目的	京都府大宮ふれあい工房（陶芸・染色体験施設）、ふれあいスポーツ広場等を管理運営することで、生きがい・ふれあい交流・健康づくりの場を提供し、生涯学習の推進を図る。								
主要な事務・事業及び成果の概要	市民の学習と交流を促進する機会の提供と施設の維持、管理を行った。								
	＜利用者数＞ (単位：人)								
	展示室		会議室		陶芸体験		染色体験		その他
	利用者数	利用者数	入場者数	内体験者数	入場者数	内体験者数	その他	ふれあいスポーツ広場利用者数	合計
	1,796	1,080	1,184	776	1,066	817	4,564	8,783	18,473
	○施設管理運営委託費								
	マスタースピレッジ管理委託料							10,243 千円	
	○施設維持管理経費								
	需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料等）							3,700 千円	
	役務費（通信運搬費、火災保険料等）							149 千円	
委託料（施設警備委託料、草刈委託料等）							616 千円		
使用料及び賃借料（テレビ受信料、清掃用具借上料等）							29 千円		
工事請負費（大研修室屋根雨漏補修工事）							336 千円		
備品購入費（ノートパソコン2台）							151 千円		
○体験事業経費									
需用費（体験事業材料代）							288 千円		
主な財源	使用料	大宮ふれあい工房使用料							1,559千円
	使用料	大宮ふれあいスポーツ広場使用料							315千円
	使用料	公有財産使用料							55千円
	諸収入	大宮ふれあい工房関係諸収入ほか							305千円
評価・課題等	○陶芸、染色実習室、展示、会議室及びスポーツ広場の利用提供並びに各種講座及び教室を実施することで、高齢者の生きがいつくり及び健康増進を図ることができた。 ○効率的・効果的な運営を図るため、市の公共施設見直し計画に基づき検討する必要がある。								
事業所管課		教育委員会事務局／社会教育課							

予算科目	10教育費	05社会教育費	05社会教育施設費	03たちばな会館管理運営事業
細事業名	01 たちばな会館管理運営事業			決算書 P.352
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
1,157千円	1,201千円	44千円	96.3 %	1,201千円
目的	地域の生涯学習活動及びコミュニティ活動の拠点としての機能確保するため、施設の維持管理を行うとともに利用の促進を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	施設の積極的な利用促進を図り、施設の維持、管理を行った。			
	【利用実績】			
	会議室等		図書室	
	区分	利用回数	利用者数	開室日数
	会議室	40回	484人	247日
	料理実習室	22回	271人	利用者数
	和室1	103回	780人	73人
	和室2	103回	782人	貸出冊数
	多目的ホール	134回	1,887人	408冊
	合計	402回	4,204人	
○施設維持管理費				1,157千円
・需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料）	593千円			
・役務費（通信運搬費、火災保険料）	78千円			
・委託料（施設管理委託料）	480千円			
・使用料及び賃借料（清掃用具借上料）	6千円			
主な財源	諸収入 たちばな会館光熱水費負担金			278千円
評価・課題等	○地域の学習活動及びコミュニティ活動の拠点施設として適正に維持管理することにより、施設を活用した社会教育活動を推進することができた。 ○当該施設は本津地区公民館を併設しており、公民館活動の拠点としての役割も果たした。 ○地元住民による利用が主であり、地域の活性化に資するため、市の公共施設見直し計画に基づき、移譲に向けて地元と協議を進める必要がある。			
事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課			

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	05社会教育施設費	04網野教育会館管理運営事業																																			
細 事 業 名	01 網野教育会館管理運営事業			決算書 P.352																																			
総 合 計 画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実																																			
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																			
1,374千円	1,388千円	14千円	98.9 %	1,271千円																																			
目的	施設の維持管理を行うとともに利用の促進を図ることで、人権教育及び地域の生涯学習活動、コミュニティ活動を推進する。																																						
主要な事務・事業及び成果の概要	施設の積極的な利用促進を図り、施設の維持、管理を行った。 【利用実績】 <table border="1"> <tr> <td colspan="2">会議室等</td><td>区分</td><td>利用回数</td><td>利用者数</td></tr> <tr> <td>1 階 和 室</td><td>130 回</td><td>1,109 人</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>料理実習室</td><td>7 回</td><td>85 人</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>講 義 室</td><td>32 回</td><td>315 人</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>大 ホ ール</td><td>152 回</td><td>1,618 人</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>全 館</td><td>50 回</td><td>1,840 人</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>371 回</td><td>4,967 回</td><td></td><td></td></tr> </table> ○施設維持管理費 1,374千円 ・需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料） 628千円 ・役務費（通信運搬費、手数料、火災保険料） 60千円 ・委託料（施設管理、浄化槽維持管理委託料ほか） 666千円 ・使用料及び賃借料（コピー機、清掃用具借上料ほか） 20千円				会議室等		区分	利用回数	利用者数	1 階 和 室	130 回	1,109 人			料理実習室	7 回	85 人			講 義 室	32 回	315 人			大 ホ ール	152 回	1,618 人			全 館	50 回	1,840 人			合 計	371 回	4,967 回		
会議室等		区分	利用回数	利用者数																																			
1 階 和 室	130 回	1,109 人																																					
料理実習室	7 回	85 人																																					
講 義 室	32 回	315 人																																					
大 ホ ール	152 回	1,618 人																																					
全 館	50 回	1,840 人																																					
合 計	371 回	4,967 回																																					
主な財源																																							
評価・課題等	○人権学習や地域の拠点施設として適正に維持管理することによって、施設を活用した社会教育活動を推進することができた。 ○当該施設は、郷地区公民館を併設しており、公民館活動の拠点としての役割も果たした。 ○地元住民による利用が主であり、地域の活性化に資するため、市の公共施設見直し計画に基づき、移譲に向けて地元と協議を進める必要がある。																																						
事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課																																						

予算科目	10教育費	06保健体育費	01保健体育総務費	01ｽﾎﾟｰﾂ推進委員活動事業		
細事業名	01 ｽﾎﾟｰﾂ推進委員活動事業				決算書	P.358
総合計画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実		
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
3,517千円		3,549千円	32千円	99.0 %	3,960千円	
目的	市民に対し、スポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導及び助言を行うスポーツ推進委員を委嘱し、本市のスポーツの振興を図ることを目的とする。					
主要な事務・事業及び成果の概要	スポーツ推進委員57人（定数60人）を委嘱し、地域スポーツの振興のためニュースポーツ教室などを開催するとともに、その実技指導、その他スポーツに関する指導、助言を行うため各種研究大会へ参加し資質向上に努めた。 ○報酬 2,563 千円 ・スポーツ推進委員報酬（市職員5人を除く52人分） ○旅費 617 千円 ・スポーツ推進委員活動費用弁償 585千円 ・職員旅費 32千円 ○需用費 44 千円 ・消耗品費 20千円 ・燃料費 24千円 ○役務費 106 千円 ・スポーツ安全保険料 ○委託料 56 千円 ・バス運転委託料 ○使用料及び賃借料 30 千円 ・有料道路通行料 27千円 ・駐車場使用料 3千円 ○負担金、補助及び交付金 101 千円 ・丹後スポーツ推進委員連絡協議会負担金 51千円 ・京都府スポーツ推進委員研究大会参加負担金 23千円 ・近畿スポーツ推進委員研究協議会参加負担金 27千円					
主な財源						
評価・課題等	○ニュースポーツの普及として「きばれえ・ビーチボールバレー」を重点推進種目とし、教室等の開催に伴い、地区公民館や各学校PTAへの周知をすることによって、参加者の増加につながった。 ○スポーツ基本法の制定に伴い、体育指導委員からスポーツ推進委員に名称が変更され、その役割と期待が高まってきているため、スポーツ推進委員の資質と意識の向上を図るとともに、市民への認知度をさらに高める取組が必要である。					
事業所管課		教育委員会事務局／社会教育課				

予算科目	10教育費	06保健体育費	01保健体育総務費	03社会体育団体育成事業		
細事業名	01 社会体育団体育成事業				決算書	P.358
総合計画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実		
決算額①		最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
16,596千円		16,650千円	54千円	99.6%	16,650千円	
目的	市内の各種スポーツ団体へ補助金を交付することにより、市民へのスポーツの普及と振興を図るとともにスポーツ団体を育成する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	市の体育振興の中心組織である京丹後市体育協会に支援を行うとともに、網野ジュニアスポーツ協会についても、青少年スポーツ教室育成の観点から支援を行った。 ○京丹後市体育協会補助金 15,235千円 ・年12回の常任理事会開催 ・市体協での体育事業開催 ・年3回の広報誌発行 ・各町事務員人件費 ・6町支部での各種スポーツ大会等の開催 峰山町（峰山駅伝大会11/16ほか） 大宮町（大宮町一周駅伝競走大会12/8ほか） 網野町（網野町ソフトバレーボール大会5/19ほか） 丹後町（町内盆野球大会8/13～8/14ほか） 弥栄町（弥栄招待少年サッカー大会7/7ほか） 久美浜町（春季・秋季軟式野球大会5/26、9/29ほか） ○網野ジュニアスポーツ協会補助金 1,361千円 ・21団体、510人 ・幹事会 3回 ・清掃ボランティア活動 1回 （7/20 八丁浜・琴引浜 220人参加） ・スポーツ研修会 1回 （3/2 「ケガをしない為のストレッチ」 130人参加）					
主な財源						
評価・課題等	○体育協会を支援することにより、市内の各競技団体の育成、各種教室・大会の開催及び市民がスポーツに親しむ機会の提供など、市のスポーツの推進に寄与している。 ○網野町ジュニアスポーツ協会のみ組織化され補助金を交付しているが、本市スポーツ少年団及び市内の各種青少年スポーツ教室も含めて、青少年のスポーツ団体を育成するための体制の整備が必要である。					
事業所管課		教育委員会事務局／社会教育課				

予 算 科 目	10教育費	06保健体育費	01保健体育総務費	50保健体育総務一般経費	
細 事 業 名	01 保健体育総務一般経費				決算書 P.358
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額	
2,088千円	2,371千円	283千円	88.0 %	2,355千円	
目 的	社会体育に関する事務経費のほか、スポーツ推進審議会を設置・運営することによって、市民の意見を反映したスポーツの推進を図る。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	平成20年3月に策定した「スポーツ振興計画」を、平成23年に改正された「スポーツ基本法」に基づき実施した市民アンケート結果を参考に、「スポーツ推進計画」として中間見直しを行った。				
	○報酬		128 千円		
	・スポーツ推進審議会委員報酬（委員12人、審議会4回開催）				
	・第1回京丹後市スポーツ推進審議会				
	内容 ①京丹後市スポーツのまちづくり推進本部の設置について ②京丹後市スポーツ推進計画見直しに係るアンケート調査の分析について				
	・第2回京丹後市スポーツ推進審議会				
	内容 ①京丹後市スポーツ推進計画の目標・課題・方向性について ②京丹後市スポーツ推進計画骨子（案）について				
	・第3回京丹後市スポーツ推進審議会				
	内容 ①京丹後市スポーツ推進計画（案）について				
	・第4回京丹後市スポーツ推進審議会				
内容 ①京丹後市スポーツ推進計画（案）について					
○費用弁償・普通旅費		32 千円			
○消耗品費		78 千円			
○京丹後市スポーツ推進計画中間評価・計画見直し業務委託料		1,848 千円			
○有料道路通行料		2 千円			
参考		繰越明許費を除いた最終予算額		2,134千円	
		実質的な予算執行率		97.8%	
■平成26年度への繰越事業					
・スポーツ推進計画印刷製本事業		237千円		※平成26年4月完成	
主 な 財 源					
評 価 ・ 課 題 等	○スポーツ基本法に基づいて設置したスポーツ推進審議会を開催し、スポーツの推進に関する重要事項について市民の意見を反映した助言を得ることができた。 ○広く市民がライフステージに応じてスポーツに参画できるよう、中長期的な展望に立った「市スポーツ推進計画」の中間見直しを行った。 ○市スポーツ推進計画に基づき、スポーツ環境の整備に向けた取組を進める必要がある。				
事 業 所 管 課	教育委員会事務局／社会教育課				

予算科目	10教育費	06保健体育費	02保健体育事業費	01京都府民総合体育大会事業
細事業名	01 京都府民総合体育大会事業			決算書 P.360
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,506千円	1,508千円	2千円	99.8 %	1,508千円
目的	京都府民総合体育大会へ出場する選手の支援を行い、総合成績の上位入賞及び競技力の向上を目指す。			
主要な事務・事業及び成果の概要	第36回京都府民総合体育大会への京丹後市代表選手の派遣のため、京丹後市体育協会へ補助金を交付した。成績はゲートボール競技で男子が優勝、バスケットボール競技で男子が3位入賞するなど総合8位入賞であった。			
	○大会派遣費補助金 1,500 千円			
	○閉会式出席職員旅費・有料道路通行料 6 千円			
	【大会結果概要】 総合成績：第8位（26市町村）			
	競技種目	開催日	参加者数（延べ）	備考
	ソフトテニス	10/20	17人	
	ソフトボール	10/13、20、27	男子20人/女子20人	男子・女子第5位
	テニス	10/25、26、27	16人	
	軟式野球	10/27、11/3、10	20人	第5位
	ソフトバレーボール	10/27	成年7人/壮年9人	
	陸上競技	10/20	20人	第4位
	グラウンド・ゴルフ	11/4	8人	第5位
	ゲートボール	11/4	男子6人/女子5人	男子優勝
	バレーボール	11/2、3	男子15人/女子15人	
	サッカー	11/9、10	21人	
バドミントン	11/10	12人		
バスケットボール	9/21、22、11/16、17	男子18人/女子18人	男子第3位	
ボウリング	11/17	6人		
卓球	11/24	9人		
駅伝	2/9	19人		
ゴルフ	10/11	6人		
参加者合計		287人		
主な財源				
評価・課題等	○平成20年度以降毎年入賞しており、本市のスポーツの推進及びスポーツを通じて本市のPRを図ることができた。 ○本大会への参加を契機として、競技人口の増加及び競技力向上を図ることによって、本市の社会体育の一層の充実を目指す。			
事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課			

予算科目	10教育費	06保健体育費	02保健体育事業費	02市民体育大会事業
細事業名	01 市民体育大会事業			決算書 P.360
総合計画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
2,890千円	2,890千円	0千円	100.0%	3,300千円
目的	京丹後市体育大会を開催することにより、市民のスポーツ競技力の向上とスポーツの推進を図り、スポーツを通して市民相互が交流することで京丹後市の活性化を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	京丹後市民を対象とした市内唯一の総合体育大会であり、その継続のため開催経費、選手派遣経費等を主催団体である京丹後市体育協会へ補助金として交付した。なお、雨天のため5競技が中止となった。			
	○市民総合体育大会補助金 2,890千円			
	【大会結果概要】 開催日：9月1日（日） 総合優勝：峰山、総合準優勝：網野			
	競技種目	参加人数	結果（優勝）	
	1 陸上	-	雨天のため競技中止	
	2 軟式野球	-	雨天のため競技中止	
	3 卓球	66人	峰山	
	4 バレーボール	213人	男子：峰山／女子：弥栄／家庭婦人：峰山	
	5 ソフトボール	-	雨天のため競技中止	
	6 ソフトテニス	-	雨天のため競技中止	
	7 柔道	8人	網野	
	8 剣道	30人	網野	
	9 ゲートボール	97人	男子：峰山／女子：大宮	
	10 バドミントン	77人	網野	
	11 サッカー	127人	網野	
	12 テニス	-	雨天のため競技中止	
	13 グラウンド・ゴルフ	127人	男子：峰山／女子：峰山	
14 バスケットボール	145人	男子：網野／女子：大宮		
15 ゴルフ	99人	久美浜		
16 ボウリング	56人	網野		
17 ソフトバレーボール	118人	峰山		
参加者合計	1,163人			
主な財源				
評価・課題等	○京丹後市体育事業のメイン行事として定着しており、市民のスポーツを通じた交流や体力づくり、生きがいつくり及び地域の活性化に貢献できた。 ○各種目における競技人口の拡大及び競技力の向上とともに、新たな競技種目の育成等による市民の参加機会の拡充を図っていく必要がある。			
事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課			

予算科目	10教育費	06保健体育費	02保健体育事業費	03地域スポーツ振興事業
細事業名	01 地域スポーツ振興事業			決算書 P.360
総合計画	基本方針Ⅳ生涯学習都市		計画項目	④社会教育・スポーツの充実
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
5,113千円	5,210千円	97千円	98.1%	5,480千円
目的	気軽に親しめるスポーツ教室等を実施し、スポーツを通じた市民交流の機会を提供することで、全ての市民が、生涯を通して健康で生き生きとした生活が送れることを目指す。			
主要な事務・事業及び成果の概要	市民相互の交流や競技力の向上を図るため、各種スポーツ事業を実施した。 ○報償費 60 千円 ・各種スポーツ大会等審判員謝金 18 千円 ・各種スポーツ大会入賞記念品 42 千円 ○需用費（消耗品費、燃料費、食糧費、医薬材料費） 187 千円 ○役務費（弥栄町文化祭駅伝大会新聞折込手数料） 1 千円 ○委託料 2,393 千円 ・カヌースプリント春季・秋季開催準備及び大会運営 836 千円 （5月18日、10月27日）98人参加 ・大宮町体育大会運営（6月17日）713人参加 209 千円 ・市長杯中学生野球大会開催（6月1～2日）市内8校参加 133 千円 ・弥栄町文化祭駅伝大会バス運転委託料（11月3日）100人参加 15 千円 ・久美浜湾一周駅伝大会バス運転委託料（11月23日） 15 千円 ・久美浜湾一周駅伝大会運営（11月23日）106チーム参加 1,185 千円 ○負担金、補助金及び交付金 2,333 千円 ・近畿高等学校駅伝競走大会（11月16～17日）1,400人参加 1,000 千円 ・網野スポーツ祭（6月30日～2月11日）661人参加 283 千円 ・あみの八丁浜ロードレース大会（10月20日）590人参加 1,050 千円 ○補償補填及び賠償金 ・損害賠償金（市長杯争奪中学生野球大会に伴う車両損害賠償金） 139 千円			
主な財源	市債 過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債）			1,000千円
評価・課題等	○市民が気軽に参加できるスポーツ事業の実施及びスポーツ大会への支援をすることによって、市民の健康・体力づくりやスポーツを通じた住民間・地域間の交流機会の拡充、地域力の活性化に寄与した。 ○各種事業の在り方について見直す必要がある。			
事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課			

予 算 科 目

10教育費

06保健体育費

02保健体育事業費

04青少年ｽﾎﾟｰﾂ教室事業

細 事 業 名

01 青少年ｽﾎﾟｰﾂ教室事業

決算書

P.360

総 合 計 画

基本方針

Ⅳ 生涯学習都市

計画項目

④ 社会教育・スポーツの充実

決 算 額 ①

最終予算額 ②

不用額 ②-①

執行率

(参考)当初予算額

3,002千円

3,417千円

415千円

87.8 %

3,417千円

目的

地域で定期的に活動を行っている青少年スポーツ教室を支援し、本市の次代を担う青少年の健全育成と体力・運動能力の向上を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

青少年スポーツ団体である各種教室への支援として、市内小中学校に募集チラシを配布、また定期的に活動を行っている教室に対し指導者謝金を交付した。

○ 青少年スポーツ教室指導者謝金 3,002千円 (1教室4,500円/月)

種目	峰山		大宮		丹後		弥栄		久美浜	
	教室	人数	教室	人数	教室	人数	教室	人数	教室	人数
野球	5	113	4	82	1	29	2	74	4	58
サッカー	1	69	1	72	1	18	2	69	1	22
少女バレーボール	2	33	1	16	1	20	2	26	2	49
剣道	1	9	1	15	1	5	1	20		
柔道	1	28	1	2						
空手道	2	27	1	7	1	8			1	15
陸上	1	31	1	42	2	59	1	33		
少林寺拳法	1	8								
レスリング	1	8								
テニス	1	8							1	7
卓球			1	19						
バトミントン	1	14								
バスケットボール			1	45			1	26	1	63
カヌー									1	15
合計	17	348	12	300	7	139	9	248	11	229

《教室合計数》 56 教室 《教室人数合計》 1,264 人

主な財源

評価・課題等

○地域での定期的なスポーツ活動を通して、青少年の健全育成と体力・運動能力の向上を図ることができた。

○効果的な青少年のスポーツ活動を進めるため、青少年のスポーツ団体を育成するための組織及び体制の整備が必要である。

事業所管課

教育委員会事務局/社会教育課

予算科目	10教育費	06保健体育費	03体育施設費	01体育施設管理運営事業
細事業名	01 体育施設管理運営事業			決算書 P.362
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
58,175千円	58,630千円	455千円	99.2 %	53,231千円
目的	市民に身近なスポーツ活動の拠点施設としての体育施設を管理運営することで、スポーツの推進を図り、スポーツ競技団体の競技力の向上及び青少年等の社会性の体得に貢献する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	スポーツの推進を図るため社会体育施設の維持管理を行った。			
	○需用費（消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料）	20,714 千円		
	○役務費（通信運搬費、し尿汲取手数料、火災保険料等）	1,204 千円		
	○委託料（運動公園管理、社会体育館管理、浄化槽維持管理等）	14,301 千円		
	○使用料及び賃借料（土地借上、テレビ受信料等）	76 千円		
	○工事請負費（網野体育センター下水道接続工事等）	19,299 千円		
	○原材料費（網野グラウンド土代）	25 千円		
	○備品購入費（グラウンドならし、刈払機、消火器等）	237 千円		
	○負担金、補助及び交付金（社会体育施設周辺整備費補助金等）	2,313 千円		
	○償還金利子及び割引料	6 千円		
	施設名	利用件数	施設名	利用件数
	紅葉ヶ丘運動場（テニスコート）	302	竹野体育館	165
	大宮自然運動公園（グラウンド）	366	竹野グラウンド	223
	大宮自然運動公園（テニスコート）	450	弥栄総合運動公園（体育館）	813
	大宮社会体育館	977	弥栄総合運動公園（グラウンド）	233
	大宮第三体育館	133	弥栄総合運動公園（ゲートボール場）	657
	網野グラウンド（野球・ソフトボール）	531	弥栄柔剣道場	79
	網野グラウンド（ゲートボール場）	100	久美浜中央運動公園（グラウンド）	181
	網野体育センター（体育室）	614	久美浜中央運動公園（テニスコート）	445
	網野体育センター（武道館）	808	久美浜中央運動公園（ゲートボール場）	455
	網野体育センター（テニスコート）	171	田村体育館	166
	三津体育館	166	田村グラウンド	96
	三津グラウンド	221	湊体育館	76
	丹後社会体育館	457	湊グラウンド	3
豊栄山村広場（グラウンド）	362	合 計	9,250	
主な財源	使用料 紅葉ヶ丘運動場夜間照明使用料ほか	2,727千円		
	使用料 公有財産使用料	312千円		
	国補 地域の元気臨時交付金	18,387千円		
	諸収入 公衆電話料ほか	110千円		
評価・課題等	○施設の適切な維持管理を行うことで、市民へのスポーツの普及・発展に貢献した。 ○スポーツ活動の拠点として、効率的・効果的な運営を図るため、市の公共施設見直し計画に基づき、管理形態の見直しについて検討していく必要がある。			
事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課			

予 算 科 目	10教育費	06保健体育費	03体育施設費	02社会体育用学校開放施設管理運営事業	
細 事 業 名	01 社会体育用学校開放施設管理運営事業			決算書 P.364	
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	④ 社会教育・スポーツの充実	
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
3,462千円	3,577千円		115千円	96.7 %	3,577千円
目 的	市民に身近なスポーツ活動の拠点施設として学校体育施設を開放することで、スポーツの推進を図り、スポーツ競技団体の競技力の向上及び青少年等の社会性の体得に貢献する。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 及 び 成 果 の 概 要	地域のスポーツの推進を図るための学校体育施設の維持管理を行った。				
	○需用費				3,353 千円
	・ 消耗品費				
	体育館ワックス				578 千円
	体育館照明水銀・レフランプほか				357 千円
	・ 印刷製本費				38 千円
	・ 修繕料				2,380 千円
	網野中学校グラウンド照明安定器取替、五箇小学校グラウンド照明不点灯修理ほか				
	○役務費				102 千円
	・ 支障物撤去手数料				
・ 電気設備検査手数料					
○償還金利子及び割引料				7 千円	
・ 学校施設使用料返還金					
<利用件数>					

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	01郷土資料館管理運営事業		
細 事 業 名	01 郷土資料館管理運営事業				決算書	P.346
総 合 計 画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
2,024千円	2,047千円	23千円	98.8 %	2,099千円		
目的	民俗資料の調査保存、公開施設である郷土資料館の維持管理を行うことで、郷土の文化遺産に関しての住民の関心を高め、歴史を学ぶことに資する。					
主要な 事業及び 成果の 概要	市民及び市外からの来訪者のために、豊富に残る市所蔵や寄贈を受けた民俗資料を適切に保管・公開し、文化財保護の普及啓発を図る郷土資料館の維持管理運営を行った。					
	平成25年度入館者数 784人（前年度入館者数 963人）					
	○人件費					
	・臨時職員賃金・共済費					1,019千円
	臨時職員2人分の賃金と労災保険料					
	○維持管理経費					
	・消耗品費					72千円
	・燃料費					22千円
	・光熱水費					134千円
	・電話料					70千円
主な 財源	・消火器リサイクル料					5千円
	・火災保険料					54千円
	・機械警備委託料（長期継続契約）					145千円
	・消防用設備等保守点検委託料					11千円
	・コピー機借上料					10千円
	・清掃用具借上料					10千円
	・テレビ受信料					14千円
	・郷土資料館まつり用勾玉作り材料					26千円
	・消火器購入費（4本）					38千円
	・施設修繕料（本館屋根棟部分の修繕）					394千円
使用料	郷土資料館入館料				30千円	
評価・課題等	○施設を適切に維持管理し、市内でかつて使用された生活道具（民俗資料）を来館者へ公開することで、郷土に残る文化遺産に関する住民の関心を高めることができた。 ○小学生の社会科見学で実物に触れるなど、さまざまな工夫を行うことで学習効果の向上につながった。 ○昭和21年建築の旧木津小学校校舎を利用した建物は、木造であり施設の老朽化が進んでいるため、市の公共施設見直し計画に基づき、施設の統合について検討する必要がある。					
事業所管課		教育委員会事務局／文化財保護課				

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	02古代の里資料館管理運営事業	
細 事 業 名	01 古代の里資料館管理運営事業				決算書 P.348
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
9,586千円	9,766千円	180千円	98.1 %	9,834千円	
目的	考古資料等の調査保存、公開施設である古代の里資料館の維持管理を行うことで、郷土の文化遺産に関しての住民の関心を高め、教育、文化にふれあい、歴史を学ぶことに資する。				
主要な 事業及び 成果の 概要	豊富に残る考古資料・美術工芸品を適切に保管・公開し、文化財保護の普及啓発を図る丹後古代の里資料館の維持管理運営を行った。平成25年度は、リニューアルした常設展示の図録（展示ガイド）の作成・販売のほか、丹後建国1300年記念事業に関する特別展示を実施し、来訪者への普及啓発に資した。 平成25年度入館者数 3,881人（前年度入館者数 2,683人）				
	○人件費				
	・資料館長報酬、共済費、費用弁償			2,304千円	
	資料館長報酬 166,500円×12か月＝1,998千円				
	・臨時職員賃金、共済費			3,304千円	
	臨時職員3人分の賃金と社会保険料等				
	○維持管理経費				
	・光熱水費			1,536千円	
	・消耗品等			270千円	
	・通信運搬費等役務費			183千円	
・機械警備委託料			124千円		
・浄化槽維持管理委託料			299千円		
・土地借上料（2,915㎡）			121千円		
・その他管理経費（清掃用具借上・コピーリース・小修繕等）			674千円		
○体験用経費					
・原材料費（勾玉作り材料及び陶芸体験用材料）			54千円		
・報償費（窯焼謝礼）			67千円		
○常設展示図録（展示ガイド）作成経費					
・展示ガイド1,000冊印刷製本費			650千円		
主な 財源	使用料	古代の里資料館入館料	540千円		
	使用料	公有財産使用料	77千円		
	諸収入	古代の里資料館物品販売代金	6千円		
	諸収入	古代の里資料館陶芸教室実習料	130千円		
	諸収入	古代の里資料館書籍販売代金	240千円		
評価・ 課題等	○小中学校の地域学習の拠点施設として活用することで、市内小中学生に対して市内の歴史に関する知識を深め、関心を高めることができた。				
	○展示リニューアルの内容に即した展示ガイドを作成したことにより、来館者に対して丹後に残る文化財についての理解を深めることができ、歴史・文化への関心を高めることができた。				
	○効率的・効果的な運営を図るため、公共施設の見直し方針に基づき、管理形態の見直しについて検討する必要がある。				
事業所管課		教育委員会事務局／文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	03資料館等指定管理運営事業		
細事業名	01 指定管理施設運営事業				決算書	P.348
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
7,468千円		7,468千円		0千円	100.0%	7,468千円
目的	琴引浜鳴き砂文化館の適正な管理運営を行い、琴引浜の鳴き砂の保全及び保護啓発活動、自然環境学習の援助並びに促進を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	琴引浜鳴き砂文化館は、鳴き砂の学習施設や環境学習の施設として、環境保全について学べる施設として指定管理制度を導入し、掛津区が管理運営にあっている。教育施設の性格を持つとともにジオパークを紹介する展示を行うなど観光施設にもなっている。 平成25年度入館者数 9,143人（前年度入館者数 9,599人） ○委託料 指定管理者の管理運営に伴う管理委託料 6,268千円 （運営に必要な人件費、施設の維持管理経費） ○使用料及び賃借料 1,200千円 建物の所有者である財団法人日本ナショナルトラストへの建物賃借料					
主な財源						
評価・課題等	○各種の展示事業に加えて、琴引浜をテーマにしたガイドウォークにも取り組み、積極的な管理運営に努めた。各種視察受け入れやジオパーク構想・ガイド事業に取り組み、環境学習及びジオパークに関する情報提供の拠点施設としての役割を果たした。 ○市内外の利用者獲得に向けて、展示内容のリニューアルなどさらなる入館者の増加を図り、琴引浜の保護啓発活動を進める必要がある。					
事業所管課		教育委員会事務局／文化財保護課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	01文化財保護審議会委員設置事業		
細事業名	01 文化財保護審議会委員設置事業				決算書	P.352
総合計画	基本方針Ⅳ 生涯学習都市			計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用	
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額		
441千円	472千円	31千円	93.4%	472千円		
目的	文化財の指定・解除等の諮問機関である文化財保護審議会で、文化財の保全及びその活用について調査・審議を行うことで、市の文化財の保全や活用に資する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	○文化財保護審議会の開催経費 180千円					
	市文化財の指定・管理等に関する事項や文化財関係事業、文化財保護普及啓発等を検討するため審議会を開催した。さらに両丹文化財保護連絡協議会において審議検討した。					
	・報酬 半日×4回（4千円×39人） 156千円					
	・費用弁償 24千円					
	○両丹文化財保護連絡協議会への参加 61千円					
	平成25年度は与謝野町の加悦保健センター「元気館」を会場に開催された。7つの市町の文化財保護審議会委員や関係者を含め約60人が参加し交流を深めた。テーマは指定文化財となっているものを中心に樹木についての研修が行われた。					
	・報酬 1日×1回（7千円×8人） 56千円					
	・費用弁償 5千円					
	○文化財保護審議会委員視察研修費 142千円					
	京丹後市の文化財行政に活かすため、史跡の整備活用の先進地や、学校の跡地利用に関する視察研修を行った。					
	平成26年2月21日～22日					
	(今城塚古墳、心合寺山古墳、京都市学校歴史博物館など)					
	・旅費（11人） 142千円					
	・その他経費 58千円					
	燃料費、バス運転委託料、有料道路通行料					
主な財源						
評価・課題等	○両丹文化財保護連絡協議会へ参加し、各市町間において意見交流を行うことにより研鑽を積むことができた。 ○委員視察研修では史跡整備、学校施設の再利用などをテーマに視察し、今後の文化財行政への活用を検討することができた。 ○限られた回数の審議会の中で、多数の文化財を効率よく審議する方策について検討する必要がある。					
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	02文化財保護啓発事業	
細事業名	01 文化財保護啓発事業				決算書 P.352
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額	
954千円	1,030千円	76千円	92.6 %	1,075千円	
目的	京丹後市内に数多く残されている文化財や調査成果などを市民などに公開することで郷土の歴史や文化財について学ぶことのできる機会を提供し、その認識を高める。				
主要な事務・事業及び成果の概要	市民や来訪者のために「京丹後市史」をはじめとする文化財の調査成果を広く周知するための講座を開催した。また寄贈を受けた美術品に関する特別展示と講演会を開催し、活用を図ることができたほか、平成27年度に京都文化博物館にて開催する「(仮称)大丹後展」の準備・実施を行った。				
	○文化財セミナー 講師謝金・旅費(6人)		242千円		
	・第1回(7月8日) 参加者80人				
	・第2回(7月15日) 参加者60人				
	・第3回(7月31日) 参加者80人				
	○「京丹後史博士」育成講座 全12講座 延べ受講者数313人				
	外部講師(5人) 報償費・費用弁償		17千円		
	○網野郷土資料館まつり				
	「織りの実演」謝礼(2人)		18千円		
	○上前智祐里帰り展示「Chiyu Uemae 最初の始まり 上前智祐・さとかえりてん」関係会期10月5日～11月11日、記念講演会(10月6日) 観覧者延べ450人				
展示図録・ポスター・チラシ・リーフレット印刷製本費		362千円			
展示関係消耗品、記念講演会音響機器借上料		30千円			
図録原稿作成謝金(1人)		18千円			
展示構成・展示図録監修謝金(1人)		50千円			
記念講演会 講師謝金・旅費(1人)		52千円			
○(仮称)「大丹後展」に関する経費					
職員旅費・有料道路通行料等		165千円			
主な財源	諸収入 京丹後史博士育成事業資料代				27千円
評価・課題等	○市の文化財の公開やセミナーなどの実施により、市外からの観光客も含め、市の歴史や文化財に対して興味・関心を高めることができた。 ○各事業を通じて、丹後建國1300年を意識した内容に取り組み、その機運醸成に貢献することができた。 ○平成27年度開催予定の「(仮称)大丹後展」について、関係市町に対する協力要請を行うなどの準備を進めた。				
事業所管課		教育委員会事務局／文化財保護課			

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	02文化財保護啓発事業
細 事 業 名	01 文化財保護啓発事業（繰越）			決算書 P.354
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	（参考）当初予算額
324千円	324千円	0千円	100.0 %	324千円
目 的	京丹後市内に数多く残されている文化財や調査成果などを市民などに公開することで郷土の歴史や文化財について学ぶことのできる機会を提供し、その認識を高める。			
主要な事務・事業及び成果の概要	平成25年1月24日に琴引浜に漂着し、その後死亡したオサガメについて展示品として剥製を製作し琴引浜鳴き砂文化館に展示した。オサガメは絶滅危惧種であり非常に珍しい。製作に当たってはカメの体内の乾燥のためには長い時間を必要とするため、平成24年度からの繰越事業として実施した。 ○展示用オサガメ剥製制作委託業務（委託料） 324千円			
主な財源				
評価・課題等	絶滅危惧種のオサガメの剥製を作成することにより、環境学習に関する展示資料の充実を図ることができた。			
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	03指定文化財等管理事業			
細事業名	01 市指定文化財等補助金					決算書	P.354
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用		
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
2,000千円		2,000千円		0千円	100.0 %	2,000千円	
目的	文化財の修理などの保全事業に対して補助金を交付することにより、貴重な文化財を守り次世代に引き継ぐ。						
主要な事務・事業及び成果の概要	○京丹後市指定文化財等補助金 17件 2,000千円						
	内訳 ・社寺等文化資料保全補助金該当分				14件	1,851千円	
	・国、府指定補助金該当分				3件	149千円	
	事業対象は寺院の建造物修理、神社覆屋の修理、郷土芸能の道具の新調、絵画の修理などで、事業費の総額は30,009千円であった。						
	※参考						
	平成24年度事業実績						
	補助件数				18件		
	補助金額				2,000千円		
	事業総額				23,460千円		
主な財源							
評価・課題等	補助金を交付することにより、文化財所有者等の負担軽減と貴重な文化財の保全を図ることができた。						
事業所管課		教育委員会事務局／文化財保護課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	03指定文化財等管理事業		
細事業名	02 史跡等維持管理事業				決算書	P.354
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額		
2,719千円	3,242千円	523千円	83.8%	1,732千円		
目的	指定文化財やそれに関連する施設の草刈りや補修等の維持管理を行うことにより、文化財の適切な管理と活用を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	○史跡等草刈委託・文化財施設環境美化委託料 1,598千円 史跡等用地の草刈、清掃により文化財の見学の利用供与や、維持管理を行った。 網野銚子山古墳、神明山古墳、函石浜遺跡、赤坂今井墳墓、産土山古墳 竹野神社など18件 ○指定文化財関連施設管理経費 42千円 郷村断層等の指定文化財施設の維持経費 11千円 火災保険料（旧口大野村役場、郷村断層施設、浜詰遺跡施設） 31千円 ○コウノトリモニタリング等関連事業（謝金・消耗品費・備品購入ほか） 883千円 市内で営巣活動をしていたコウノトリペアについて、雄親の死亡事故をきっかけに体制を整備し、モニタリング（観察）を行った。また、誕生した5羽のコウノトリが巣立ちするまでの間を、専門機関と連携し収容するなどの対応を行った。 ○京丹後市指定文化財看板等設置事業（土地借上料・工事請負費） 196千円 市指定文化財等の看板を3基について修繕を行った。また関連施設等の看板の設置にあたり土地借上料を支出した。					
主な財源						
評価・課題等	○史跡や周辺施設等の環境整備を行うことにより、文化財の保全が図られ、文化財見学等の利用促進にもつながった。 ○特別天然記念物コウノトリの営巣活動に際し、個体の安全確保やこれに関する情報提供などの取り組みができた。 ○指定文化財については案内板等が未整備のものもあるため、整備を行い、来訪者の利便性向上と文化財の保護啓発を図る必要がある。					
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課					

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	04市史編さん事業		
細 事 業 名	01 市史編さん事業				決算書	P.354
総 合 計 画	基本方針 IV 生涯学習都市		計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
8,519千円	9,345千円	826千円	91.1 %	10,947千円		
目的	京丹後市史を刊行し、京丹後市の歴史や民俗、自然環境の特徴について市民の理解を深める。					
主要な事務・事業及び成果の概要	平成25年度は資料編『京丹後市の民俗』、資料編『久美浜代官所関係史料集』の2冊を刊行した。					
	○編さん委員報酬（調査報酬延べ45人）			636千円		
	○市史編さん専門委員報酬（編さん補助業務1人、週4日勤務）					
	日額9,000円×1人×204日＝1,836千円			1,836千円		
	○共催費（専門委員社会保険料等）			286千円		
	○各専門部の調査（8専門部、部員20人）					
	調査員謝金			550千円		
	原稿作成謝金			40千円		
	○費用弁償（調査員旅費）			376千円		
	○京丹後市史資料編印刷費			各600部作成		
	資料編『京丹後市の民俗』印刷			1,707千円		
	資料編『久美浜代官所関係史料集』印刷			1,159千円		
	○『小林善九郎関係文書調査報告書』印刷			300部 205千円		
	○写真撮影委託料（京丹後市の古地図撮影）			1,087千円		
	○使用料及び賃借料（調査員宿泊費）			190千円		
○その他事務経費（職員旅費、消耗品等）			447千円			
参考		繰越明許費を除いた最終予算額		8,645千円		
		実質的な予算執行率		98.5%		
■平成26年度への繰越事業						
京丹後市内社寺建築調査委託業務 700千円 ※平成26年7月完成						
主な財源						
評価・課題等	○2冊の市史資料編の刊行により、京丹後市の歴史や文化に対する一般市民の関心を高めることができた。 ○市史編さん事業により取り組んだ調査成果について、さらに活用することが求められる。					
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課					

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	05文化財整理事業														
細 事 業 名	01 文化財整理事業				決算書	P.356												
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用													
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額														
267千円	458千円	191千円	58.2 %	458千円														
目的	京丹後市に数多く残されている写真資料について、所在確認とデジタル化を行い、今後の活用を図る。																	
主要な事務・事業及び成果の概要	平成20年度より、京丹後市が保有する膨大な写真を調査確認し、重要な写真をスキャニングし、デジタルデータ化を行っている。平成25年度については6,016点をデジタル化できた。また、平成2年に峰山町教育委員会が行った発掘調査に関する調査報告書を作成した。 <table><tr><td>○画像デジタルデータ化整理事業</td><td>177千円</td></tr><tr><td>臨時職員賃金（1人分）</td><td>130千円</td></tr><tr><td>（期間：平成25年12月16日～平成26年3月28日 50日間）</td><td></td></tr><tr><td>消耗品費</td><td>47千円</td></tr><tr><td>○大耳尾古墳群発掘調査報告書作成事業</td><td>90千円</td></tr><tr><td>印刷製本費 100部</td><td>90千円</td></tr></table>						○画像デジタルデータ化整理事業	177千円	臨時職員賃金（1人分）	130千円	（期間：平成25年12月16日～平成26年3月28日 50日間）		消耗品費	47千円	○大耳尾古墳群発掘調査報告書作成事業	90千円	印刷製本費 100部	90千円
○画像デジタルデータ化整理事業	177千円																	
臨時職員賃金（1人分）	130千円																	
（期間：平成25年12月16日～平成26年3月28日 50日間）																		
消耗品費	47千円																	
○大耳尾古墳群発掘調査報告書作成事業	90千円																	
印刷製本費 100部	90千円																	
主な財源																		
評価・課題等	○寄贈を受けた写真資料をデジタル化することで、文化財啓発活動のみならず観光関連資料としても有効に活用できる。 ○未作成であった、発掘調査報告書を作成することで、研究資料として整備することができた。 ○発掘調査資料には、スライドが多くあり、劣化が懸念されることから、計画的に資料のデジタル化を進める必要がある。																	
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課																	

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	06遺跡整備事業	
細 事 業 名	01 遺跡整備事業				決算書 P.356
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用	
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額	
16,869千円	16,912千円	43千円	99.7 %	34,962千円	
目 的	丹後の特色と歴史を物語る重要な文化財の環境整備を推進し、教育・観光・地域づくりの資源などへ有効に活用する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	平成25年度は、国指定史跡網野銚子山古墳について、平成23年度に策定された「網野銚子山古墳整備基本計画」に沿って、遺跡の保存を図るべく史跡指定地内の用地の一部を購入した。				
	○網野銚子山古墳史跡等買上経費 ・ 旅費 用地購入に関する関係者協議 5千円 ・ 需用費 消耗品費 3千円 ・ 使用料及び賃借料 関係者協議に係る有料道路使用料 6千円 ・ 公有財産購入費 土地購入費（13筆：実面積計7,830.63㎡） 16,855千円				
主 な 財 源	国補	史跡等購入費補助金（4/5）	13,484千円		
	市債	遺跡整備事業債（合併特例債）	3,200千円		
評 価 ・ 課 題 等	○国史跡指定地の一部ではあるが、用地購入したことにより遺跡の保護を図ることができた。引き続き予定区域の用地取得を進める必要がある。 ○「網野銚子山古墳整備基本計画」に基づき一定の環境整備を行い、多方面の活用に資することが将来的な課題である。				
事 業 所 管 課		教育委員会事務局／文化財保護課			

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	06遺跡整備事業	
細 事 業 名	01 遺跡整備事業（繰越）				決算書 P.356
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用	
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額	
8,524千円	8,525千円	1千円	99.9 %	8,525千円	
目的	丹後の特色と歴史を物語る重要な文化財の環境整備を推進し、教育・観光・地域づくりの資源などへ有効に活用する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	国指定史跡網野銚子山古墳について、平成23年度に策定された「網野銚子山古墳整備基本計画」に沿って、遺跡の保存を図るべく史跡指定地内の用地の一部において、用地交渉が長期化した6筆について、繰越を行い用地を購入した。 ○網野銚子山古墳史跡等買上経費 ・ 公有財産購入費 土地購入費（6筆：実面積計2,590.92㎡） 8,524千円 【参考】24年度用地購入 9筆 実面積4976.39㎡ 16,372千円				
主な財源	国補 市債	史跡等購入費補助金（4/5） 遺跡整備事業債（合併特例債）			6,819千円 1,600千円
評価・課題等	○国史跡指定地の一部ではあるが、用地購入したことにより遺跡の保護を図ることができた。引き続き予定区域の用地取得を進める必要がある。 ○「網野銚子山古墳整備基本計画」に基づき一定の環境整備を行い、多方面の活用に資することが将来的な課題である。				
事業所管課		教育委員会事務局／文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	07遺跡発掘調査等事業	
細事業名	01 遺跡発掘調査等事業				決算書 P.356
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
2,122千円	2,144千円	22千円	98.9%	2,144千円	
目的	発掘調査等を実施することで、市内の遺跡を効果的に保護するための資料を得るとともに、開発等により現地保存の困難な遺跡の記録保存を図り文化財の保護活用につなげる。				
主要な 事業・ 事業及び 成果の 概要	平成25年度は、久美浜町（口馬地、西本町、十楽、甲山、油池、浦明、海士、平田、大井地区等）において現地踏査による遺跡分布調査を実施した。 また、あわせて遺跡台帳の整理を行った。				
	○現地調査期間 平成25年12月2日～平成26年3月31日 ○成果 実施地区内で40基ほどの小規模古墳、3か所の城館遺構を新規確認。 また、既知の古墳のうち位置の訂正が必要なものを数箇所確認した。 ○事業経費 ・ 共済費 発掘調査補助員に関する労災保険料、雇用保険料 21千円 ・ 賃金 発掘調査補助員賃金（延べ126日、4人） 1,793千円 ・ 旅費 調査に関する協議旅費 13千円 ・ 需用費 調査に使用した消耗品費 61千円 分布調査借上車両ガソリン代 28千円 地図等コピー代 14千円 ・ 使用料及び賃借料 関係者協議に係る有料道路使用料 3千円 分布調査車両借上代 189千円				
主な財源	国補	国宝重要文化財等保存整備費補助金（1/2）			1,000千円
	府補	埋蔵文化財緊急発掘調査費補助金（1/4）			500千円
評価・課題等	○分布調査を実施したことにより、開発時の埋蔵文化財の調整を行うための基礎資料を整理することができた。 ○今後も将来の開発に備え円滑な調整と文化財の保護活用を図るため、遺跡の分布調査・範囲確認調査を進めていく必要がある。				
事業所管課		教育委員会事務局／文化財保護課			

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	50文化財保護一般経費	
細 事 業 名	01 文化財保護一般経費				決算書 P.356
総 合 計 画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用	
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額	
698千円	827千円	129千円	84.4 %	617千円	
目的	文化財保管施設の維持管理及び各種文化財保護関係団体の活動を推進し、文化財の保護と活用を図る。				
主要な 事業及び 成果の概要	京丹後市が加盟する文化財関係団体負担金の支出や関係団体への補助金の交付を行ったほか、文化財保護課所管施設の維持管理を行った。 ○文化財関係加盟団体経費 90千円 京丹後市が加盟する文化財関係団体負担金等 ・ 全国史跡整備市町村協議会 50千円 ・ 全国鳴砂ネットワーク 20千円 ・ 全国鳴砂サミット参加負担金（2人分） 20千円 ○峰山伝統芸能振興会補助金 50千円 ○文化財収蔵施設維持管理費 474千円 資料館以外で所管している文化財収蔵施設に係る維持管理費 （成路分校、十楽倉庫、旧三重保育所、丹後震災記念館） ・ 光熱水費 36千円 ・ 電話料・火災保険料 145千円 ・ 機械警備委託料・草刈委託料 289千円 ・ 修繕料（看板修理） 4千円 ○一般事務経費 84千円 ・ 消耗品費 16千円 ・ 旅費（鳴砂サミット参加ほか） 68千円				
主な財源					
評価・課題等	○文化財保護事務及び所管施設の維持管理を適切に実施し、文化財の保護と活用を図ることができた。 ○補助金等に関する基本方針に基づき、補助金の見直しについて検討する必要がある。				
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課				